

Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

コンピュータについて

[はじめにお読みください](#)
[機能およびオプション](#)
[コンピュータの正面](#)

セットアップと操作

[コンピュータの使い方](#)
[デバイスの接続](#)
[Microsoft® Windows® XPの特徴](#)
[パスワードおよびセキュリティ機能](#)
[ノートブックコンピュータを携帯するときは](#)
[部品の取り付けおよび取り外し](#)

電源の使い方

[ACアダプタおよびバッテリー](#)
[省電力について](#)

セットアップユーティリティの使い方

Model PP01X

ソフトウェアの再インストール

問題の解決

[解決策を見つけるには](#)
[Dell診断プログラム](#)
[エラーメッセージの理解](#)

困ったときは

[ヘルプの概要](#)
[Dellへのお問い合わせ](#)

仕様


追加情報

[認可機関の情報](#)
[保証に関するご案内](#)

メモ、注意および警告

 **メモ:** コンピュータの操作上知っておくと便利な情報が記載されています。

注意: ハードウェアの破損またはデータの損失の可能性があることを示します。また、その問題を回避するための方法も示されています。

 **警告:** 物的損害、けがまたは死亡の原因となる危険性があることを示します。

このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。
©2002 すべての著作権はDell Computer Corporationにあります。

Dell Computer Corporationからの許可なしには、いかなる方法においてもこのマニュアルの複写、転載を禁じます。

このマニュアルに使用されている商標: Dell, DellNet, Dimension, Dell Precision, Latitude, Inspiron, OptiPlex, ExpressCharge, HyperCool, TrueMobileおよびAccessDirectは、Dell Computer Corporationの商標です。Microsoft, WindowsおよびMS-DOSは、Microsoft Corporationの登録商標です。3Comは、3Com Corporationの登録商標です。IntelおよびPentiumは、Intel Corporationの登録商標です。GeForce2 Goは、NVIDIA Corporationの商標です。ENERGY STARはU.S. Environmental Protection Agencyの登録商標です。Dell Computer Corporationは、ENERGY STARと提携しており、本製品はENERGY STARのエネルギー効率に関するガイドラインに適合しています。

このマニュアルでは、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切Dell Computer Corporationに所属するものではありません。

次の警告は、DVDドライブを含むMacrovision Corporation製品に適用されます:

この製品は、Macrovision Corporationおよび他の権利所有者が所有する一定の米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術を組み込んでいます。この著作権保護技術の使用は、Macrovision Corporationの許可を受けなければならず、Macrovision Corporationによる別段の許可がない限り、家庭内および他の限定的な視聴目的に制限されています。

2002年 1月 9F945 A02


[目次ページに戻る](#)

ACアダプタおよびバッテリー: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [ACアダプタについて](#)
- [ACアダプタの接続](#)
- [バッテリーについて](#)
- [バッテリーの取り外し](#)
- [バッテリーの取り付け](#)
- [バッテリー充電のチェック](#)
- [バッテリー低下を知らせるアラーム](#)
- [バッテリーの充電](#)
- [バッテリーの問題検知](#)
- [バッテリーの破棄](#)

ACアダプタについて

- 1 コンピュータの電源を入れた状態でも切った状態でもACアダプタに接続できます。
- 1 ACアダプタは世界各国の電源コンセントに適合します。ただし、電源コネクタは国によって異なります。国外で電源コンセントを使用するときは、その国に適した電源コードアダプタが必要になる場合があります。
- 1 コンピュータがDellドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングデバイスにACアダプタを接続して電源コンセントで使用できます。

 **メモ:** バッテリーが装着されているコンピュータを電源コンセントに接続し動作させると、ACアダプタは必要に応じてバッテリーを充電して、フル充電状態に保ちます。


注意: ACアダプタの過熱を避けるため、コンピュータをACアダプタで動作させたりバッテリーを充電したりする場合は、机の上や床の上など空気の循環の良いところを選んで使用してください。キャリーケースの中など風通しの悪いところでは使用しないでください。

ACアダプタの接続



バッテリーについて

- 1 バッテリーベイに標準で付属しているリチウムイオンバッテリーは、不完全に充電された状態で出荷されています。電源コンセントが使用できない場合、このバッテリーで電力を供給します。バッテリーを最大容量まで充電してから、コンピュータをバッテリーで稼動することをお勧めします。バッテリーの電力を節約する方法についての詳細は、[省電力について](#)を参照してください。
- 1 モジュラーベイにセカンドバッテリーを取り付けると、バッテリーの持続時間が増加します。

 **警告:** バッテリーに穴を開けたり、分解または焼却しないでください。誤った扱い方をすると、熱や薬品による火傷を引き起こすことがあります。バッテリーを温度が60°Cを超える所に置かないでください。バッテリーはお子様手の届かない場所に保管してください。破損または液漏れしているバッテリーは、充分注意して扱ってください。バッテリーが破損している場合、電池から電解液が漏れていることがあり、けがの原因となります。

- 1 フル充電された8穴のリチウムイオンバッテリーの稼動時間は、バッテリーが1つの場合は約2-4時間、2つの場合は4-8時間です。実際の稼動時間は、設定されている電源管理機能と使用中のアプリケーションプログラムによって異なります。
- 1 2つのバッテリーが取り付けられている場合、コンピュータは、両方のバッテリーの充電レベルが同じになるまで、より多く充電されている方のバッテリーを使用します。そのあとは、両方のバッテリーを使用します。ACアダプタは、バッテリーベイのバッテリーから充電を始めます。
- 1 コンピュータにバッテリーを取り付ける前に、[バッテリー充電ゲージ](#)でバッテリーの充電量をチェックできます。
- 1 バッテリーの自己テスト機能は、充電残量が少ないなどのバッテリー状態を警告します。

- 1 バッテリーは、室温で約400回のフル充電を繰り返すことができます。
- 1 スタンバイモードを起動すると、コンピュータはバッテリーで約1週間稼働します。
- 1 コンピュータを保管する場合は、すべての機器を取り外してコンピュータの電源を切ります。コンピュータを長期間保管しておく場合は、バッテリーを取り外します。バッテリーは使用しなくても、長期の保管中に消耗します。長期保管後は、バッテリーをフル充電してからコンピュータを起動させてください。
- 1 リチウムイオンバッテリーを家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。詳細は、[バッテリーの廃棄](#)を参照してください。
- 1 リチウムイオンバッテリーは従来のバッテリーよりも寿命が長いので、頻繁に交換する必要がありません。また、充電容量を気にせずいつでも充電することができます。リチウムイオンバッテリーは充電する前に完全に使いきる必要はありません。

バッテリーの取り外し

注意:コンピュータがスタンバイモードの状態ではバッテリーを取り付ける場合、バッテリーの交換は4分以内に完了してください。4分後にシステムはシャットダウンします。保存していないデータはすべて失われます。

1. コンピュータの電源が切れ、電源管理モードのサスペンドモードであるか、または電源コンセントに接続されているかを確認します。
2. コンピュータがドッキングされている場合、ドッキングを解除します。
3. ディスプレイを閉じ、コンピュータを裏返します。
4. コンピュータ底面のバッテリーベイ(またはモジュールベイ)ラッチリリースをスライドしたまま、バッテリーをベイから取り外します。



バッテリーの取り付け

バッテリーをラッチがカチッと音がするまでベイに差し込みます。

バッテリー充電のチェック


インジケータの横にあるバッテリーテストボタンを押します。バッテリーの充電量に相当する数のインジケータが数秒間点灯します。

バッテリー充電ゲージおよびテストボタン



インジケータの数	充電の残量(%あるいは説明)
5	81-100
4	61-80

3	41-60
2	21-40
1	1-20: 使用前にバッテリーを再充電してください。
0	完全に放電しているか、障害が発生しています。 ¹
小刻みの点滅	オーバーヒートなどの一時的または復旧可能な障害が発生しています。 ²

¹故障したバッテリーを取り付けると、インジケータが橙色に小刻みに点滅します。新しいバッテリーをお求めになる場合は、[Dellにお問い合わせ](#)いただくかDellのウェブサイト<http://www.dell.com/jp>をご覧ください。古いバッテリーは、[適切に廃棄](#)してください。

²熱くなっているバッテリーは、数分間バッテリーの温度を下げてからもう一度充電レベルをチェックしてください。





バッテリーの低下を知らせるアラーム

注意: バッテリーの低下を知らせるアラームが発せられた場合は、すぐに作業中のファイルを保存します。そして、バッテリーを交換するか、またはコンピュータを電源コンセントに接続してください。


注意: データの損失(およびハードディスクドライブのデータ領域の破損)を避けるために、バッテリーの低下を知らせる2回目の警告が発せられたら、すぐに作業中のファイルを保存してください。その後、コンピュータを電源コンセントに接続するか、コンピュータをスタンバイモードにしてください。バッテリーが完全に消耗すると、コンピュータは開かれているファイルを適切に保存せずに停止します。


アラーム(ACアダプタが接続されていない場合)	 インジケータ	バッテリーの残量	コンピュータの動作
バッテリーの低下を知らせる最初のアラーム	橙色の点滅	約15分	アラームの後に動作が全くない場合、休止状態に入りコンピュータの電源を切ります。コンピュータに休止状態ファイルがない場合、スタンバイモードに入ります。
バッテリーの低下を知らせる2回目のアラーム	橙色の点灯	約5分	アラームの後に動作が全くない場合、休止状態に入ります。休止状態ファイルがない場合、スタンバイモードに入ります。 バッテリーの低下を知らせる2回目のアラームが発せられたとき、すでにスタンバイモードになっていた場合はすぐに休止状態になります。休止状態が無効になっている場合、スタンバイモードに戻ります。

バッテリーの充電

- 1 コンピュータを電源コンセントに接続するか、電源コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けると、コンピュータはバッテリーの充電をチェックします。必要に応じて、コンピュータはDell ExpressCharge™テクノロジーを使用してバッテリーを充電します。
- 1 コンピュータの電源が切れていて電源コンセントに接続されている場合、完全に放電したバッテリーはExpressChargeテクノロジーにより約1時間でフル充電されます。それ以外の場合、充電時間は使用しているデバイスや動作しているプログラムにより異なります。
- 1 インジケータは、充電中、緑色に点灯したままになります。
- 1 インジケータは、充電が完了すると点滅を始めます。インジケータが点滅している間、ACアダプタはバッテリーをフルに充電するため細流充電をおこないます。インジケータは、バッテリーを取り外すまで、またはコンピュータを電源コンセントから取り外すまで点滅続けます。
- 1 バッテリーベイとモジュラーベイにバッテリーが取り付けられている場合、ACアダプタはまずバッテリーベイのバッテリーから充電し、次にモジュラーベイのバッテリーを充電します。

注意: コンピュータを使用し続けたり高温の環境に置くと、バッテリーが高温になります。次の注意事項に従ってください。

- 1 バッテリーが高温だと、コンピュータに電源コンセントを接続しても、充電ができません。この機能は、高温のバッテリーを充電するとバッテリーの寿命が短くなったり、バッテリーやコンピュータに損傷を与えることを防止する重要な機能です。
- 1 インジケータが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温のため、充電を開始できません。電源コンセントに接続しているときに、問題が起こった場合は、コンピュータを電源コンセントから外して、コンピュータとバッテリーを室温に戻してください。コンピュータの温度が室温と同じになってから再度電源コンセントに接続して、充電を継続してください。
- 1 コンピュータの温度が下がらない場合は、バッテリーがフル充電される前に充電が停止されます。

 **メモ:** バッテリーは長期間コンピュータに取り付けたままにしておいてもかまいません。バッテリーの内蔵回路が過剰充電を防ぎます。


バッテリーの問題検知

問題のあるバッテリーをコンピュータに取り付けられないようにするには、[バッテリーテストボタン](#)を押してバッテリーの充電状態をチェックします。バッテリーが完全に放電すると、バッテリーゲージは点灯しません。問題のあるバッテリーは最大電位まで充電されなかったり、予期しない動作をする可能性があります。

🔋 バッテリー取り付け後のインジケータの状態	問題	対応処置
緑と橙色が交互に点滅	充電時のバッテリー温度が高くなりすぎています。	コンピュータの電源を切り、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。
以下の状態の後、4秒間橙色に点滅 <ul style="list-style-type: none"> 1 ACアダプタの取り付けまたは取り外し あるいは <ul style="list-style-type: none"> 1 電源ボタンを押す 	バッテリーの不良	バッテリーを交換します。 Dellにお問い合わせ いただくか、Dellウェブサイト http://www.dell.com/jp をご覧ください。
橙色が小刻みに点滅	バッテリーの不良	バッテリーを交換します。 Dellにお問い合わせ いただくか、Dellウェブサイト http://www.dell.com/jp をご覧ください。

バッテリーの破棄

バッテリーが充電できなくなったため廃棄する場合は、お近くの廃棄物取扱所または環境機関にご連絡ください。新しいバッテリーをお求めになる場合は、[Dellにお問い合わせ](http://www.dell.com/jp)いただくかDellのウェブサイト <http://www.dell.com/jp>をご覧ください。

 **警告:** 破損したり充電できなくなったバッテリーは、すみやかに適切な方法で廃棄してください。バッテリーは家庭用のごみと一緒に捨てないでください。バッテリーを廃棄する場合は、お近くの廃棄物取扱所または環境機関にご連絡ください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページへ戻る](#)

デバイスの接続: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [コンピュータの背面](#)
- [コンピュータの左側](#)
- [コンピュータの右側](#)
- [外付けモニタ](#)
- [パラレルデバイス](#)
- [ドッキングデバイス](#)
- [USBデバイス](#)
- [マウス、外付けキーボードおよび外付けテンキーパッド](#)
- [シリアルデバイス](#)
- [ACアダプタ](#)
- [赤外線センサー](#)
- [モデム](#)
- [ネットワーク](#)
- [TVおよびデジタルオーディオ](#)
- [オーディオデバイス](#)
- [IEEE 1394デバイス](#)

コンピュータの背面

注意: 外付けデバイスをコンピュータの背面から取り外す場合、システム基板への損傷を避けるため、コンピュータの電源を切ってから5秒間待ってデバイスの接続を外してください。

注意: コンピュータのオーバーヒートを避けるため、通気孔やファンにものを近づけないでください。また、覆わないよう注意してください。



- 1 ファン
- 2 [AC電源コネクタ](#)
- 3 [PS/2コネクタ\(マウス、キーボードあるいはキーパッド\)](#)
- 4 [ビデオコネクタ](#)
- 5 [ドッキングコネクタ](#)
- 6 [パラレルコネクタ](#)
- 7 [シリアルコネクタ](#)
- 8 [USBコネクタ](#)

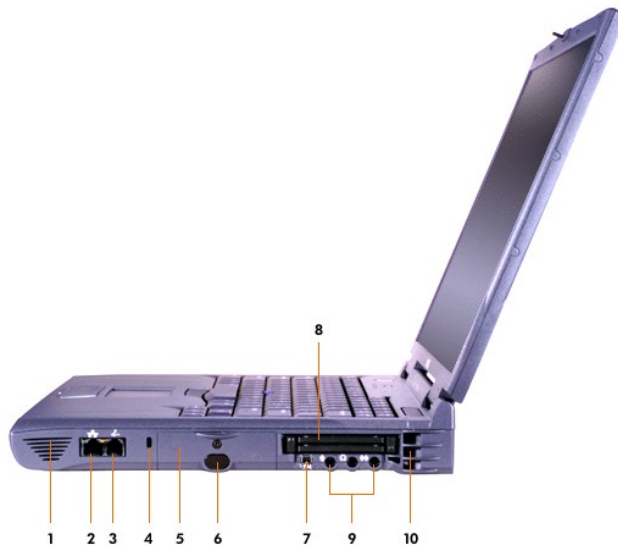
コンピュータの左側



- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 固定光学ドライブプルタブ | 4 セキュリティケーブルスロット |
| 2 固定光学ドライブ | 5 スピーカー |
| 3 Sビデオ TV出力コネクタ | |
-

コンピュータの右側

注意: コンピュータのオーバーヒートを防ぐため、通気孔やファンにものを近づけないでください。また、覆わないよう注意してください。



- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1 スピーカー | 6 IRセンサー |
| 2 ネットワークコネクタ(オプション) | 7 IEEE 1394コネクタ |
| 3 モデムコネクタ(オプション) | 8 PCカードスロット |
| 4 セキュリティケーブルスロット | 9 オーディオコネクタ |
| 5 ハードドライブベイ | 10 通気孔 |
-

外付けモニタ



コンピュータに外付けモニタを取りつけるためにビデオコネクタを使います。

注意: ノートブックコンピュータのディスプレイの開閉に関わらず、コンピュータの上には外付けモニタを載せないでください。コンピュータケースやディスプレイパネルが破損することがあります。

1. 外付けモニタの電源が入っていないことを確認します。モニタをコンピュータの近くの水平な場所 (机やモニタスタンドなど) に置きます。
2. 外付けモニタのビデオケーブルをコンピュータに接続します。
無線電波障害 (RFI) を防ぐため、ビデオケーブルコネクタのすべてのネジをしっかりと締めてください。
3. 外付けモニタをアースされた電源コンセントに接続します。モニタの電源ケーブルが、モニタに接続されていない場合は、コードをモニタに接続します。

外付けモニタの使い方

コンピュータに外付けモニタが接続されている場合、コンピュータを起動するとビデオ画像が外付けモニタに表示されます。



Fn を押し、**F8** を押し、ビデオ画像を次の順序でディスプレイに切り替えます: コンピュータのディスプレイ、同時にディスプレイおよび外付けモニタ、外付けモニタ。[セットアップユーティリティ](#)で External Hot Key オプションが有効になっている場合は、<Scroll Lock> と <F8> キーを組み合わせることで押し替えます。

コンピュータの起動時に外付けモニタの電源が入っていない場合でも、コンピュータはビデオ画像を外付けモニタに送ります。この場合は、内蔵ディスプレイおよび外付けモニタの両方に何も表示されなくなります。画像を表示させるには、外付けモニタの電源を入れるか、ビデオ画像をコンピュータ内蔵のディスプレイに表示させてください。



メモ: ディスプレイがサポートする解像度よりも高い解像度で外付けモニタを使用する場合、同時表示機能は無効になります。

パラレルデバイス



パラレルコネクタにはパラレルデバイス (通常はプリンタ) を接続します。

ドッキングデバイス



ドッキングコネクタには Dell ドッキングデバイスを接続します。ドッキングについての詳細は、ドッキングデバイスに付属しているマニュアルを参照してください。

USB デバイス



USB コネクタにはマウス、キーボード、プリンタあるいはスキャナのような USB 互換デバイスを接続します。

マウス、外付けキーボードおよび外付けテンキーパッド



PS/2 コネクタにはマウス、101 あるいは 102 キーボードあるいはテンキーパッドを接続します。

マウス

[セットアップユーティリティ](#) の Pointing Device オプションが、Touch Pad-PS/2 Mouse (デフォルト) に設定してある場合、PS/2 互換マウスが取り付けられていれば、デュアルポイントデバイスも外付け PS/2 互換マウスも使用できます。マウスを取り外す場合、デュアルポイントデバイスの拡張機能を使用するためには、システムをシャットダウンするか、スタンバイモードを起動すると再び有効になります。そうしない場合は、デュアルポイントデバイスは通常の PS/2 モードになります。このとき、設定されている機能の多くは無効になります。

Microsoft 社製以外の PS/2 互換マウスを使用し、正常に動作しない場合には、コンピュータを再起動してください。それでも動作しない場合には、マウスに付属しているフロッピーディスクあるいは CD からドライバをインストールしてからコンピュータを再起動してください。

外付けキーボード

外付けキーボードと内蔵キーボードを同時に使用することができます。コンピュータに外付けキーボードを接続すると、内蔵テンキーパッドは自動的に無効となります。

外付けキーボードの <Scroll Lock> キーは、内蔵キーボードの <Fn> キーと同じ機能を持っています ([セットアップユーティリティ](#)で External Hot Key オプションが有効になっている場合)。

外付けテンキーパッド

コンピュータに外付けテンキーパッドを接続すると、内蔵テンキーパッドは自動的に無効になります。外付けテンキーパッドの操作は内蔵キーボードのインジケータと連動します。

シリアルデバイス



シリアルコネクタにはシリアルマウスのようなシリアルデバイスを接続します。

ACアダプタ



[ACアダプタ](#)をACアダプタコネクタに接続します。ACアダプタは、AC電源をコンピュータに必要なDC電源に変換します

ACアダプタは、コンピュータの電源のオン・オフにかかわらず接続できます。

ACアダプタは世界各国のAC電源に適合します。ただし、電源コネクタは国によって異なります。国外でAC電源を使用するときは、その国に適した電源コードが必要になる場合があります。


赤外線 (IR) センサー



コンピュータの赤外線 (IR) センサーは、ケーブルで接続することなく、コンピュータから、他のIR互換機器へのファイルの転送をおこなうことができます。お客様がコンピュータを受け取った際は、赤外線センサーは、無効です。セットアップユーティリティを使って、[赤外線センサーを有効にできます](#)。

IRセンサーを有効にした後、ファイルを転送するには：

1. コンピュータと相手の互換機の赤外線センサーをそれぞれ向かい合わせます。赤外線転送は1mの距離で30度の範囲内で有効です。
2. 双方で通信ソフトウェアを起動し、ファイルの転送を開始します。正しく操作するためには相手機器のマニュアルを必ず参照してください。

 **メモ:** 本、紙類等を2つの赤外線デバイスの間に置かないでください。また、双方のデバイスは30度の範囲内で向かい合わせにしてください。

IRセンサーの使い方

- 1 IRセンサーには、IrDA 1.1 (Fast IR) 規格および1.0 (Slow IR) 規格のどちらとも互換性があります。

- 1 赤外線ポートのアドレスは、デフォルトでCOM3に設定されています。他のデバイスとのリソースのコンフリクトが生じた場合は、赤外線センサーのアドレスを設定し直してください。
- 1 コンピュータがDellドッキングデバイスに接続されている場合は、赤外線センサーは自動的に無効になります。
- 1 赤外線デバイスの使い方については、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

モデム



オプション用の内蔵モデムを必要とする場合は、電話回線をモデムコネクタに差し込みます。

注意: システムのモデムとネットワークコネクタを混同しないでください。ネットワークコネクタに電話回線は、差し込まないでください。

モデムの使い方に関する詳細については、システムに付属しているオンラインモデムマニュアルを参照してください。マニュアルにアクセスするには、Windows デスクトップのユーザーズガイドアイコンをダブルクリックし、システム情報をクリックしてから通信をクリックします。

ネットワーク



オプション用のネットワークアダプタを必要とする場合、ネットワークコネクタにネットワーク回線を差し込みます。

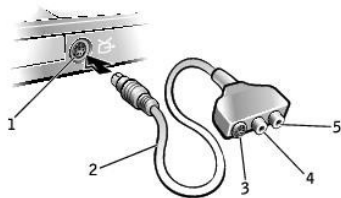
注意: システムのモデムとネットワークコネクタを混同しないでください。ネットワークコネクタに電話回線は、差し込まないでください。

ネットワークアダプタの使い方に関する詳細については、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタマニュアルを参照してください。マニュアルにアクセスするには、Windows デスクトップのユーザーズガイドアイコンをダブルクリックし、システム情報をクリックしてから通信をクリックします。

TVおよびデジタルオーディオ

TVとコンピュータを接続する

お使いのコンピュータにはSビデオTV出力コネクタがあり、TV/デジタルオーディオアダプタケーブルが付属しています。これらを使ってTVやステレオオーディオデバイスとコンピュータを接続できます。TV/デジタルオーディオアダプタケーブルには、Sビデオ、複合ビデオ、およびS/PDIFデジタルオーディオコネクタがあります。




1	SビデオTV出力コネクタ
2	TV/デジタルオーディオアダプタケーブル
3	Sビデオコネクタ
4	複合ビデオコネクタ
5	S/PDIFデジタルオーディオコネクタ

コネクタ

S/PDIFデジタルオーディオに対応していないTVやオーディオデバイスには、コンピュータ側面にあるオーディオコネクタを使ってTVまたはオーディオデバイスにコンピュータを接続します。

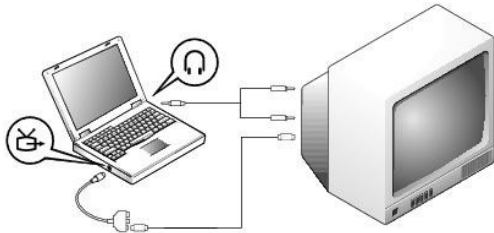
以下の組み合わせの1つを使ってビデオおよびオーディオケーブルを接続するようお勧めします。接続手順は各サブセクションを参照してください。

 **メモ:** 各サブセクションの初めに接続の組み合わせ図がありますので、どの方法をお使いになるかを決める参考にしてください。

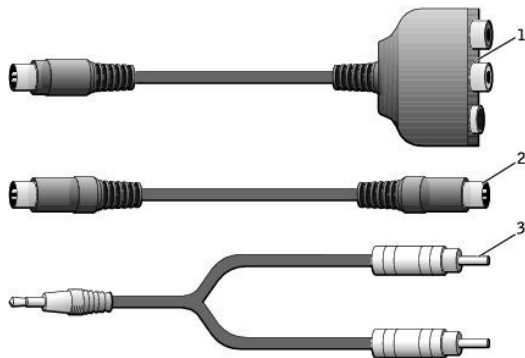
- 1 [Sビデオおよび標準オーディオ](#)
- 1 [Sビデオおよびデジタルオーディオ](#)
- 1 [複合ビデオおよび標準オーディオ](#)
- 1 [複合ビデオおよびデジタルオーディオ](#)

ケーブル接続を完了したら、「[TVの表示設定を有効にする](#)」の項にある手順に従って、コンピュータがTVを認識していて正常に動作していることを確認します。また、S/PDIFデジタルオーディオをお使いの場合、「[S/PDIFデジタルオーディオを有効にする](#)」の項にある手順に従います。

Sビデオおよび標準オーディオ




作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。



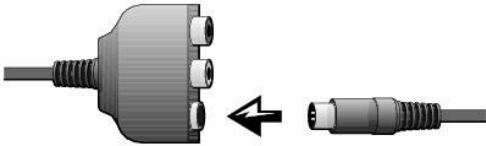
1	TV／デジタルオーディオアダプタケーブル
2	Sビデオケーブル
3	オーディオケーブル

(3.5mmのミニプラグ)

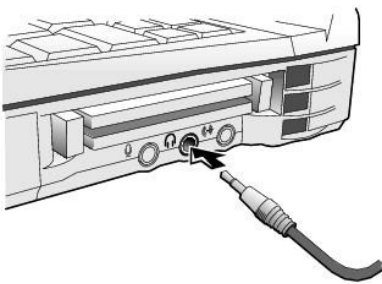
1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

 **メモ:**お使いのTVまたはオーディオデバイスがSビデオに対応しているがS/PDIFデジタルオーディオに対応していない場合、コンピュータのSビデオコネクタに直接(ビデオアダプタケーブルを使わないで)Sビデオケーブルを接続できます。

2. コンピュータのSビデオ出力コネクタにTV/デジタルオーディオアダプタケーブルを接続します。
3. TV/デジタルオーディオアダプタケーブルのSビデオコネクタにSビデオケーブルの片方の端を差し込みます。

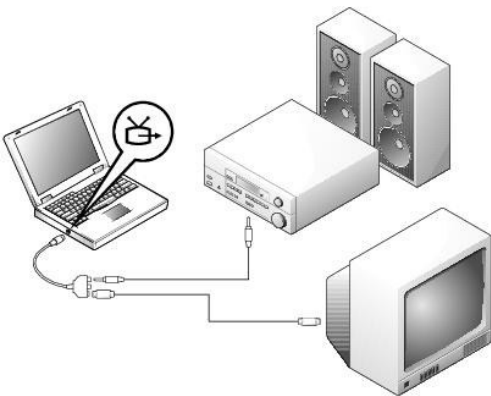


4. TVにSビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。
5. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが1つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

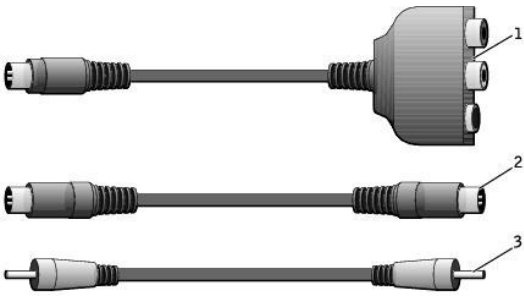


6. TVまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに、オーディオケーブルのもう一方の端にある2つのRCAコネクタを差し込みます。
7. TVおよび接続したすべてのオーディオデバイスの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8. 「[TVの表示設定を有効にする](#)」にある手順に従って、コンピュータがTVを認識していて正常に動作していることを確認します

Sビデオおよびデジタルオーディオ

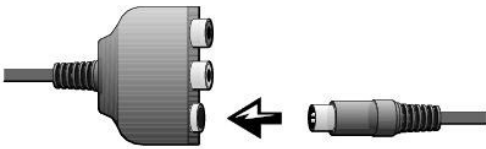


作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

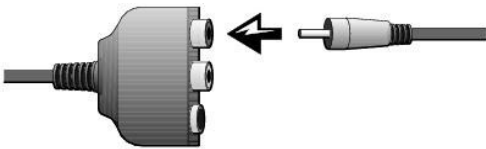


1	TV／デジタルオーディオアダプタケーブル
2	Sビデオケーブル
3	S/PDIFデジタルオーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンピュータのSビデオTV出力コネクタにTV／デジタルオーディオアダプタケーブルを接続します。
3. TV／デジタルオーディオアダプタケーブルのSビデオコネクタにSビデオケーブルの片方の端を差し込みます。

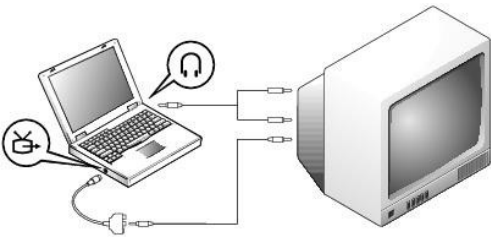


4. TVのSビデオコネクタにSビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。
5. TV／デジタルオーディオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタにS/PDIFデジタルオーディオケーブルの片方の端を差し込みます。

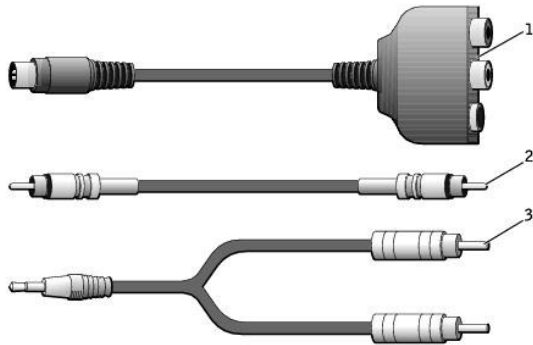


6. TVまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに、S/PDIFデジタルオーディオケーブルのもう一方の端を差し込みます。

複合ビデオおよび標準オーディオ

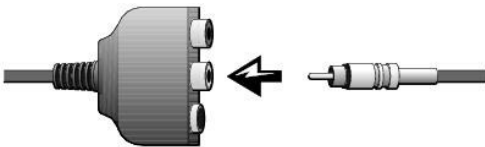


作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

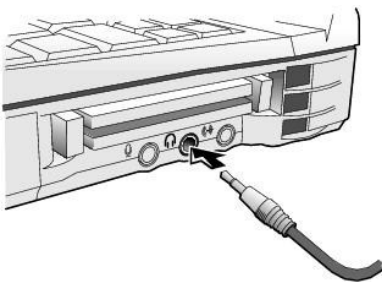


1	TV／デジタルオーディオアダプタケーブル
2	複合ビデオケーブル
3	オーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンピュータのSビデオTV出力コネクタにTV／デジタルオーディオアダプタケーブルを接続します。
3. TV／デジタルオーディオアダプタケーブルの複合ビデオコネクタに複合ビデオケーブルの片方の端を差し込みます。

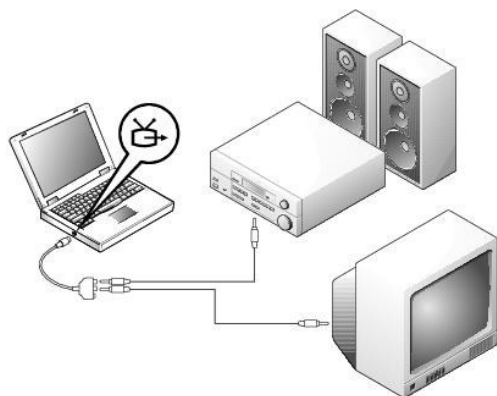


4. TVの複合ビデオコネクタに複合ビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。
5. コンピュータのヘッドフォンコネクタに、コネクタが1つ付いている方のオーディオケーブルの端を差し込みます。

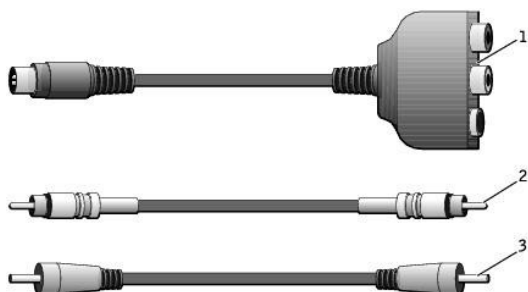


6. TVまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに、オーディオケーブルのもう一方の端にある2つのRCAコネクタを差し込みます。

複合ビデオおよびデジタルオーディオ

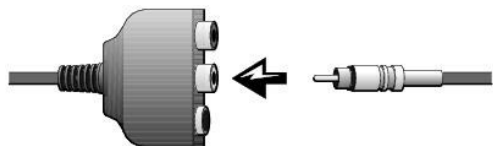


作業を始める前に、以下のケーブルがお手元にあることを確認します。

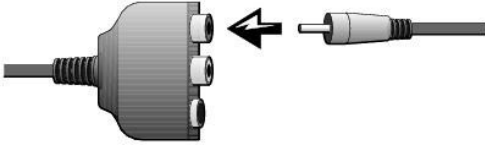


1	TV／デジタルオーディオアダプタケーブル
2	複合ビデオケーブル
3	S/PDIFデジタルオーディオケーブル

1. 接続するコンピュータ、TV、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. コンピュータのSビデオTV出力コネクタにTV／デジタルオーディオアダプタケーブルを接続します。
3. TV／デジタルオーディオアダプタケーブルの複合ビデオコネクタに複合ビデオケーブルの片方の端を差し込みます。




4. TVの複合ビデオコネクタに複合ビデオケーブルのもう一方の端を差し込みます。
5. TV／デジタルオーディオアダプタケーブルのS/PDIFオーディオコネクタに、S/PDIFデジタルオーディオケーブルの片方の端を差し込みます。



6. TVまたは他のオーディオデバイスのS/PDIFコネクタに、デジタルオーディオケーブルのもう一方の端を差し込みます。

TVの表示設定を有効にする

NVIDIAビデオコントローラ

 **メモ:** 表示設定を有効にする前に、TVが正しく接続されていることを確認してください。

1. コントロールパネルウィンドウを開きます。

Windows 2000では、スタートボタンをクリックし、設定をクリックしてからコントロールパネルアイコンをクリックします。

Windows XPでは、スタートボタンをクリックしてからコントロールパネルアイコンをクリックします。

2. 画面アイコンをダブルクリックし、設定タブをクリックしてから詳細設定 (Windows 2000では詳細) をクリックします。
3. TwinViewタブをクリックします。
4. クローンをクリックしてTVを有効にします。
5. 適用をクリックします。
6. OKをクリックして、設定の変更を確定します。
7. はいをクリックして、新しい設定を保存します。
8. OKをクリックします。

S/PDIFデジタルオーディオを有効にする

DVD再生用にDolby Digital 5.1オーディオを有効にする場合、「[DVD再生用Dolby Digital 5.1オーディオを有効にする](#)」にある手順に従います。すべてのWindowsのサウンドでS/PDIFオーディオを有効にするには、「[WindowsオーディオドライバでS/PDIFを有効にする](#)」にある手順に従います。

DVD再生用Dolby Digital 5.1オーディオを有効にする

お使いのコンピュータにDVDドライブが搭載されている場合、DVD再生用にDolby Digital 5.1オーディオを有効にできます。

1. WindowsデスクトップでInterVideo WinDVDアイコンをダブルクリックします。



2. DVDドライブにDVDを挿入します。

DVDの再生が始まった場合、停止ボタンをクリックします。

3. プロパティ(レンチ)のアイコンをクリックします。
4. オーディオタブをクリックします。
5. S/PDIF出力の有効にするをクリックします。
6. 適用をクリックします。
7. OKをクリックします。

WindowsオーディオドライバでS/PDIFを有効にする

 **メモ:**WindowsでS/PDIFを有効にすると、ヘッドフォンコネクタからのサウンドが無効になります。

1. Windows通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。
2. オプションメニューをクリックしてから、トーン調整をクリックします。
3. トーンをクリックします。
4. S/PDIF使用をクリックします。
5. 閉じるをクリックします。
6. OKをクリックします。

画像の調整

現在の解像度および色深度が多くメモリ容量を使い、DVD再生を妨げていますという内容のエラーメッセージが表示された場合、ディスプレイのプロパティを調整します。

Windows XPの場合:




1. スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックします。
2. 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマをクリックします。
3. 作業を選びます で、画面解像度を変更する をクリックします。
4. 画面のプロパティ ウィンドウで、画面の解像度 のバーをクリックしてドラッグし、設定を **800 × 600 ピクセル** に設定します。
5. 画面の色 のプルダウンメニューをクリックしてから、中 (16ビット) をクリックします。
6. OK をクリックします。

Windows 2000の場合:

1. コントロールパネル ウィンドウを開き、画面 アイコンをダブルクリックします。
2. 画面のプロパティ ウィンドウで、設定 タブをクリックします。
3. 画面の領域 にあるバーをクリックしてドラッグし、バーを左右に動かしながら **800 × 600ピクセル** に設定を変更します。
4. 画面の色 の下にあるプルダウンメニューをクリックし、High Color (16ビット) をクリックします。
5. OKをクリックします。

オーディオデバイス



コネクタにはヘッドフォンあるいはスピーカー、コネクタにはマイク、コネクタにはカセットプレーヤーおよびCDプレーヤーのような録音/再生装置を接続します。

コンピュータの音量などの調節には、Windowsタスクバーのボリュームアイコン、セットアップユーティリティおよび[キーの組み合わせ](#)を使用します。

IEEE 1394デバイス



ビデオカメラなどの高速転送レートの必要なデバイスをIEEE 1394コネクタに接続できます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dell™ へのお問い合わせ: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

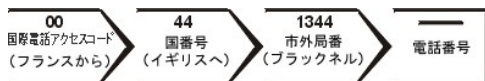
- [概要](#)
- [国際電話アクセスコード](#)
- [南北アメリカお問い合わせ番号](#)
- [ヨーロッパお問い合わせ番号](#)
- [アジアおよびその他の地域のお問い合わせ番号](#)

概要

Dellへお問い合わせになる場合は、次の電話番号、電子アドレスをご利用ください。「[国際電話コード](#)」は、長距離電話と国際電話をおかけになる際に必要な番号の一覧です。「[南北アメリカお問い合わせ番号](#)」、「[ヨーロッパお問い合わせ番号](#)」、および「[アジアおよびその他の地域のお問い合わせ番号](#)」は、世界各国の支所またはサービス拠点の、市外局番、フリーダイヤル番号、Webサイトおよび電子メールアドレスの一覧です。

海外へおかけになる場合は、電話番号に加えて「[国際電話コード](#)」が必要となります。

たとえば、フランスのパリからイギリスのブラックネルへ電話する場合は、次の図のように、フランス国内で指定の国際電話アクセスコード、イギリスの国番号、ブラックネルの市外局番、最後に電話番号になります。



国内の長距離電話の場合は、国際電話アクセスコード、国番号を省略し、受信先の市外局番から使用します。たとえば、フランスのモンペリエからフランスのパリへ電話する場合は、次の図のように、市外局番、電話番号の順にダイヤルします。



どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

メモ:フリーダイヤル番号は、その番号が記載されている国でのみ使用できます。市外局番は、国内長距離電話の際にご使用ください。

電話をかける際には、エクスプレスサービスコードをお手元にご用意ください。エクスプレスサービスコードがおわかりになると、Dellで自動電話サポートシステムをお受けになる場合に、より効率が良いサポートが受けられます。

国際電話コード

お問い合わせ番号を確認するには、それぞれの国をクリックしてください。

国(都市)	国際電話アクセスコード	国番号	市外局番
オーストラリア (シドニー)	0011	61	2
オーストリア (ウィーン)	900	43	1
ベルギー (ブリュッセル)	00	32	2
ブラジル	0021	55	51
ブルネイ	—	673	—
カナダ (オンタリオ州、ノースヨーク)	011	—	不要
チリ (サンティアゴ)	—	56	2
中国 (厦門)	—	86	592
チェコ共和国 (プラハ)	00	420	2
デンマーク (オスロ)	00	45	不要
フィンランド (ヘルシンキ)	990	358	9
フランス (パリ)(モンペリエ)	00	33	(1) (4)
ドイツ (ランゲン)	00	49	6103
香港	001	852	不要

アイルランド(チェリーウッド)	16	353	1
イタリア(ミラノ)	00	39	02
日本(川崎)	001	81	44
韓国(ソウル)	001	82	2
ルクセンブルグ	00	352	—
マカオ	—	853	不要
マレーシア(ペナン)	00	60	4
メキシコ	00	52	5
オランダ(アムステルダム)	00	31	20
ニュージーランド	00	64	—
ノルウェー(リサケー)	00	47	不要
ポーランド(ワルシャワ)	011	48	22
ポルトガル	00	35	—
シンガポール(シンガポール)	005	65	不要
南アフリカ(ヨハネスブルグ)	09/091	27	11
スペイン(マドリッド)	00	34	91
スウェーデン(アップランズヴェスビー)	00	46	8
スイス(ジュネーブ)	00	41	22
台湾	002	886	—
タイ	001	66	—
イギリス(ブラックネル)	010	44	1344
米国(テキサス州オーステン)	011	1	不要

南北アメリカお問い合わせ番号

国(都市)	部署名またはサービス内容	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
アルゼンチン(ブエノスアイレス)	カスタマーサポート、テクニカルサポート		フリーダイヤル:1-800-444-0733
	セールス		フリーダイヤル:1-800-444-3355
	Tech Support Fax		11 4515 7139
	カスタマーケアFax		11 4515 7138
	ウェブサイト: http://www.dell.com.ar		
アンティグア・バーブーダ	一般サポート		1-800-805-5924
バルバドス	一般サポート		1-800-534-3066
バーミューダ	一般サポート		1-800-342-0671
ブラジル	カスタマーサポート、テクニカルサポート		0800 90 3355
	Tech Support Fax		51 481 5470
	カスタマーケアFax		51 481 5480
	セールス		0800 90 3390
	ウェブサイト: http://www.dell.com/br		
カナダ (オンタリオ州ノースヨーク)	自動オーダーステータスシステム		フリーダイヤル: 1-800-433-9014
	AutoTech(自動テクニカルサポート)		フリーダイヤル: 1-800-247-9362
	カスタマーケア(トロント市外から)		フリーダイヤル: 1-800-387-5759
	カスタマーケア(トロント市内から)	416	758-2400
	カスタマーテクニカルサポート		フリーダイヤル: 1-800-847-4096
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市外から)		フリーダイヤル: 1-800-387-5752
	セールス(ダイレクトセールス、トロント市内から)	416	758-2200

	セールス (連邦政府、教育、医療)		フリーダイヤル: 1-800-567-7542
	セールス(大口顧客)		フリーダイヤル: 1-800-387-5755
	TechFax		フリーダイヤル: 1-800-950-1329
ケイマン諸島	一般サポート		1-800-805-7541
チリ (サンティアゴ) メモ:チリからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	セールス、カスタマーサポート、テクニカルサポート		フリーダイヤル: 1230-020-4823
コロンビア	一般サポート		980-9-15-3978
コスタリカ	一般サポート		800-012-0435
ドミニカ共和国	一般サポート		1-800-148-0530
エルサルバドル	一般サポート		01-889-753-0777
ガテマラ	一般サポート		1-800-999-0136
ジャマイカ	一般サポート		1-800-682-3639
ラテンアメリカ メモ:ラテンアメリカからセールス、カスタマーケア、テクニカルサポートにお問い合わせの場合は米国の番号をご利用ください。	カスタマーテクニカルサポート(米国、テキサス州オースチン)	512	728-4093
	カスタマーケア(米国、テキサス州オースチン)	512	728-3619
	Fax(テクニカルサポートおよびカスタマーケア) (米国、テキサス州オースチン)	512	728-3883
	セールス (米国、テキサス州オースチン)	512	728-4397
	セールスFax (米国、テキサス州オースチン)	512	728-4600 728-3772
メキシコ	カスタマーテクニカルサポート		001-877-384-8979 または001-877-269-3383
	セールス		50-81-8800 または01-800-888-3355
	カスタマーサービス		001-877-384-8979 または001-877-269-3383
	代表		50-81-8800 または01-800-888-3355
オランダ領アンティル諸島	一般サポート		001-800-882-15194
ニカラグア	一般サポート		001-800-220-1006
パナマ	一般サポート		001-800-507-0962
ペルー	一般サポート		0800-50-669
プエルトリコ	一般サポート		1-800-534-3066
セントルシア	一般サポート		1-800-882-1521
トリニダードトバコ共和国	一般サポート		1-800-805-8035
米国 (テキサス州オースチン)	自動オーダーステータスシステム		フリーダイヤル: 1-800-433-9014
	AutoTech(ノートブック/デスクトップコンピュータ用)		フリーダイヤル: 1-800-247-9362
	Dell Home and Small Businessグループ(ノートブックおよびデスクトップコンピュータ用):		
	カスタマーテクニカルサポート(製品返送確認ナンバー)		フリーダイヤル: 1-800-624-9896
	カスタマーテクニカルサポート(http://www.dell.com から購入のお客様用)		フリーダイヤル: 1-877-576-3355
	カスタマーサービス (返金確認ナンバー)		フリーダイヤル: 1-800-624-9897
	ナショナルアカウント システムをお求めになったDell既定のナショナルアカウントのお客様(アカウントナンバーをお手元にご用意ください)、医療機関、または VAR (value-added reseller) の場合:		
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート(製品返送確認ナンバー)		フリーダイヤル: 1-800-822-8965
	Public Americasインターナショナル (Dellシステムをお求めになった政府機関または教育機関の場合):		
	カスタマーサービスおよびテクニカルサポート(製品返送ナン		フリーダイヤル: 1-800-234-1490

	バー)		
	Dellセールス		フリーダイヤル:1-800-289-3355 フリーダイヤル: 1-800-879-3355
	交換部品販売		フリーダイヤル: 1-800-357-3355
	有料テクニカルサポート(デスクトップおよびノートブック)		フリーダイヤル: 1-800-433-9005
	セールス(カタログ)		フリーダイヤル: 1-800-426-5150
	Fax		フリーダイヤル: 1-800-727-8320
	TechFax		フリーダイヤル: 1-800-950-1329
	聴覚・言語障害者のためのサービス		フリーダイヤル: 1-877-DELLTTY (1-877-335-5889)
	代表	512	338-4400
U.S. バージン諸島	一般サポート		1-877-673-3355
ベネズエラ	一般サポート		8001-3605

ヨーロッパお問い合わせ番号

国(都市)	部門名またはサービス	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
オーストリア (ウィーン) メモ: オーストリアからの テクニカルサポートおよ びカスタマーケアのお問 い合わせは、ドイツのラ ンゲンの電話番号をご 利用ください。	代表	01	491 040
	Home/Small Businessセールス	01	795676-02
	Home/Small Business セールス Fax	01	795676-05
	Home/Small Business カスタマーケア	01	795676-03
	優先アカウント/法人カスタマーケア		0660-8056
	Home/Small Business テクニカルサポート	01	795676-04
	優先アカウント/法人テクニカルサポート		0660-8779
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_support_central_europe@dell.com		
ベルギー (ブリュッセル)	テクニカルサポート	02	481 92 88
	カスタマーケア	02	481 91 19
	Home/Small Businessセールス		フリーダイヤル:0800 16884
	法人セールス	02	481 91 00
	Fax	02	481 92 99
	代表	02	481 91 00
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_be@dell.com		
チェコ共和国 (プラハ)	テクニカルサポート	02	22 83 27 27
	カスタマーケア	02	22 83 27 11
	Fax	02	22 83 27 14
	TechFax	02	22 83 27 28
	代表	02	22 83 27 11
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: czech_dell@dell.com		
デンマーク (オスロ)	テクニカルサポート		45170182
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex、Workstation、Latitude)		45170184
	Home/Small Business カスタマーケア		32875505
	代表		45170100
	Faxテクニカルサポート(スウェーデン、アップランズヴェズビー)	00	46 859005594

	Fax代表		45170117
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: den_support@dell.com		
	サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com		
フィンランド (ヘルシンキ)	テクニカルサポート	09	253 313 60
	テクニカルサポート Fax	09	253 313 81
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex、Workstation、Latitude)	09	253 313 38
	Home/Small Business カスタマーケア	09	693 791 94
	Fax	09	253 313 99
	代表	09	253 313 00
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: fin_support@dell.com		
フランス (パリ・モンペリエ)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート	0825	387 270
	カスタマーケア	0825	823 833
	Fax	0825	004 701
	代表	0825	004 700
	代表(選択可)	04	99 75 40 00
	セールス	0825	004 700
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: web_fr_tech@dell.com		
	法人		
	テクニカルサポート	0825	004 719
	カスタマーケア	0825	338 339
	代表	01	55 94 71 00
	セールス	01	55 94 71 00
	Fax	01	55 94 71 01
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
電子メール: web_fr_tech@dell.com			
ドイツ (ランゲン)	テクニカルサポート	06103	766-7200
	Home/Small Business カスタマーケア		0180-5-224400
	グローバルカスタマーケア	06103	766-9570
	優先アカウントカスタマーケア	06103	766-9420
	大口アカウントカスタマーケア	06103	766-9560
	公共機関アカウントカスタマーケア	06103	766-9555
	代表	06103	766-7000
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_support_central_europe@dell.com		
アイルランド (チェリーウッド)	テクニカルサポート		1850 543 543
	ホームユーザーカスタマーケア	01	204 4095
	スモールビジネスカスタマーケア	01	204 4026
	法人カスタマーケア	01	279 5011
	セールス	01	204 4444
	セールスFax	01	204 0144
	Fax	01	204 5960
	代表	01	204 4444

	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_direct_support@dell.com		
イタリア (ミラノ)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート	02	577 826 90
	カスタマーケア	02	696 821 14
	Fax	02	696 821 13
	代表	02	696 821 12
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: web_it_tech@dell.com		
	法人		
	テクニカルサポート	02	577 826 90
	カスタマーケア	02	577 825 55
	Fax	02	575 035 30
	代表	02	577 821
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: web_it_tech@dell.com		
ルクセンブルグ メモ: ルクセンブルグから、セールス、カスタマーケア、およびテクニカルサポートにお問い合わせの場合はベルギーの番号をご利用ください。	テクニカルサポート(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 92 88
	Home/Small Business セールス (ベルギー、ブリュッセル)		フリーダイヤル: 080016884
	法人セールス (ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 00
	カスタマーケア(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 19
	代表(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 91 00
	Fax(ベルギー、ブリュッセル)	02	481 92 99
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_be@dell.com		
オランダ (アムステルダム)	テクニカルサポート	020	581 8838
	カスタマーケア	020	581 8740
	Home/Small Businessセールス		フリーダイヤル: 0800-0663
	Home/Small Business セールスFax	020	682 7171
	法人セールス	020	581 8818
	法人セールスFax	020	686 8003
	Fax	020	686 8003
	代表	020	581 8818
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: tech_nl@dell.com		
ノルウェー (リサケー) メモ: ノルウェーからFaxテクニカルサポートについてお電話をされる場合は、スウェーデンの電話番号をご利用ください。	テクニカルサポート		671 16882
	リレーショナルカスタマーケア (OptiPlex、Workstation、Latitude)		671 17514
	Home/Small Business カスタマーケア		231 62298
	代表		671 16800
	Faxテクニカルサポート(スウェーデン、アップランズヴェズビー)	00	46 8 590 05 594
	Fax代表		671 16865
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: nor_support@dell.com サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com		
ポーランド (ワルシャワ)	テクニカルサポート	22	57 95 700
	カスタマーケア	22	57 95 999
	セールス	22	57 95 999

	代表	22	57 95 999
	Fax	22	57 95 998
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: pl_support@dell.com		
ポルトガル	テクニカルサポート	35	800 834 077
	カスタマーケア	34 35	800 300 415 または 800 834 075
	セールス	35	800 300 410 または 800 300 411 または 800 300 412 または 121 422 07 10
	Fax	35	121 424 01 12
	代表	34	917 229 200
	電子メール: es_support@dell.com		
スペイン (マドリード)	Home/Small Business		
	テクニカルサポート		902 100 130
	カスタマーケア		902 118 540
	代表		902 118 541
	Fax		902 118 539
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: web_esp_tech@dell.com		
	法人		
	テクニカルサポート		902 100 130
	カスタマーケア		902 118 546
	代表	91	722 92 00
	Fax	91	722 95 83
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: web_esp_tech@dell.com		
スウェーデン (アップランズヴェスビー)	テクニカルサポート	08	590 05 199
	リレーショナルカスタマーケア(OptiPlex™、Workstation、Latitude™)	08	590 05 642
	Home/Small Business カスタマーケア	08	587 70 527
	Faxテクニカルサポート	08	590 05 594
	セールス	08	590 05 185
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: swe_support@dell.com		
	LatitudeおよびInspiron™専用電子メールサポート: Swe-nbk_kats@dell.com OptiPlex専用電子メールサポート: Swe_kats@dell.com サーバ専用電子メールサポート: Nordic_server_support@dell.com		
スイス (ジュネーブ)	テクニカルサポート (Home/Small Business)		0844 811 411
	テクニカルサポート (法人)		0844 822 844
	カスタマーケア (Home/Small Business)		0848 802 202
	カスタマーサービス (法人)		0848 821 721
	代表	022	799 01 01
	Fax	022	799 01 90
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: swisstech@dell.com		
イギリス (ブラックネル)	テクニカルサポート (法人/優先アカウント/PAD[従業員1000名以上])	0870	908 0500

テクニカルサポート(ダイレクト/PADおよび一般)	0870	908 0800
グローバルアカウントカスタマーケア	01344	723 186
Home/Small Businessカスタマーケア	0870	907 0010
法人カスタマーケア	01344	723 185
優先アカウントカスタマーケア(従業員 500-5000名)	01344	723 196
中央政府機関カスタマーケア	01344	723 193
地方政府機関カスタマーケア	01344	723 194
Home/Small Businessセールス	0870	907 4000
Home/Small Businessカスタマーケア	0870	906 0010
法人/公共機関セクターセールス	01344	860 456
ウェブサイト: support.euro.dell.com		
電子メール: dell_direct_support@dell.com		

アジアおよびその他地域のお問い合わせ番号

国(都市)	部署名またはサービス内容	市外局番	市内番号またはフリーダイヤル
オーストラリア (シドニー)	Home/Small Business		1-300-65-55-33
	Government/Business		フリーダイヤル: 1-800-633-559
	PAD(優先アカウント部門)		フリーダイヤル: 1-800-060-889
	カスタマーケア		フリーダイヤル: 1-800-819-339
	法人セールス		フリーダイヤル: 1-800-808-385
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 1-800-808-312
	Fax		フリーダイヤル: 1-800-818-341
ブルネイ メモ:ブルネイから、カスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	カスタマーテクニカルサポート (マレーシア、ペナン)		633 4966
	カスタマーサービス (マレーシア、ペナン)		633 4949
	Dimension/Inspironセールス(マレーシア、ペナン)		633 4955
中国 (廈門)	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 858 2437
	カスタマーエクスペリエンス		フリーダイヤル: 800 858 2060
	Home/Small Business		フリーダイヤル: 800 858 2222
	優先アカウント部門		フリーダイヤル: 800 858 2062
	大口法人アカウント		フリーダイヤル: 800 858 2999
香港 メモ:香港から、カスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 96 4107
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)		633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 800 96 4109
	法人セールス		フリーダイヤル: 800 96 4108
インド	テクニカルサポート		1600 33 8045
	セールス		1600 33 8044
日本 (川崎)	テクニカルサポート(Dell Precision™、OptiPlex、および Latitude)		フリーダイヤル: 0120-1984-33
	テクニカルサポート(海外から) (Dell Precision、OptiPlex、およびLatitude)	81-44	556-3894
	24時間納期情報案内サービス	044	556-3801
	カスタマーケア	044	556-4240
	ビジネスセールス本部(従業員数400人未満)	044	556-3494
	法人営業本部(従業員数400人以上)	044	556-3433
	エンタープライズ営業本部(従業員数3500人以上)	044	556-3440

	官公庁/研究・教育機関/医療機関セールス	044	556-3440
	Dellグローバルジャパン	044	556-3469
	個人のお客様	044	556-1657
	Faxboxサービス	044	556-3490
	代表	044	556-4300
	ウェブサイト: http://support.jp.dell.com		
韓国 (ソウル)	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 080-200-3800
	セールス		フリーダイヤル: 080-200-3600
	カスタマーサービス(ソウル、韓国)		フリーダイヤル: 080-200-3800
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)		60 4-633-4949
	Fax		2194-6202
	代表		2194-6000
マカオ メモ: マカオからカスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 0800 582
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)		633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 0800 581
マレーシア (ペナン)	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 1 800 888 298
	カスタマーサービス	04	633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 1 800 888 202
	法人セールス		フリーダイヤル: 1 800 888 213
ニュージーランド	Home/Small Business		0800 446 255
	Government/Business		0800 444 617
	セールス		0800 441 567
	Fax		0800 441 566
シンガポール (シンガポール) メモ: シンガポールからカスタマーケアにお問い合わせの場合はマレーシアの番号をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 800 6011 051
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)	04	633 4949
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 800 6011 054
	法人セールス		フリーダイヤル: 800 6011 053
南アフリカ (ヨハネスブルグ)	テクニカルサポート	011	709 7710
	カスタマーケア	011	709 7707
	セールス	011	709 7700
	Fax	011	706 0495
	代表	011	709 7700
	ウェブサイト: support.euro.dell.com		
	電子メール: dell_za_support@dell.com		
東南アジア/太平洋各国 (オーストラリア、ブルネイ、中国、香港、日本、韓国、マカオ、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイを除く - これらの国々については個々のリストを参照してください。)	カスタマーテクニカルサポート、カスタマーサービス、セールス(マレーシア、ペナン)		604 633-4810
台湾	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 0080 60 1225
	テクニカルサポート(サーバー)		フリーダイヤル: 0080 60 1256
	Dimension/Inspironセールス		フリーダイヤル: 0080 651 228/0800 33 556
	法人セールス		フリーダイヤル:

			0080 651 227/0800 33 555
タイ メモ:タイからカスタマー ケアにお問い合わせの 場合はマレーシアの番号 をご利用ください。	テクニカルサポート		フリーダイヤル: 088 006 007
	カスタマーサービス(マレーシア、ペナン)		633 4949
	セールス		フリーダイヤル: 088 006 009

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Dell™ 診断プログラム: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

[Dell 診断プログラムを使用する場合](#)

[Advanced Testing](#)

[Dell 診断プログラムの特徴](#)

[システム設定情報の確認](#)

[Dell 診断プログラムの起動](#)

Dell 診断プログラムを使用する場合

コンピュータの主要コンポーネントやデバイスが正しく機能しない場合は、構成部品が故障している可能性があります。コンピュータに不具合が生じたら、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせになる前に「[解決策を見つけるには](#)」にあるチェック事項を実行し、Dell 診断プログラムを実行するようお勧めします。

コンピュータのマイクロプロセッサと I/O 装置 (ディスプレイ、キーボード、フロッピードライブなど) が機能している限り、Dell 診断プログラムをご使用になれます。Dell 診断プログラムを実行すると、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせにならなくてもご自分で問題を解決することが可能です。

コンピュータに関する詳しい知識をお持ちで、どの構成部品をテストしたらよいかがお分かりの場合は、対応するテストグループまたはサブテストを選択してください。どのように診断テストを始めたらよいか分からない場合は、「[Dell 診断プログラムの起動](#)」と「[Advanced Testing](#)」をお読みください。

Dell 診断プログラムの特徴


Dell 診断プログラムは、一般的な診断プログラムとは異なり、コンピュータのハードウェアをチェックする際に専用の装置を接続する必要もなく、データを破壊する危険性もありません。Dell 診断プログラムを使用することで、コンピュータシステムの信頼性を一層高めることができます。また、診断テストの結果は、Dell のテクニカルサポートの担当者が技術サポートをおこなうための重要な情報を提供します。コンピュータに不具合が生じたら、Dell のテクニカルサポートにお問い合わせになる前に「[解決策を見つけるには](#)」にあるチェック事項を実行し、Dell 診断プログラムを実行するようお勧めします。

注意: Dell 診断プログラムは、Dell のコンピュータ専用です。他のコンピュータでこのプログラムを使用すると、コンピュータに異常な反応が起きたり、エラーメッセージが表示されたりすることがあります。


また、診断テストグループやサブテストには、以下の特徴があります。

- 1 Options でクイックテストあるいは詳細テストを、デバイス毎にあるいはまとめて実行するかの指定が可能
- 1 テストグループまたはサブテストを繰り返す回数の指定が可能
- 1 テスト結果の画面への表示、ファイルへの保存が可能
- 1 エラー数が最高限度数 (指定可能) に達したときに、テストを自動停止することが可能
- 1 オンライン Help 画面がテストの説明や実行方法を詳しく表示
- 1 テストグループまたはサブテストが問題なく終了したかどうかを知らせるためのステータスメッセージを表示
- 1 問題が発生したときはエラーメッセージを表示


Dell 診断プログラムの起動

 **メモ:** この項を先へ読み進む前に、これらの手順を印刷することをお勧めします。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. 拡張ユニットがドッキングされている場合、コンピュータを取り外します。
3. コンピュータの電源を入れます。
4. 起動ルーチンの初めに <F2> キーを押してセットアップユーティリティメニューを表示します。

 **メモ:** Dell 診断プログラムを実行後に起動順序を復元する場合にそなえて現在の起動順序を書きとめてください。

5. 次の起動順序を選択します。

 **メモ:** 固定光学ドライブとしてインストールされている CD、CD-RW または DVD ドライブからのみ起動できます。モジュラーベイにインストールされているモジュールからは起動できません。

- 1 Boot First Device: Diskette Drive

- 1 Boot Second Device: CD/DVD/CD-RW Drive
- 1 Boot Third Device: Internal HDD
- 6. お使いのコンピュータに付属のDrivers and Utilities CDをCDドライブに挿入します。
- 7. コンピュータの電源を切ります。
- 8. コンピュータの電源を入れます。システムが再起動し、自動的にDell診断プログラムが起動します。
- 9. 診断プログラムを実行したら、Drivers and Utilities CD をCDドライブから取り出します。

使いやすい起動順序にカスタマイズするには、手順1から6を繰り返します。次に、コンピュータを再起動します。

診断プログラムを起動すると、まずDellのロゴが画面に表示され、プログラムがロードされていることを示すメッセージが表示されます。プログラムのロードが終了すると、Diagnostics Menu が表示されます。

Diagnostics Menuでオプションを選択するには、オプションをハイライト表示して<Enter>キーを押すか、またはオプションのハイライト表示された文字に対応するキーを押してください。

Diagnostics Menu

	オプション	機能
Test All Devices Test One Device Advanced Testing Information and Results Program Options Exit to MS-DOS	Test All Devices (すべてのデバイスをテストする)	すべてのデバイスに対する詳細診断テスト、あるいはクイック診断テストを実行します。
	Test One Device (1つのデバイスをテストする)	デバイスグループリストからデバイスを1つ選び、そのデバイスに対する詳細診断テスト、あるいはクイック診断テストを実行します。Test One Deviceを選択し、<F1>を押すとテストに関する詳細情報が表示されます。
	Advanced Testing	テストのパラメータを変更したり、テストを実行するグループの選択ができます。 Advanced Testing についての詳細は、オンラインヘルプをご覧ください。
	Information and Results (結果と詳細)	Dell診断プログラムが使用するサブテストのテスト結果、テストエラー、バージョン番号、およびDell診断プログラムについてのその他の役に立つ情報を表示します。
	Program Options (プログラムオプション)	Dell診断プログラムの設定を変更できます。
	Exit to MS-DOS (MS-DOSへ移動)	MS-DOS [®] プロンプトを表示します。

システムを簡単にチェックするには、Test All DevicesあるいはTest One DeviceオプションからQuick Testsを選択してください。Quick Testsでは、ユーザーが応答する必要がなく、短時間で実行できるサブテストのみが実行されます。まずQuick Testsを選択して、問題の原因をすばやく見つけることをお勧めします。

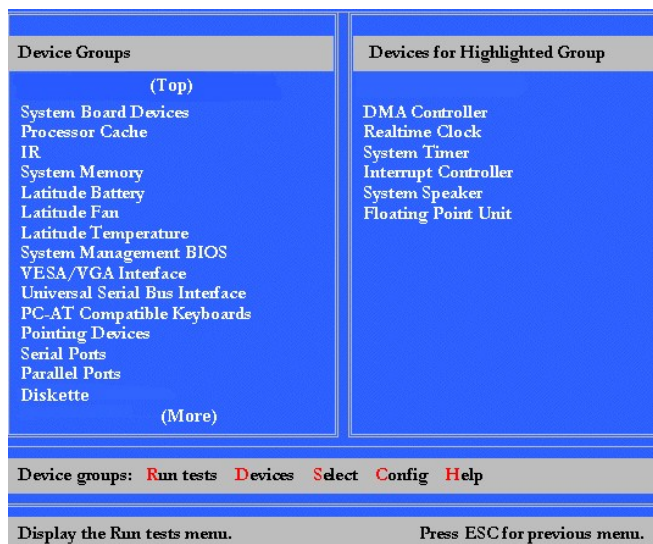
システム全体をチェックする場合には、Test All DevicesオプションからExtended Testsを選択してください。

コンピュータの特定の場所をチェックするには、Test One DeviceからExtended Testsを選択するか、Advanced Testingを選択してテストをカスタマイズしてください。

Advanced Testing

Diagnostics MenuからAdvanced Testingを選択すると、次の画面が表示され、診断テストデバイスグループと選択されたデバイスグループのデバイスが一覧表示されています。メニューからカテゴリを選択できます。矢印キー、あるいは<Page Up>キーおよび<Page Down>キーを押して画面上での動きを操作します。

Advanced Testingメイン画面



Advanced Testing画面には次のような情報が表示されています。

- 1 画面の左側は Device Groups エリアになっており、実行されるテストグループのリストが表示されます。メニューから Run tests を選択し、続いて All を選択すると、テストはこのエリアに表示された順序で実行されます。テストグループを選択するためのハイライト表示には、↑または↓キーを押してください。
- 1 画面右側のDevices for Highlighted Groupエリアに、コンピュータが現在検出しているハードウェアの一覧とその関連する設定が表示されます。
- 1 画面下部の2行はメニューエリアになっています(「Advanced Testing ヘルプメニュー」参照)。1行目には選択可能なオプションが表示されており、←または→キーを押してハイライト表示します。2行目には、1行目でハイライト表示されているオプションの説明が表示されます。

 **メモ:** 画面に表示されるオプションには、コンピュータのハードウェア設定が反映されています。

Advanced Testing ヘルプメニュー

Advanced Testing オプションの使い方の詳細を表示するには、次の手順に従ってください。

1. <h>キーを押します。
2. Help(ヘルプ)カテゴリをハイライト表示して<Enter>キーを押すか、選択したカテゴリの中でハイライト表示されている文字に対応するキーを押します。

Advanced Testing ヘルプのカテゴリ

ヘルプの カテゴリ	説明
Menu	Menuオプションは、メインメニュー画面エリア、Device Group、および他の診断メニューとコマンドの説明、そしてそれらの使用方法が書かれています。
Keys	Keysオプションは、Dell診断プログラムで使用できるすべてのキーの機能について説明しています。
Device Group	Device Groupオプションは、メインメニュー画面のDevice Groupリストで現在ハイライト表示になっているテストグループを説明しています。いくつかのテストについては、実行する理由も説明しています。
Device	Deviceオプションは、Device Groupでハイライト表示されているデバイスの機能や目的を説明しています。たとえば、Device GroupリストでDisketteのDevice Helpオプションを選択すると次の説明が表示されます。 <u>Diskette Drive A</u> The floppy drive device reads and writes data to and from floppy disks. Floppy disks are flexible recording media, sometimes contained in hard shells. Floppy disk recording capacities are small and access times are slow relative to hard disk drives, but they provide a convenient means of storing and transferring data. (フロッピードライブデバイスは、ディスクととの間でデータを読み書きします。フロッピーディスクは融通のきく記録媒体で、ハードシェルに組み込まれている場合があります。フロッピーディスクの記録容量は小さく、アクセス時間はハードディスクドライブに比べて低速ですが、データの保存と転送に便利な手段です。)
Test	Testオプションは、現在ハイライト表示されている各テストグループのサブテストについて、詳しく説明しています。Disketteサブテストの中の floppy drive Seek Testの例を次に示します。 <u>Diskette Drive A - floppy drive Seek Test</u>

	This test verifies the drive's ability to position its read/write heads. The test operates in two passes: first, seeking from the beginning to ending cylinders inclusively, and second, seeking alternately from the beginning to ending cylinders with convergence towards the middle. (このテストは、読み書きヘッドの位置を設定するドライブの機能を確認します。テストは2つのパスで動作します。第1に、開始シリンダから終了シリンダまでチェックし、第2に、開始シリンダから終了シリンダまで交互にチェックし、中央へ収束します。)
Versions	Versionsオプションは、Dell診断プログラムで使用されるサブテストのバージョン番号のリストを表示します。

システム設定情報の確認

Drivers and Utilities CDからコンピュータを起動すると、診断プログラムによりシステム情報がチェックされ、その内容がメイン画面の Device Groupsに表示されます。

診断プログラムは、次の情報を元にして設定をチェックします。

- 1 セットアップユーティリティで選択したシステム設定情報の設定(不揮発性ランダムアクセスメモリ[NVRAM])に格納されています)
- 1 マイクロプロセッサ、ビデオコントローラ、キーボードコントローラ、およびその他の主要部品の識別テスト
- 1 RAMに一時保存されているBIOS設定情報

Device Groups エリアには、コンピュータに取り付けられている装置や構成部品のすべての名前が表示されない場合があります。たとえば、コンピュータにプリンタが接続されていても、そのプリンタ名は表示されていないことがあります。この場合、プリンタはパラレルポートとしてリストに表示されています。コンピュータはパラレルポートを、出力情報の送信先と入力情報の送信元を知らせるアドレスLPT1として認識します。プリンタはパラレル通信装置であることから、コンピュータはプリンタをそのアドレスLPT1として認識し、それをパラレルポートとして確認しているのです。Parallel Portsテストでプリンタの接続をテストできます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ソフトウェアの再インストール: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [ドライバおよびユーティリティのインストール](#)
- [管理タグ設定ユーティリティの再インストール](#)
- [内蔵モデムおよびネットワークアダプタ用ドライバ\(オプション\)の手動再インストール](#)

 **メモ:** 始める前にこれらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

この項の手順では管理者権限が必要になることがあります。手順を実行する前に、ネットワーク管理者に権限を確認することをお勧めします。

ドライバおよびユーティリティのインストール

お使いのコンピュータに付属のDell Drivers and Utilities CDには、お使いのコンピュータに必要なドライバのほとんど、またお使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも含まれています。インストールするドライバがお使いのオペレーティングシステム用であることを確認してください。

ワイヤレス通信、DVDドライブ、およびZipドライブなどオプションのデバイスのドライバをインストールするには、これらのデバイスに付属のソフトウェアCDおよびマニュアルを参照してください。

Dellのテクニカルサポートウェブサイト<http://support.jp.dell.com>でも、ドライバ、システムツール、およびマニュアルへのアクセスやダウンロードができます。コンピュータにプリインストールされているオペレーティングシステムの使い方については、コンピュータに付属のオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

注意: ドライバを再インストールする前に、コンピュータがドッキング解除されていることを確認してください。


ドライバまたはユーティリティをDrivers and Utilities CDからインストールするには:

- 開いているすべてのプログラムで作業中のファイルを保存します。
- Drivers and Utilities CDをCDドライブまたはDVDドライブに挿入します。

ほとんどの場合、CDは自動的に実行されます。実行されない場合、Microsoft® Windows® エクスプローラを起動して、CDドライブのディレクトリをクリックしてCDの内容を表示し、次にautorcdアプリケーションファイルをクリックします。ようこそ画面が表示されたら、**次へ**をクリックします。CDを初めて使用する場合、いくつかのセットアップファイルをインストールするよう表示されたら、OKをクリックして、画面の指示に従って続行します。
- ツールバーの**言語** プルダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティの希望の言語(利用可能な場合)を選択します。

ようこそ画面が表示されます。
- 次へ**をクリックします。
- 検索基準**で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、**デバイスの種類**、および**トピック** のプルダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

コンピュータで使用される特定のドライバまたはユーティリティのリンクが表示されます。
- 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールしたいドライバまたはユーティリティについての情報を表示させます。
- ドライバの情報画面で、以下のいずれか1つをおこなってください。
 - インストール** ボタン(表示されている場合)をクリックして、自動インストールを開始します。ようこそ画面で、画面のプロンプト表示に従ってインストールを完了します。
 - インストール** ボタンが表示されない場合、自動インストールは選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順に進むか、または**解凍** ボタンをクリックして展開手順に従い、readmeファイルを読んでください。

 **メモ:** ドライバファイルへ移動するよう指示された場合は、ドライバ情報画面でCDのディレクトリをクリックし、そのドライバに関連づけられているファイルを表示します。

管理タグ設定ユーティリティの再インストール

- Drivers and Utilities CDを挿入します。

ほとんどの場合、CDは自動的に実行されます。実行されない場合、Microsoft® Windows® エクスプローラを起動して、CDドライブのディレクトリをクリックしてCDの内容を表示し、次にautorcd アプリケーションファイルをクリックします。ようこそ画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。CDを初めて使用する場合、いくつかのセットアップファイルをインストールするよう表示されたら、OK をクリックして、画面の指示に従って続行します。

2. **検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、**デバイスの種類** ブルダウンメニューから適切なカテゴリを選び、**トピック** のブルダウンメニューから**ユーティリティ**を選択します。

コンピュータで使用される特定のドライバまたはユーティリティのリンクが表示されます。

3. **Asset Tag**(管理タグ)をクリックします。
4. **解凍** をクリックします。
5. **Drivers and Utilities CD**にある**Asset Tag** ユーティリティをハードドライブのc:\dell\util ディレクトリに解凍します。

このユーティリティを使用するには、「[管理タグの割り当て](#)」を参照してください。

内蔵モデムおよびネットワークアダプタ用ドライバ(オプション)の手動再インストール

内蔵モデムが必要な場合、モデムドライバを再インストールする必要があります。

モデム/ネットワークアダプタ(コンビネーション)を注文なされた場合は、両方のドライバ(モデムおよびネットワークアダプタ)を再インストールする必要があります。

モデムまたはネットワークアダプタ用ドライバをインストールするには、オペレーティングシステムに応じて、この項の該当する手順を使用します。

Windows XP対応のモデムまたはネットワークアダプタ用ドライバのインストール

1. 作業中のファイルを保存して、Drivers and Utilities CDを挿入します。
2. **スタートボタン**をクリックしてから、**コントロールパネル** をクリックします。
3. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
4. **コントロール パネルを選んで実行します** で、**システム** をクリックします。
5. **システムのプロパティ** ウィンドウの**ハードウェア** タブをクリックします。
6. **デバイスマネージャ** ボタンをクリックします。

モデムドライバをインストールする場合、**モデム** をクリックしてから適切なモデムをクリックします。

ネットワークアダプタをインストールする場合、**ネットワークアダプタ** をクリックしてから**3Com3C920 Integrated Fast Ethernet Controller** をクリックします。

7. **ドライバ**をクリックしてから、**ドライバの更新** をクリックします。
8. **一覧または特定の場所からインストールする(詳細)** を選んでから**次へ**をクリックします。
9. **リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)**を**検索**が選ばれていることを確認してから**次へ**をクリックします。
10. 適切なドライバが表示されたら、**次へ**をクリックします。
11. **完了**をクリックして、コンピュータを再起動します。

Windows 2000対応のモデムまたはネットワークアダプタ用ドライバのインストール

1. 作業中のファイルを保存して、Drivers and Utilities CDを挿入します。
2. **スタートボタン**をクリックし、**設定** をポイントして**コントロールパネル** をダブルクリックします。
3. **コントロールパネル** ウィンドウの**システム** アイコンをダブルクリックします。
4. **システムのプロパティ** ウィンドウの**ハードウェア** タブをクリックします。
5. **デバイスマネージャ** ボタンをクリックして、**その他のデバイス** を参照します。

モデムドライバをインストールするには、**PCシンプル通信コントローラ** をクリックします。

ネットワークアダプタをインストールするには、**イーサネットコントローラ** をクリックします。

6. ブルダウンメニューの**操作** をクリックして、**プロパティ** を選択します。
7. **ドライバの再インストール** ボタンをクリックしてから、**次へ** をクリックします。
8. **デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。
9. **CD-ROM ドライブ** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。

10. 検索が完了し、適切なドライバが検出されたら、**次へ** をクリックします。
11. **完了** をクリックして、モデムドライバのインストールを完了します。


[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)


エラーメッセージの理解: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

アプリケーションプログラム、オペレーティングシステム、およびコンピュータ自体には、問題の発生を知らせる機能があります。問題が発生すると、コンピュータの内蔵ディスプレイまたは外付けモニター(取り付けられている場合)にメッセージが表示されたり、フラッシュコードが出たりします。

エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容をメモしてください。メッセージの説明と解決方法については、[システムエラーメッセージ](#)を参照してください。メッセージはアルファベット順に示されます。

 **メモ:** メッセージが[システムエラーメッセージ](#)の一覧にない場合、メッセージが表示された際に実行していたアプリケーションプログラムのマニュアル、あるいはメッセージや対応策の説明に関するオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

システムエラーメッセージ

メッセージ	原因	対応策
Auxiliary device failure	内蔵タッチパッド、トラックスティックまたは外付けPS/2マウスに問題がある可能性があります。	外付けマウスだけを使用している場合は、ケーブルが正しく接続されているかをチェックします。問題が解決しない場合は、 Pointing Device オプションを有効に設定します。問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
Bad command or file name	入力したコマンドが存在しない、または指定したパス内にありません。	正しいコマンドをタイプしたか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。
Cache disabled due to failure	マイクロプロセッサに内蔵の1次キャッシュに問題が発生しました。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
CD drive controller failure 1	CDドライブは、コンピュータからコマンドに応答しません。	コンピュータの電源を切り、ドライブを取り外し、コンピュータを起動フロッピーディスクから起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ドライブを再度取り付け、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は別のドライブを取り付けてください。 Dell診断プログラム のCD driveテストを実行します。
Data error	フロッピーまたはハードドライブからデータを読むことができません。	適切なユーティリティを使用してフロッピードライブまたはハードドライブのファイル構成をチェックします。詳細についてはオペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。
Decreasing available memory	メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
Disk C: failed initialization	ハードドライブの初期化に失敗しました。	Dell診断プログラム の hard driveテストを実行します。
floppy drive 0 seek failure	ケーブルの接続に問題があるか、またはシステム設定情報がハードウェアの設定と一致していない可能性があります。	Dell診断プログラム の floppy driveテストを実行します。問題が解決しない場合はDellに認定された技術者の検証済みのケーブルを入手してください。
Diskette read failure	ケーブルがしっかり接続できていない、またはフロッピーディスクに問題がある可能性があります。	 アクセスライトが点灯する場合は、別のフロッピーディスクを使用してください。
Diskette subsystem reset failed	フロッピードライブコントローラに問題がある可能性があります。	Dell診断プログラム のfloppy drive テストを実行します。
Diskette write-protected	フロッピーディスクへの書き込みが禁止されているので、作業を終了できません。	書き込み禁止ノッチのタブを上をスライドさせます。
Drive not ready	フロッピードライブ内にフロッピーディスクが挿入されていないか、ハードドライブがドライブベイに取り付けられていません。処理を続けるには、ドライブにフロッピーディスクを挿入するか、ドライブベイにハードドライブを挿入してください。	ドライブにフロッピーディスクを置か、フロッピーディスクをイジェクトボタンが上がるまでドライブに押し入れます。または、ハードドライブをドライブベイに取り付けます。
Error reading PCMCIA card	コンピュータが、PCカードを認識できません。	PCカードを取り付け直すか、正常に動作している別のPCカードを使用します。
Extended memory size has changed	NVRAMに記録されているメモリ容量が実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。	コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
Gate A20 failure	メモリモジュールがしっかり接続されていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
General failure	オペレーティングシステムはコマンドを実行でき	通常、このメッセージの後には具体的な情報(たとえば


	ません。	Printer out of paper)が表示されます。適切な対応策に従ってください。
Hard-disk drive configuration error	コンピュータがドライブの種類を識別できません。	コンピュータの電源を切り、ドライブを取り外し、コンピュータを起動可能フロッピーディスクから起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ドライブを取り付け、コンピュータを再起動します。 Dell診断プログラム のhard drive テストを実行します。
Hard-disk drive controller failure 0	ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。	コンピュータの電源を切り、ドライブを取り外し、コンピュータを起動可能フロッピーディスクから起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ドライブを再度取り付け、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は別のドライブを取り付けてください。 Dell診断プログラム のhard driveテストを実行します。
Hard-disk drive failure	ハードドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。	コンピュータの電源を切り、ドライブを取り外し、コンピュータを起動可能フロッピーディスクから起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ドライブを再度取り付け、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は別のドライブを取り付けてください。 Dell診断プログラム のhard driveテストを実行します。
hard drive read failure	ハードドライブに問題がある可能性があります。	コンピュータの電源を切り、ドライブを取り外し、コンピュータを起動可能フロッピーディスクから起動します。次に、コンピュータの電源を切り、ドライブを再度取り付け、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合は別のドライブを取り付けてください。 Dell診断プログラム のhard driveテストを実行します。
Invalid configuration information-please run System Setup Program	システム設定情報がハードウェアの構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。	セットアップユーティリティ 内の対応するオプションを修正します。
Keyboard clock line failure	ケーブル、コネクタがしっかり接続されていない、またはキーボードに問題がある可能性があります。	Dell診断プログラム のKeyboard Controller テストを実行します。
Keyboard controller failure	ケーブル、コネクタがしっかり接続されていない、またはキーボードに問題がある可能性があります。	コンピュータを再起動します。起動中は、キーボードとマウスに触れないでください。問題が解決しない場合は、 Dell診断プログラム のKeyboard Controller テストを実行してください。
Keyboard data line failure	ケーブル、コネクタがしっかり接続されていない、またはキーボードに問題がある可能性があります。	Dell診断プログラム のKeyboard Controller テストを実行します。
Keyboard stuck key failure	外付けキーボードまたはキーパッドを使用している場合は、ケーブル、コネクタの接続が緩んでいる、または外付けキーボードに問題がある可能性があります。内蔵キーボードを使用している場合は、内蔵キーボードに問題がある可能性があります。コンピュータの起動中に内蔵キーボードまたは外付けキーボードのキーが押された可能性があります。	Dell診断プログラム のStuck Key テストを実行します。
Memory address line failure at address, read value expecting value	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
Memory allocation error	実行しようとしているソフトウェアがオペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラムまたはユーティリティとコンフリクトしています。	コンピュータの電源を切り、30秒たってから再起動します。プログラムを再度実行します。問題が解決しない場合は、ソフトウェアの製造元にご連絡ください。
Memory data line failure at address, read value expecting value	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
Memory double word logic failure at address, read value expecting value	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
Memory odd/even logic failure at address, read value expecting value	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。
Memory write/read failure at address,	メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があ	メモリモジュール を取り付け直すか、必要であれば取り替えてください。

read value expecting value	ります。	
No boot device available	コンピュータがフロッピーまたはハードドライブを見つけられません。	フロッピードライブがブートデバイスの場合は、ドライブ内に起動可能フロッピーディスクがあることを確認します。ハードドライブがブートデバイスの場合は、ドライブが正しく取り付けられ、ブートデバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。
No boot sector on hard drive	オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。	オペレーティングシステムを再インストールします。インストールの手順はオペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。
No timer tick interrupt	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。	Dell診断プログラム のSystem Set テストを実行します。
Non-system disk or disk error	Aドライブ内のフロッピーディスクやハードディスクドライブに起動可能なオペレーティングシステムがインストールされていません。	フロッピーディスクから起動しようとしている場合は、ドライブ内にあるディスクを、起動可能なオペレーティングシステムを持つディスクと取り替えます。
Not a boot diskette	オペレーティングシステムがディスク内にありません。	オペレーティングシステムが入ったディスクからシステムを起動します。
Optional ROM bad checksum	オプションROMに問題があります。	Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
Sector not found	オペレーティングシステムがフロッピーまたはハードドライブ上のセクタを見つけられません。フロッピーまたはハードドライブが不良セクタを持っているか、FATが破壊されている可能性があります。	適切なユーティリティを使用して、フロッピーまたはハードドライブのファイル構造をチェックします。多数のセクタに問題がある場合は、データのバックアップを取り、フロッピーまたはハードドライブを再フォーマットしてください。
Seek error	オペレーティングシステムがフロッピーまたはハードドライブ上の特定のトラックを見つけられません。	エラーがフロッピードライブに対するものである場合は、別のフロッピーディスクを使用します。
Shutdown failure	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。	Dell診断プログラム のSystem Set テストを実行します。
Time-of-day clock lost power	NVRAM内に保存されているデータが破壊されています。	コンピュータを電源コンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合はデータを復元します。データ復元には、<Fn> + <F1> キーを押して セットアップユーティリティ を起動します。そのまま終了してください。エラーメッセージが再度表示される場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
Time-of-day clock stopped	NVRAM内のデータを保存するためのセカンドバッテリーが切れています。	コンピュータを電源コンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、 Dellテクニカルサポート へご連絡ください。
Time-of-day not set-please run the System Setup program	セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。	DateとTimeオプションの設定を修正します。(詳細は、 セットアップユーティリティの使い方 を参照してください。)
Timer chip counter 2 failed	システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。	Dell診断プログラム のSystem Set テスト を実行します。
Unexpected interrupt in protected mode	キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。	Dell診断プログラム のSystem Memory テストとKeyboard Controllerテスト を実行します。
Warning: Battery is critically low.	バッテリーの充電量が不足しています。	バッテリー を交換するか、コンピュータを電源コンセントに接続してください。または、 休止状態 を起動するか、コンピュータの電源を切ります。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

機能およびオプション: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- 1 15インチまたは14.1インチSXGA+(super extended graphics array plus)、TFT 1400 x 1050アクティブマトリクスカラーディスプレイ。
 - 1 15インチUXGA(ultra extended graphics array)、TFT 1600 x 1200アクティブマトリクスカラーディスプレイ。
 - 1 16 MB(メガバイト)ビデオメモリ(32 MBにアップグレード可能)を搭載した128ビットハードウェアアクセラレート式ビデオのサポート。
 - 1 ソフトウェアウエアテーブルのサポートおよびエミュレーティッド3Dサウンド機能付きESS Maestro 3iオーディオコントローラ。
 - 1 コンピュータのビデオ性能を向上させるAGP(accelerated graphics port)アーキテクチャ。
 - 1 内蔵されている一体型マルチメディア機能には、以下のものがあります。
 - o お使いのコンピュータの構成により異なります。CD、CD-RW、DVDまたはDVD/CD-RWコンボドライブをサポートする固定オプティカルドライブ。
 - o SuperDiskドライブ、セカンドバッテリー、またはセカンドオプティカルドライブなどのモジュールをサポートするモジュラーベイ。
 - 1 オプションの56K V.90 Mini PCIデータ/ファックスモデム。PC99に準拠し、ACPI電源管理をサポートしています。
Mini PCIモデムについての詳細は、「[デバイスの接続](#)」およびV.90 Mini PCIモデムのマニュアルを参照してください。
 - 1 オプションの10/100 LAN + 56K V.90 Mini PCIデータ/ファックスモデム。PC99に準拠し、ACPI電源管理をサポートしています(Microsoft® Windows® 2000のリモート起動を含む)。
Mini PCIモデムについての詳細は、「[デバイスの接続](#)」および10/100 LAN + V.90 Modem Mini PCIモデムのマニュアルを参照してください。
 - 1 お使いのキーボードの上部にあるDell AccessDirect™ キーを使用すると、Internet Explorerなど頻繁に使用するプログラムにすばやくアクセスできます。
 - 1 最小64 MBのSDRAM(synchronous dynamic random-access memory)モジュールを標準で搭載しています。64、128、および256 MBの100 MHz(メガヘルツ)SDRAMモジュールを組み合わせてシステム基板の2つのメモリモジュールソケットに取り付けることにより、512 MBまでメモリを増設できます。
 - 1 PCカードで32ビットデータ転送用のCardBus規格に対応しています。
 - 1 外付けスピーカー、ヘッドフォン、マイク、または録音デバイスを接続するためのオーディオジャックが3つ。
 - 1 内蔵マイクおよびステレオスピーカーが2つ。
 - 1 Dellドッキングデバイス対応のハードウェアおよびソフトウェア。
 - 1 タッチパッドおよびトラックスティックの両方の機能を持つDell DualPoint内蔵ポインティングデバイス。
 - 1 バッテリーベイの8セル、リチウムイオンバッテリー(標準)。コンピュータの電源が入っていないか、またはサスペンドモードの場合、Dell ExpressCharge™ テクノロジーにより、1つのバッテリーを約1時間で充電できます。
 - 1 エネルギー効率。DellはENERGY STAR®のパートナーであり、本製品はエネルギー効率に関するENERGY STARのガイドラインに適合しています。
 - 1 スタンドアロンおよびハブデバイスをサポートするUSB(Universal Serial Bus)コネクタが2つと、高速デバイス接続用のIEEE 1394シリアルコネクタ。
 - 1 HyperCool™ 自動温度管理システム。可変速度ファン、マイクロプロセッサの動作速度変更、およびIntel® Remote Heat Exchangerテクノロジーを使用して、コンピュータが最適な温度で動作するよう維持します。
- Dellのコンピュータには、以下のソフトウェアが付属しています。
- 1 コンピュータといっしょにご注文いただいたWindowsオペレーティングシステム。
 - 1 セットアップユーティリティでシステムの設定情報を表示および変更できます。詳細については、「[セットアップユーティリティの使い方](#)」を参照してください。
 - 1 [Dell診断プログラム](#)で、コンピュータのコンポーネントやデバイスを検査できます。
-  **メモ:** ハードドライブにあるオペレーティングシステムがDellによりインストールされたものでない場合、ドライバ、システムユーティリティ、および診断プログラムは、Dellから別途お求めいただけます。ご注文については、「[ヘルプの概要](#)」をご覧ください。お住まいの地域の該当する電話番号にお問い合わせください。

使用可能なオプション

お使いのコンピュータで使用可能なオプションの詳細については、Dellウェブサイト<http://www.dell.com/jp>をご覧ください。

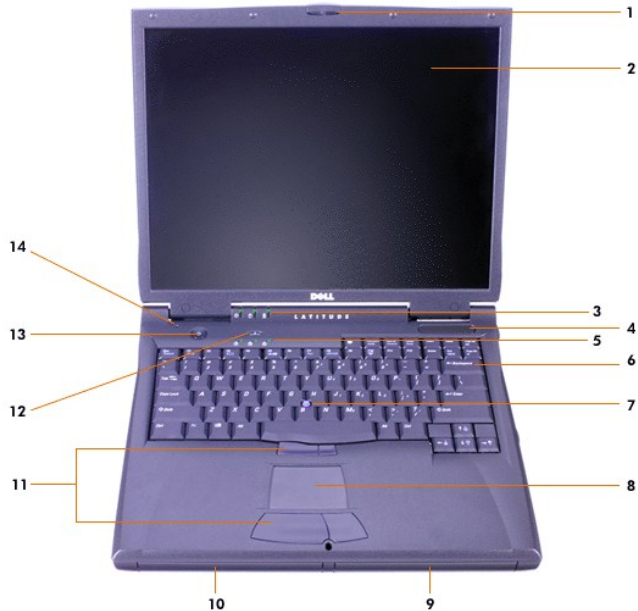
[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

コンピュータの正面: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

注意: コンピュータのオーバーヒートを避けるために、通気孔あるいはファンにものを近づけないでください。

コンピュータのコネクタおよびデバイスの使い方に関する詳細については、[コンピュータの使い方](#)および[デバイスの接続](#)を参照してください。



1 ディスプレイラッチ

2 内蔵ディスプレイ

3 [システムステータススライド](#)

4 通気孔

5 [キーボードステータススライド](#)

6 キーボード

7 トラックスティック

8 タッチパッド

9 バッテリー

10 モジュールベイ


11 トラックスティックおよびタッチパッドボタン

12 Dell AccessDirect™ キー


13 電源ボタン


14 内蔵マイク


ステータスライト


注意: この  インジケータ点灯中は絶対にコンピュータの電源を切らないでください。データが失われる場合があります。すべてのアプリケーションを閉じてから、コンピュータの電源を切ってください。




 電源インジケータ

 Num Lock

 ドライブアクセスインジケータ

 バッテリーインジケータ

 Caps Lock

 Scroll Lock

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ヘルプの概要: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

[テクニカルサポート](#)

[製品情報](#)

[ヘルプツール](#)

[お問い合わせになる前に](#)


[ご注文に関する問題](#)

テクニカルサポート

技術上の問題に関するサポートを受けなければならないときは、以下の手順に従ってください。

1. Dell診断プログラムを実行します。
2. [診断チェックリスト](#)を印刷し、それに記入します。
3. インストールとトラブルシューティングの手順に関しては、Dell | Supportウェブサイト(<http://support.jp.dell.com>)のサポートページをご覧ください。
4. これまでの手順で問題が解決しない場合、Dellのテクニカルサポートへお電話ください。

Dellのオートテレフォンシステムの指示に従って、**エクスプレスサービスコード**を入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコード(8桁から11桁までの全桁数字のみの番号)は、コンピュータの前面、背面、または側面に貼られているシールに、サービスタグナンバー(5桁もしくは7桁までの英数字混合の番号)と共に、記載されています。(コンピュータ前面パネル内に貼られている機種もあります。)

 **メモ:** Dellのエクスプレスサービスコードシステムが利用できない国もあります。

テクニカルサポートにお問い合わせになるときは、まず「[お問い合わせになる前に](#)」を参照してから、「[Dellへのお問い合わせ](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ヘルプツール

Dellでは、ユーザーを支援するための多数のツールを提供しています。以降では、これらのツールについて説明します。

World Wide Web

インターネットは、ご使用のコンピュータやその他のDell製品に関する情報を得るための最も有効なツールです。ご注文状況、テクニカルサポート、製品情報などにインターネットからアクセスできます。

Dell | Supportウェブサイトへは、<http://support.jp.dell.com>でアクセスすることができます。表示された地図上でお住まいの国をクリックすると、Welcome to support.jp.dell.comページが開きます。お使いのシステムの情報を入力し、サポートツールおよび情報にアクセスします。

次のアドレスでDellのインターネットサービスにアクセスできます。

World Wide Web

<http://www.dell.com/jp/>(日本)

<http://www.dell.com/>(北米)

<http://www.dell.com/ap/>(アジア/太平洋諸国のみ)

<http://www.euro.dell.com/>(ヨーロッパのみ)

<http://www.dell.com/la/>(ラテンアメリカ諸国のみ)

FaxBox サービス(ファックス情報サービス)

Dell FaxBox サービス(ファックス情報サービス)は、フリーダイヤルでファクシミリを使用して24時間年中無休で技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。テクニカル情報が指定したファックス番号宛に送信されます。FaxBox サービス(ファックス情報サービス)の電話番号については、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

24時間納期情報案内サービス

ご注文されたDell製品の状況をチェックすることができます。電話番号については、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。オンラインでも納期状況をご確認いただけます。

テクニカルサポートサービス

Dell製品に関するお問い合わせは、Dellのテクニカルサポートをご利用ください。

テクニカルサポートに電話をおかけになると、サポートスタッフがお問い合わせ内容の確認のために、ご使用のシステムの詳細をお聞きすることがあります。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

テクニカルサポートにお問い合わせになる場合は、まず「[お問い合わせになる前に](#)」を参照してから、「[Dellへのお問い合わせ](#)」に記載の番号にご連絡ください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などのご注文に関する問題は、Dellカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号は、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

製品情報

Dellのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、Dellのウェブサイトの<http://www.dell.com/jp/>をご覧ください。弊社セールスの電話番号は、「[Dellへのお問い合わせ](#)」を参照してください。

お問い合わせになる前に

必ず[診断チェックリスト](#)に記入してください。[Dellへお問い合わせ](#)になるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くの電話から電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータシステム自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

テクニカルサポートをご利用の際は、製品本体のラベルに記載されているエクスプレスサービスコードまたはサービスタグナンバーが必要になります。お電話をおかけいただく、エクスプレスサービスコードを自動音声でおかけがいきます。エクスプレスサービスコードをもとにお客様の情報を確認し、弊社担当者に電話をおつなぎ致します。

エクスプレスサービスコードは、サービスタグナンバーを全桁数字に変換した弊社製品の固有の管理番号です。製品本体のラベルに8桁から11桁までの数字のみの番号で記載されています。エクスプレスサービスコードが本体にない製品をお持ちのお客様のために、弊社Webサポートページで※変換ツールをご用意しております。

※変換ツール…サービスタグナンバーをエクスプレスサービスコードに変換するツール

サービスタグナンバーは、英数字混合の5桁もしくは7桁の弊社製品の固有の管理番号です。サービスタグナンバーでもテクニカルサポートをご利用いただけますが、弊社Webサポートページで変換したエクスプレスサービスコードをご用意の上、お電話いただくことをお勧めいたします。

⚠ 警告 : コンピュータカバーを外さなければならないときは、まずすべてのコンセントからシステムの電源ケーブルとモデムケーブルを外してください。

診断チェックリスト

日付:
名前:
住所:
電話番号:
サービスタグ(コンピュータ背面のバーコード):
エクスプレスサービスコード:
返品番号(Dellサポート技術者から提供された場合):
オペレーティングシステムとバージョン:
周辺機器:
拡張カード:
ネットワークに接続されていますか? はい・いいえ
ネットワーク、バージョン、ネットワークカード:

プログラムとバージョン:

システムのスタートアップファイルの内容を確認するときは、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。コンピュータがプリンタに接続されている場合は、各ファイルを印刷します。それ以外は、各ファイルの内容を記録してからDellに電話してください。

エラーメッセージ、ビープコードまたは診断コード:

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順:

[目次ページに戻る](#)


[目次ページに戻る](#)

はじめにお読みください: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [情報の検索](#)
- [安全およびEMCのシンボル](#)
- [安全にお使いいただくための注意](#)
- [EMC指令](#)
- [コンピュータを使うには](#)
- [快適な使い方](#)
- [メモリモジュールを取り付けたり取り外すには](#)
- [静電気放出への対処](#)

情報の検索

コンピュータには、このマニュアルの他に次のマニュアルが付属しています。

 **メモ:** コンピュータと共に、ご使用のコンピュータまたはソフトウェアに関する変更について説明したマニュアルのアップデート版が梱包されていることがあります。アップデート版には最新の情報が含まれていますので、その他のマニュアルをお読みになる前に必ず先にお読みください。

- オペレーティングシステムの『セットアップガイド』は、オペレーティングシステムをセットアップする方法について説明しています。
- モデムなどのコンピュータデバイスと、コンピュータとは別に購入されたオプション製品のためのオンラインマニュアルが用意されています。
 - Microsoft® Windows® XPにおいては、**スタートボタン**をクリックしてから**ヘルプとサポート**をクリックします。**ヘルプとサポート**ウィンドウから、ユーザーおよびシステムガイドにアクセスするリンクをクリックします。
 - Windows 2000においては、デスクトップの**Dellユーザーズガイド**アイコンをダブルクリックし、**システム情報**をクリックしてから、**システムマニュアル**をクリックします。
- ハードドライブには、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載された「Readme」ファイルがインストールされていることがあります。

コンピュータの部品やアセンブリについての詳細や、これらの取り付け方法および取り外し方法については、Dellのサポートウェブサイト <http://support.jp.dell.com>にあるコンピュータのサービスマニュアルを参照してください。

安全およびEMCのシンボル

次のオプションは、安全およびEMC(電磁適合性)指令のみで使用されている追加のシンボルマークの意味を定義しています。

- | | |
|---|--|
|  破片の恐れあり |  機内での使用可 |
|  発火の恐れあり |  この機能の機内での使用は禁止されている可能性あり |
|  感電の恐れあり | |



安全にお使いいただくための注意

一般的な注意

- 認可された技術者でない限り、ご自分でコンピュータの修理をなさらないでください。取り付けの手順には必ず従ってください。
- ACアダプタに延長電源ケーブルをつないで使用する場合、延長電源ケーブルに接続されている製品の定格電流の合計が延長ケーブルの定格電流を超えないことを確認してください。



- コンピュータの換気口や開口部に物を入れないでください。コンピュータ内部でショートが起こり、火災の原因になったり感電する可能性があります。



- ACアダプタをコンピュータの稼働またはバッテリーの充電に使用するときは、机の上や床の上など換気のよいところにACアダプタを置いてください。冷却の妨げになるので、紙や他のものをACアダプタにかぶせないでください。また、キャリーケースに入れたままACアダプタを使用しないでください。

- ノートブックコンピュータは、底面が脚部などの肌と直接触れる状態で長時間使用しないでください。長時間使用すると、底面に熱が蓄積される可能性があります(特にAC電源が入っている時)。肌に直接触れる状態で使用すると、不快に感じたりやけどをす

る恐れがあります。



- 1 お風呂場や流し、あるいはプールの近くなどのような湿気の多いところ、あるいは湿気の多い地下室でコンピュータを使用しないでください。



- 1 お使いのコンピュータに内蔵またはオプション(PCカード)のモデムが搭載されている場合は、電話回線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、激しい雷雨時にはモデムケーブルを外してください。



- 1 感電を防止するため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業をおこなわないでください。すべてのケーブルを外してバッテリー電源でコンピュータを稼動する場合を除き、雷雨時はコンピュータを使用しないでください。

- 1 コンピュータにモデムが搭載されている場合、モデムには、ワイヤサイズが26 AWG (アメリカ針金ゲージ) 以上でFCCに適合したRJ-11モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。

- 1 PCカードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後にPCカードを取り出すときは、ご注意ください。

- 1 コンピュータをクリーニングする時は、あらかじめ電源を取り外してください。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいることがあります。



電源(安全にお使いいただくための注意、続き)



- 1 このコンピュータでの使用を認められた付属のACアダプタのみをお使いください。別のACアダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こすことがあります。

- 1 コンピュータを電源コンセントに接続する前にACアダプタの定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要条件が接続する電源と適合していることを確認してください。

- 1 電源をコンピュータから取り外すには、電源を切ってバッテリーパックを取り外し、ACアダプタを電源コンセントから外します。



- 1 感電を防ぐため、ACアダプタおよび周辺機器の電源ケーブルは、正しい方法でアースされている電源コンセントに差し込んでください。これらの電源ケーブルには、アース接続用に三芯プラグが使用されていることがあります。アダプタプラグを使用したり、アース用の芯を電源ケーブルのプラグから取り外したりしないでください。延長電源ケーブルを使用する場合は、二芯または三芯の適切な種類を使用してACアダプタ電源ケーブルに接続してください。

- 1 ACアダプタの電源ケーブルの上に物を置かないでください。ケーブルに引っかかったり、ケーブルが踏まれる恐れのあるところにケーブルを置かないでください。



- 1 複数の差し込み口のある電源コードを使用している場合、ACアダプタの電源ケーブルを電源コードに差し込む際は注意してください。電源コードの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または出火の危険があるだけでなく、コンピュータに永続的な損傷を与えることがあります。電源プラグのアース芯が電源コードのアース接続端子に挿入されていることを確認してください。



バッテリー(安全にお使いいただくための注意、続き)



- 1 このコンピュータでの使用を認められたDellのバッテリーモジュールのみを使用してください。別の種類を使用すると、出火または爆発の危険性が増すことがあります。



- 1 車の鍵、クリップなどの金属製品でバッテリーの端子がショートする可能性があるため、バッテリーパックをポケット、ハンドバッグ、またはその他の入れ物に入れて持ち歩かないでください。ショートすると過度の電流が流れて高温が発生し、バッテリーパックの損傷または出火ややけどの原因になることがあります。

- 1 バッテリーを正しく取り扱わないと、やけどの原因となります。バッテリーを分解しないでください。破損または液漏れしているバッテリーパックは、充分注意して扱ってください。バッテリーが破損している場合、電池から電解液が漏れていることがあり、けがの原因となることがあります。

- 1 バッテリーはお子様の手が届かない場所に保管してください。



- 1 コンピュータまたはバッテリーパックを、ラジエータ、暖炉、ストーブ、電気ヒーター、またはその他の発熱する電気機器のような熱源のそばに保存したり、放置したりしないでください。そうしないと、60°C以上の環境に置かれることになります。過度の高温になる

と、バッテリー電池が破裂したり、穴が開いたり、出火の原因になることがあります。



- 1 コンピュータのバッテリーを焼却したり、家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。バッテリーが破裂することがあります。バッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示に従うか、またはお近くの廃棄物取扱所にお問い合わせください。使用済みまたは破損したバッテリーはすみやかに廃棄してください。



飛行機による移動(安全にお使いいただくための注意、続き)



- 1 飛行機内では、Dell™コンピュータを使用する際に連邦航空局の一定の規制および航空会社固有の制限が適用されることがあります。たとえば、そうした規制や制限により、無線周波数またはその他の電磁信号を意図的に送信する機能のある個人用電子機器 (PED) の機内での使用が禁止されていることがあります。



- こうした制限のすべてに適切に従うため、お使いのDellノートブックコンピュータにDell TrueMobile™またはその他の無線通信デバイスが搭載されている場合、飛行機に搭乗する前にこれらのデバイスを無効にし、そのデバイスに関する航空会社職員のすべての指示に従ってください。



- さらに、離着陸など飛行中の一定の重要な段階においては、ノートブックコンピュータなどのPEDの使用が禁止されていることがあります。航空会社によっては、重要な飛行段階として飛行機の高度が3050 m (10,000 ft) 以下の時と具体的に定義していることがあります。PEDを使用できる時期については、航空会社の指示に従ってください。

EMC指令

- 1 シールド付き信号ケーブルの使用により、目的の環境に適用されるEMC分類基準を満たすことができます。
- 1 静電気は、コンピュータの内部の電子部品を損傷する可能性があります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体の静電気を放電してください。コンピュータのI/Oパネルの塗装されていない金属面に触れると、静電気を除去できません。

コンピュータを使うには

コンピュータへの損傷を避けるには、次の注意事項を守ってください。

- 1 コンピュータは平らな所でお使いください。
- 1 コンピュータを出張などに持って行く時は、荷物として預けないでください。X線探知機にコンピュータを通してかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。係官がコンピュータを検査する場合、コンピュータの電源を入れるように指示することがありますので、充電済みのバッテリーバックをご用意ください。
- 1 コンピュータからハードディスクドライブを取り外して持ち歩く場合、布や紙など絶縁体のものでドライブを包んでください。係官がドライブを検査する場合、ドライブをコンピュータに取り付けてください。X線探知機にハードディスクドライブを入れてもかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。
- 1 コンピュータを出張などに持って行く場合、中で激しく動く可能性がありますので、乗り物の頭上の荷物入れにコンピュータを入れないでください。コンピュータを落としたり、衝撃を与えないでください。
- 1 泥、ほこり、食べ物、液体、高温、長時間の直射日光などにコンピュータやバッテリー、ハードディスクドライブをさらさないでください。
- 1 温度や湿度が極端に異なる環境にコンピュータを移動しますと、コンピュータ表面や内部に結露が発生することがあります。コンピュータへの損傷を防ぐため、湿気がなくなるまで時間を置いてからコンピュータをお使いください。

注意: 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移す時は、しばらく室温にならしてから電源を入れてください。

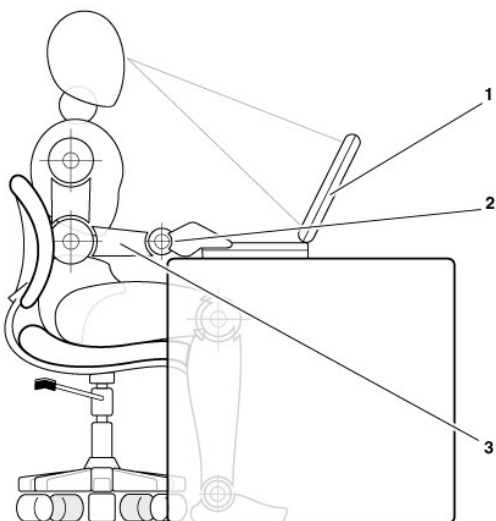
- 1 ケーブルを抜くときは、ケーブルではなくコネクタやストレインリリーフループを持って抜いてください。コネクタを引き抜くときは、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引いてください。ケーブルを接続するときは、両方のコネクタの向きが正しく、コネクタ同士が合っているか確認してください。
- 1 部品はていねいに取り扱いってください。メモリモジュールなどはピンを持たずに、端を持ってください。
- 1 システム基板からメモリモジュールを取り外したり、コンピュータから周辺機器を取り外す場合、システム基板への損傷を防ぐため、コンピュータの電源を切り、5秒間待ってからメモリモジュールや周辺機器を取り外してください。
- 1 ディスプレイは、柔らかい清潔な布とワックスや研磨剤の含まれていない市販の窓用クリーナーでクリーニングしてください。クリーナーを布につけ、ディスプレイの上から下へ方向に布で拭いてください。ディスプレイに油脂やその他の汚れがある場合は、市販の窓用クリーナーの代わりに消毒用アルコールをお使いください。
- 1 コンピュータが濡れたり、損傷を受けた場合、「[解決策を見つけるには](#)」にある指示に従ってください。指示に従った後でもコンピュータが正常に動作していない場合は、[Dellにお問い合わせください](#)。

快適な使い方

- ⚠ **警告:** 無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。
- ⚠ **警告:** ディスプレイ、または外付けモニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

コンピュータを快適に、効率よく使用するために、システムの設置と使用に関しては、次の注意事項を守ってください。

- 1 作業中は、身体の正面にるようにシステムを配置します。
- 1 モニタの角度、コントラスト、輝度、および周囲の照明(天井の照明、卓上ライト、周囲の窓にかかっているカーテンやブラインド)を調整し、モニター画面の反射を最小限に抑えます。
- 1 コンピュータに外付けモニターを接続する場合、モニターは適度に離して(通常は目から50センチから60センチ)見やすい距離でお使いください。モニターの正面に座った時に、モニター画面が目と同じ高さか、やや低くなるようにしてください。
- 1 しっかりとした背もたれの付いた椅子を使用します。
- 1 キーボード、タッチパッド、トラックスティック、あるいは外付けマウスを使用する際は、前腕部と手首を水平にし、リラックスした快適な位置に保ちます。
- 1 キーボード、タッチパッド、あるいはトラックスティックにはパームレストをお使いください。外付けマウスをお使いの場合は、手を置くためのスペースをお取りください。
- 1 上腕部は身体の横に自然に下ろします。
- 1 足の裏を床につけ、太股を床と平行にし、背筋を伸ばして座ります。
- 1 椅子に座っているときは、足の重さが椅子のシートではなく足の裏にかかるようにします。必要に応じて椅子の高さを調節したり足台を使用して、正しい姿勢を維持します。
- 1 作業に変化を持たせるように調整し、長時間のタイピングを避けます。また、タイプしていないときはなるべく両手を使う作業をおこなうようにします。



- 1 コンピュータは身体の正面に設置する
- 2 手首はリラックスさせて水平にする
- 3 腕は机と同じ高さにする

メモリモジュールを取り付けたり取り外すには

メモリモジュールを取り付けたり取り外す前に、以下の手順を順におこなってください。

注意:メモリモジュールを取り付けるとき以外は、コンピュータの内部へ手を入れないでください。

注意:システム基板への損傷を防止するため、周辺機器の取り外しやメモリモジュールの取り外しは、コンピュータの電源を切ってから5秒間

待っておこなってください。

1. コンピュータおよび接続されているすべての周辺機器の電源を切ります。
2. けがまたは感電を防止するため、コンピュータおよび周辺機器を電源コンセントから切断します。また、電話回線や通信回線もコンピュータから切断します。
3. メインバッテリーをバッテリーボックスから取り外し、必要に応じて、セカンドバッテリーをオプションベイから取り外します。
4. コンピュータ背面にあるI/Oパネルの塗装されていない金属面に触れて身体の静電気を除去します。

作業中は定期的にI/Oパネルに触れて、静電気による内部コンポーネントの損傷を防止してください。

静電気放出への対処

静電気は、コンピュータ内部の電気を伝える部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐために、メモリモジュールなどのコンピュータの電子部品に触れる前に、身体から静電気を除去してください。コンピュータI/Oパネルの塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

コンピュータ内部での作業を続ける間も定期的にI/Oコネクタに触れて、身体内に蓄積した静電気を除去してください。

さらに、静電気放出(ESD)による損傷を防止するために、次の手順を実行することをお勧めします。

- 1 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合は、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。
- 1 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 1 静電気に敏感な部品の取り扱いには、静電気のない場所でおこないます。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

次の注意文は、これらの警告を喚起するよう、本マニュアル内で、度々、記載されています：

注意：本マニュアルの冒頭にある安全に関する手順の「静電気放出への対処」を参照してください。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページへ戻る](#)

省電力について: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

[省電力のヒント](#)

[電源オプションのプロパティ](#)

[省電力モード](#)

[ENERGY STAR® エンブレム](#)

省電力のヒント

 **メモ:** 省電力についての詳細は、「[バッテリーについて](#)」を参照してください。

- 1 バッテリーの寿命は、充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけAC電源でお使いください。
- 1 長時間コンピュータを使わない時は、コンピュータを[スタンバイモード](#)や[休止状態モード](#)にしてください。
- 1 お使いのコンピュータをポータブルリチウムイオン電池またはドッキングステーションに接続する場合、Microsoft® Windows® [電源オプションのプロパティ](#) ウィンドウの[詳細](#)タブのディスプレイクローズオプションの設定をなし（または何もしない）にクリックしてください。
- 1 電源管理モードを終了するには、電源ボタンを押します。

省電力モード

スタンバイモード


スタンバイモードではあらかじめ設定した一定の時間、コンピュータを操作しないでおく（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることで電力を節約します。コンピュータがスタンバイモードを終了すると、スタンバイモードに入る前と同じ状態に復元されます。

注意: スタンバイモードのときにAC電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データが失われる恐れがあります。

スタンバイモードを起動するには・・・

- 1 Microsoft Windows XPの場合、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックします。次に**スタンバイ** をクリックします。

Microsoft Windows 2000の場合、**スタート** ボタンをクリックし、**シャットダウン** をクリックします。次に**スタンバイ** をクリックしてから**OK** をクリックします。

または
- 1 [詳細](#) タブで設定した省電力モードに応じて、次の方法の一つを実行します:
 - 電源ボタンを押します。
 - ディスプレイを閉じます。
 - 電源管理のキーの組み合わせ（「スリープボタン」とも呼ばれます） を押します。

ディスプレイを閉じているときに、外付けモニタがコンピュータに接続されている場合、コンピュータはスタンバイモードを起動しません。外付けモニタはそのまま使用できます。

スタンバイモードを終了するには、電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。[詳細](#)タブのオプションの設定によって異なります。

休止状態モード(Suspend-to-Diskモード)

休止状態モード(Suspend-to-DiskまたはS2Dモードとも呼ばれます)では、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切って電力を節約します。コンピュータの操作を再開すると、休止状態モードに入る前に開いていたアプリケーションプログラムとファイルがそのまま開かれている状態に戻ります。


注意: コンピュータが休止状態モードの間、デバイスを取り外したり、ドッキング解除したりすることはできません。


バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

詳細タブで設定した省電力モードに応じて、次の方法の一つを実行します。

- 1 電源ボタンを押します。
- 1 ディスプレイを閉じます。
- 1 電源管理のキーの組み合わせ（「スリープボタン」とも呼ばれます） を押します。

ディスプレイを閉じているときに、外付けモニタがコンピュータに接続されている場合、コンピュータは休止状態モードを起動しません。外付けモニタはそのまま使用できます。

 **メモ:** キーを押したり、タッチパッドに触れたりしてもコンピュータはスタンバイモード、または休止状態モードから復帰しません。

 **メモ:** PCカードによっては、休止状態モードから復帰したあと、正常に動作しないものがあります。カードを取り外してから取り付けるか、コンピュータを再起動してください。

休止状態モードから復帰するには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。

休止状態モードについての詳細は、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源オプションのプロパティ

Windows 電源オプションのプロパティ ウィンドウにアクセスするには:

Windows XPの場合


1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **コントロール パネルを選んで実行します** で、**電源オプション** をクリックします。

Windows 2000の場合

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして **コントロールパネル** をダブルクリックします。
2. **電源オプション** アイコンをダブルクリックします。

電源設定タブ


電源設定プルダウンメニューには次のような電源設定が表示されます。お使いのオペレーティングシステムによって多少異なりますが、一般的な電源設定は、次のとおりです。

 **メモ:** バッテリ電源を最大にするには、ポータブル/ラップトップ電源設定をお使いになることをお勧めします。

- 1 家庭または会社のデスクまたはホーム/オフィスデスク
- 1 ポータブル/ラップトップ
- 1 常にオン
- 1 プレゼンテーション
- 1 最小限の電力の管理
- 1 バッテリの最大利用

設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードにする、ディスプレイの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。電源管理オプションの詳細は、[ヘルプとサポートセンター](#) (Windows XP) または **Windows ヘルプ**(Windows 2000)を参照してください。

アラームタブ

 **メモ:** アラームの音が聞こえるようにするには、アラームの動作(または警告の動作)ボタンをクリックし、音で知らせるを選択します。

バッテリー低下アラームと**バッテリー切れアラーム**(または**バッテリー低下の警告**と**バッテリー消耗の警告**)設定は、バッテリーの充電量が一定以下になったことをメッセージを表示して警告します。お使いのコンピュータは出荷前に、**バッテリー低下アラーム**と**バッテリー切れアラーム**(または**バッテリー低下の警告**と**バッテリー消耗の警告**)のチェックボックスが選択されています。これらの設定を変えずにお使いになることをお勧めします。バッテリー低下アラームについての詳細は、「[バッテリーの警告](#)」を参照してください。


電源メータータブ

電源メータータブは現在の供給電源と、バッテリーの充電残量を表示します。

詳細タブ

詳細タブでは次のことができます。

- 1 アイコンとスタンバイモードパスワードオプションの設定。

 **メモ:** お使いのコンピュータをポータブルリペータまたはドッキングステーションに接続する場合、ディスプレイクローズオプションの設定をなしにクリックしてください。この設定は、ディスプレイを閉じたとき(閉じかけたとき)、コンピュータがスタンバイモードや休止状態モードに入らないようにします。


- 1 次の機能の設定:
 - スタンバイモードを起動する。
 - 休止状態モードを起動する。
 - Windowsをシャットダウンし、コンピュータの電源を切る。
 - 何もしない(なし)。

これらの機能を設定するには、対応するプルダウンメニューからオプションをクリックし、OKをクリックします。

休止状態タブ

休止状態タブでは、**休止状態をサポートする**チェックボックスをクリックすることで、休止状態モードを有効にします。

Intel® SpeedStep™ テクノロジータブ

 **メモ:** Windows XPは、選択した電源設定によってプロセッサのパフォーマンスレベルを調整します。「[電源設定タブ](#)」を参照してください。

 **メモ:** Intel SpeedStepテクノロジーを使用するには、Microsoft Windowsオペレーティングシステムを実行しなければなりません。

お使いのオペレーティングシステムおよびマイクロプロセッサによって、**電源オプションのプロパティ(電源の管理のプロパティ)** ウィンドウは、Intel SpeedStepテクノロジータブを含みます。Intel® SpeedStep™ テクノロジーを使用すると、コンピュータがバッテリーまたはAC電源のいずれで動作している場合でも、マイクロプロセッサのパフォーマンスレベルを設定できます。

- 1 **自動** –コンピュータがAC電源により動作している場合、プロセッサは最大速度で動作します(最大パフォーマンスモード)。コンピュータがバッテリー電源で動作している場合、プロセッサ速度は、バッテリー最適化モードになります。
- 1 **バッテリーの最長寿命** –プロセッサ速度は、バッテリー電源用に最適化されます。
- 1 **最大パフォーマンス** –コンピュータがバッテリーで動作している場合でも、最大パフォーマンスレベルに設定されます。
- 1 **バッテリーに合わせたパフォーマンス** –コンピュータが電源コンセントに接続されている場合でも、プロセッサ速度は、バッテリー電源に最適化されます。

追加のIntel SpeedStepオプションを変更するには:

1. **詳細**ボタンをクリックしてから、次のオプションの1つを選択します。
 - 1 **Intel SpeedStep technologyコントロールを無効にする**
 - 1 **タスクバーからアイコンを削除する**
 - 1 **パフォーマンスの変更時に音声通知を無効にする**
2. 変更するには、OK をクリックして、もう一度OKをクリックし、Intel SpeedStep **テクノロジー(詳細)**ウィンドウを閉じます。

システムトレイにあるフラグアイコンを右クリックして、Intel SpeedStep 設定を変更することもできます。



EPAのENERGY STAR® コンピュータプログラムは、省エネコンピュータ製品を促進することによって大気汚染を減らすために、EPAとコンピュータメーカーが共同で作成したものです。EPAでは、ENERGY STAR® コンピュータ製品を使用することによって、コンピュータユーザーの年間電気料が最高で20億ドル節約されると予測しています。この電気使用量の節減によって、温室効果の一番の原因となる二酸化炭素の発生、および酸性雨の主要な原因である二酸化硫黄と窒素酸化物の発生を減少させることができます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

認可機関の情報 : Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

● [概要](#)

● [VCCI 規定\(情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定\)](#)

● [バッテリーの廃棄](#)

概要

EMI(電磁波障害)とは、自由空間に放射されたり、電源コードや信号線に伝導する信号あるいは放射電磁波のことで、無線航法やその他の安全対策業務を危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい品位低下、妨害、あるいは度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FMの商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS(Personal Communication Services)などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータを含むデジタル装置などの意図的ではない放射装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

EMC(電磁的両立性)とは、多数の電子機器が同一の環境で共に正常に動作する能力のことです。本コンピュータは、認可機関のEMIに関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオン/オフすることによって判定できますので、以下の方法を1つ、またはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 1 受信アンテナの方向を変えてください。
- 1 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 1 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- 1 コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

必要な場合は、Dellのテクニカルサポート担当者、またはラジオ/TVの技術担当者にお問い合わせください。

Dellのコンピュータは、下記の使用環境目的に合わせた設計、試験、類別がなされています。これらの電磁環境の類別は、一般に次の統一定義を表しています。

- 1 クラスA — 商工業環境用
- 1 クラスB — 住宅環境用

情報技術機器(ITE; Information Technology Equipment)は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力(I/O)装置、モニタなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータシステムの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

シールド付き信号ケーブルに関する注意: 周辺機器のDell製装置への接続にはシールド付きケーブルのみを使用して、無線通信サービスとの干渉の可能性を減らしてください。シールド付きケーブルの使用により、目的とする環境に適したEMC分類基準を満たします。

大半のDellコンピュータは、クラスB環境に分類されています。しかし、コンピュータシステムに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラスA環境に分類されることもあります。お使いのコンピュータまたは装置の電磁的類別を確認するには、以下の項を参照してください。



バッテリーの廃棄

お使いのコンピュータには、リチウムイオンバッテリーパックと、ニッケル水素(NiMH)のコイン型バッテリーが使われています。リチウムイオンバッテリーパックの交換手順については、本マニュアルの「[バッテリーの取り外し](#)」を参照してください。NiMHバッテリーは寿命が非常に長く、交換の必要がないこともあります。万が一バッテリー交換の必要が生じた場合、交換は必ず認定を受けたサービス技術者にご依頼ください。

バッテリーは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。最寄りのゴミ処分施設にお問い合わせで電池の処分方法を確認してください。

VCCI 規定(情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定)

Dellのコンピュータの大部分は、VCCIによりクラスB情報技術装置(ITE)として類別されています。しかし、コンピュータシステムに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラスA情報技術装置に類別されることもあります。情報技術装置は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力(I/O)装置、モニタなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

お手元のコンピュータシステムにどちらの類別が適用されているかを確認するには、システムの底部や背面パネルに添付されているVCCI表示ラベルをすべて調べてください(図 1 および 図 2 参照)。VCCIの類別を確認できましたら、次の該当する部分をご覧ください。

クラスA基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

図1 VCCIクラスA情報技術装置基準認可機関マーク

VCCI-A

クラスB基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

図2 VCCIクラスB情報技術装置基準認可機関マーク




[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

部品の取り付けおよび取り外し: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [1 コンピュータ内部作業の準備](#)
- [2 プライマリハードドライブの交換](#)
- [3 メモリモジュールの取り付けおよび取り外し](#)


コンピュータ内部作業の準備

 **メモ:** 必要であれば、先にお進みになる前にこの手順を印刷してください。

コンピュータの作業を始める前に、次の手順に従ってください。

注意: 次の手順に従わない場合、コンピュータに損傷を与える可能性があります。

1. 作業中のファイルを保存し、開いているアプリケーションをすべて閉じます。
2. コンピュータと、接続しているデバイスの電源をすべて切ります。

 **メモ:** 休止状態モードに入ったのではなく、コンピュータの電源が切れていることを確認してください。コンピュータのオペレーティングシステムからコンピュータをシャットダウンできない場合、電源ボタンを電源が切れるまで押してください。

3. コンピュータがドッキングされている場合、ドッキングを解除します。

けがや感電をしないように、コンピュータおよび接続されているすべてのデバイスを電源コンセントから外します。電話線や電気通信回線をコンピュータから取り外します。

注意: システム基板への損傷を避けるために、コンピュータを修理する前に、電源ケーブル、バッテリーおよびセカンドバッテリー(取り付けがある場合)を取り外します。

4. 電源ケーブルを抜きます。
5. 他の外付けケーブルをコンピュータからすべて抜きます。
6. 取り付けられているPCカードをすべて取り出します。

注意: コンピュータカバーを傷つけないように、作業台の表面を掃除してください。


7. 取り付けのある**バッテリー**を取り外します。
8. コンピュータ背面のI/Oパネルの塗装していない金属面に触れて身体の静電気を逃がします。

部品への損傷を避けるため、作業中も定期的にI/Oパネルに触れて静電気を逃がします。

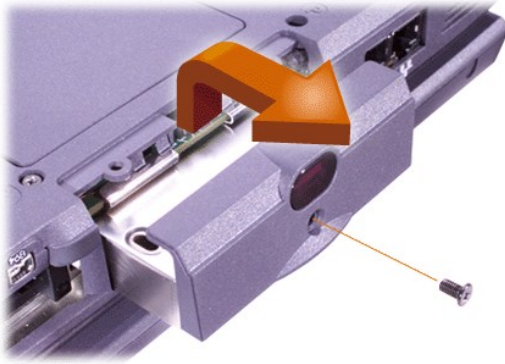
プライマリハードドライブの交換

注意: データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください。また、コンピュータがサスペンドモードにあるときや**インジケータ**が点灯しているときは、ドライブを取り外さないでください。このような状態でハードドライブを取り外すと、データが失われることがあります。

1. 「[コンピュータ内部の作業の準備](#)」に記述してある手順を完了します。
2. ディスプレイを閉じてコンピュータを裏返します。

 **警告:** プライマリハードドライブを極端な環境で使用すると、温度が高くなり触ることができない場合があります。ドライブが熱くなった場合は、温度が低くなってから取り扱ってください。

3. ドライブを取り外します。ドライブドアネジを小型のプラスドライバで外します。この手順の後半で使用するために、ネジは保管しておきます。コンピュータから取り出したハードドライブは、静電気から保護してください。詳細については、「[静電気放出への対処](#)」を参照してください。

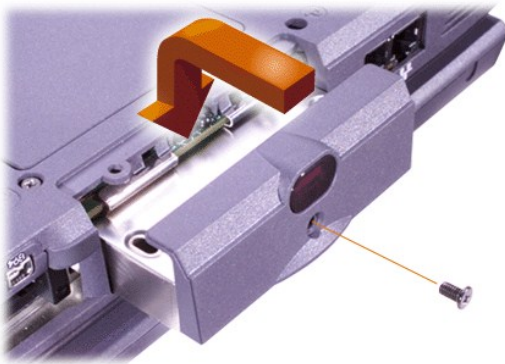


4. 箱から新しいドライブを取り出します。

箱は保管しておき、ハードドライブを保管または輸送する場合に使用します。

注意:ドライブがなかなか入らない場合は、いったん引き出してからもう一度入れ直してください。損傷を防ぐためにドライブをドライブベイに無理に差し込まないでください。

5. 新しいハードドライブをドライブベイに、ドライブドアがコンピュータケースと面が揃うまで丁寧に押し込みます。



6. きちんと納まるまでドライブドアに押し込みます。

7. 手順3で取り外した2つのネジを取り付けます。ネジを強く締めすぎないように注意してください。

新しいハードドライブを取り付けたら、ドライブに付属の指示に従ってドライブのパーティション分割および論理フォーマットをおこないます。

注意:ハードドライブは大変壊れやすいので、注意して取り扱う必要があります。ハードドライブの取り扱いに際しては、次のガイドラインに従ってください。

- 1. プライマリハードドライブは、ドライブの保護および取り付けを簡単にするため、金属製のキャリアに取り付けます。ハードドライブを取り付けたり取り外したりする場合は、ドライブそのものではなくドライブキャリアを取り扱います。
- 1. 絶対にドライブの上部を押さないでください。
- 1. ドライブをぶついたり、傷つけたりしないでください。

メモリモジュールの取り付けおよび取り外し

注意:お使いのコンピュータは100MHzのSDRAMモジュールのみをサポートしています。EDOメモリモジュールはサポートしていません。

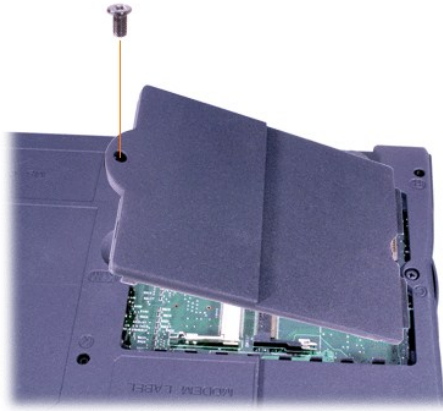
注意:コンピュータがスタンバイモード等の電源管理モードに入っている状態でメモリモジュールを取り付けしないでください。

注意:コンピュータの背面にあるコネクタの塗装のされていない金属面に触れて、身体の静電気を除去します。作業中も定期的にコネクタに触れて、内部装置に損傷を与える恐れのある静電気を除去してください。

メモリモジュールの取り付けおよび取り外しをおこなうには、次の手順に従ってください。

1. 「[コンピュータ内部の作業の準備](#)」に記述してある手順を完了します。

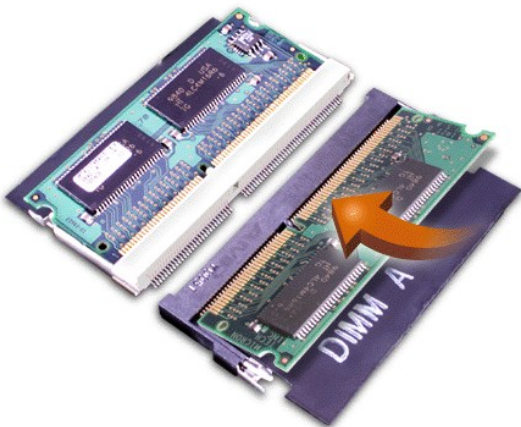
2. ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
3. メモリモジュールカバーからネジを取り外し("K/M"と表示されてあるアイコンの隣にあります)、メモリモジュールカバーを取り外します。



4. メモリモジュールを取り付ける場合、すでに取り付けてあるモジュールを取り外します。
メモリモジュールソケットの金属タブを注意深く離します。次にメモリモジュールをソケットから取り出します。



5. 静電気を除去して、アップグレードキットから新しいメモリモジュールを取り出します。
6. 2つのソケットにメモリモジュールを取り付ける場合、まず「JDIM 1」("DIMM A")とラベル表示されているソケットにメモリモジュールを取り付けてから、「JDIM 2」("DIMM B")とラベル表示されているソケットにモジュールを取り付けます。



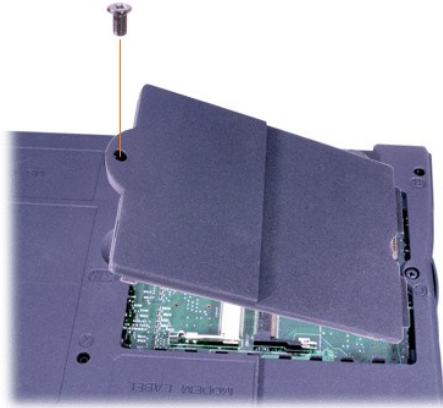
メモリモジュールが一つの場合、「JDIM 1」("DIMM A")のソケットに取り付けます。

メモリモジュールは、一定の向きでソケットに差し込むように設計されています。またシステム基板のソケットもメモリモジュールを一定方向でのみきちんと取り付けられるように設計されています。

7. メモリモジュールの端が金属タブにカチッと音をたてて固定されない場合は、メモリモジュールを取り外し、もう一度やり直してください。

注意:メモリモジュールを取り付けた後、メモリモジュールカバーが取り付けられない、またはきちんと閉まらない場合はメモリモジュールを間違えて別のスロットに取り付けている可能性があります。メモリモジュールを取り外し、もう一度やり直してください。コンピュータを損傷する恐れがあるので、メモリモジュールカバーを無理に閉めないでください。

8. メモリモジュールのカバーを取り付けます。ネジを締めすぎないように注意してください。



9. コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。

コンピュータが起動すると、増設したメモリを検出して自動的にシステム設定情報を更新します。正しい総メモリ容量が表示されているか確認します。必要な場合、メモリ容量が正しく表示されるまで手順1から8を繰り返します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

パスワードおよびセキュリティ機能 : Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

[パスワードについて](#)

[ハードドライブパスワードの使い方](#)

[電源投入時パスワードの使い方](#)


[管理タグ設定ユーティリティ](#)

[システム管理者パスワードの使い方](#)

[セキュリティケーブルスロットの使い方](#)

パスワードについて

電源投入時パスワードは、使用を許可されていないユーザーによるコンピュータの起動を防ぐことができます。電源投入時パスワードの代わりにシステム管理者パスワードを入力してコンピュータを起動することもできます。ドライブが別のコンピュータに取り付けられている場合でも、ハードドライブパスワードを設定すると、許可無しにはデータへのアクセスができなくなります。

 **メモ:** ご購入時には、これらの3種類のパスワードは設定されていません。パスワードによる安全管理をおこなう場合は、パスワードを設定する必要があります。企業によっては、コンピュータを配る前に3つの(または3つのうちのいくつかの)パスワードを設定する場合もあります。

注意: パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするためには、データ暗号化プログラムや暗号化機能の付いたPCカードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、[Dellにお問い合わせください](#)。その際、許可のない者による不正使用を防ぐため、Dellのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

電源投入時パスワードの使い方

電源投入時パスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護するために使用します。

電源投入時パスワード設定後は、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。パスワードを設定した後にコンピュータを起動すると、次のようなメッセージが毎回表示されます。

Please type in the primary or administrator password and press <Enter>.
(プライマリまたは管理者パスワードを入力して、<Enter>キーを押してください。)

コンピュータを起動するには、パスワードを入力します(最大8文字です)。

 **メモ:** 2分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

システム管理者パスワードが設定されている場合は、電源投入時パスワードの代わりに使うこともできます。通常は、コンピュータがシステム管理者パスワードの入力を求めることはありません。


注意: システム管理者パスワードを無効にすると、同時に電源投入時パスワードも無効になります。

システム管理者パスワードの使い方

システム管理者パスワードは、企業などが所有するコンピュータを管理または修理するシステム管理者と技術者のためのものです。コンピュータを梱包から出して設定する際には、システム管理者や技術者が複数のコンピュータに同一のシステム管理者パスワードを登録し、電源投入時パスワードはそれぞれのコンピュータのユーザーが自由に設定できるようにすることもできます。

システム管理者パスワードを設定すると、[セットアップユーティリティ](#)のConfigure Setupオプションが有効になります。Configure Setupオプションでは、システムパスワードによってシステムへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。

システム管理者パスワードは電源投入時パスワードの代わりに使うこともできます。電源投入時パスワードの入力を求められた場合は、常にシステム管理者パスワードで代用できます。


 **メモ:** システム管理者パスワードを使ってシステムへのアクセスはできますが、ハードドライブへのアクセスは、ハードドライブパスワードが設定されている場合はできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、電源投入時パスワードを忘れてしまった場合、また両方のパスワードを設定し、どちらも忘れてしまった場合は、[Dellのテクニカルサポートにお問い合わせください](#)。

注意: システム管理者パスワードを無効にすると、同時に電源投入時パスワードも無効になります。

ハードドライブパスワードの使い方

ハードドライブパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからハード上のデータを保護するために使用します。モジュラーハードドライブをご使用の場合は、そのドライブにプライマリハードドライブと同じ、または異なるパスワードを設定することもできます。


 **メモ:**Latitude Cシリーズノートブックコンピュータ用のハードドライブをDellから購入された場合にだけ、ハードドライブパスワード機能を使用できます。

ハードドライブパスワードの設定後は、コンピュータの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。またサスペンドモードまたはスタンバイモードから通常の動作に復帰する際にも、必ず入力する必要があります。

ハードドライブパスワードを有効にした後は、コンピュータを起動するたびに次のようなメッセージが毎回表示されます。

Please type in the hard-disk drive password and press <Enter>.
(ハードディスクドライブパスワードを入力して、<Enter>キーを押してください。)


操作を続けるには、パスワードを入力します(最大8文字です)。直前の状態(サスペンドモードまたはスタンバイモード)に戻るには、<Esc>キーを押します。

 **メモ:**2分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

パスワードを間違えると、次のメッセージが表示されます。

```
Invalid password  
[Press Enter to retry]  
(無効なパスワードです。再度入力してください。)
```

パスワードが3回以内に正しく入力されないと、他の起動デバイスから起動するように**セットアップユーティリティ**のBoot First Deviceオプションで設定している場合には、コンピュータは他の起動デバイスからの起動を試みます。別のデバイスから起動するように設定していない場合は、コンピュータの電源を入れたときの状態(スタンバイモード)に戻ります。

 **メモ:** ハードドライブパスワード、モジュラーハードドライブパスワード、および電源投入時パスワードが同じ場合は、電源投入時パスワードの入力だけが求められます。ハードドライブパスワードが電源投入時パスワードと異なる場合は、両方のパスワードの入力が求められます。2つのパスワードを別に設定することで、セキュリティを高めることができます。

システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブへのアクセスは、ハードドライブパスワードが設定されている場合はできません。

管理タグ設定ユーティリティ

管理タグ設定ユーティリティを使用すれば、コンピュータに割り当てられた管理タグ番号を入力できます。このユーティリティを使って管理タグ番号を入力しないと、デフォルトのシステムセットアップ画面には管理タグ番号は表示されません。

管理タグユーティリティを使うと、システムのログオン画面で、電源投入時パスワードと共に所有者タグの入力を求めるように設定することもできます。

既存の管理タグ番号とサービスタグ番号の参照

1. 起動フロッピーディスクまたはCDからコンピュータを起動します。
2. `cd c:\Dell\Util`と入力して<Enter>キーを押します。
3. `asset`と入力してから<Enter>キーを押します。

管理タグ番号の割り当て

管理タグ番号は最大10文字で、スペースを除く任意の文字の組み合わせが使用できます。

1. 起動フロッピーディスクまたはCDからコンピュータを起動します。
2. `cd c:\Dell\Util`と入力して<Enter>キーを押します。
3. `asset`と入力し、スペースを1つ入れてから番号を入力したら<Enter>キーを押します。
たとえば、次のようにコマンドラインを入力してから<Enter>キーを押します。

```
asset 1234$ABCD&
```
4. 管理タグ番号の確認を求めるプロンプトが表示されたら、`y`を入力し、<Enter>キーを押します。
新規または変更後の管理タグ番号とサービスタグ番号が表示されます。

管理タグ番号の削除

1. 起動フロッピーディスクまたはCDからコンピュータを起動します。
2. `cd c:\Dell\Util`と入力し<Enter>キーを押します。

3. `asset /d`と入力してから<Enter>キーを押します。

所有者タグ番号の割り当て

所有者タグ番号は最大48文字で、組み合わせには、任意の文字のほか数字やスペースも有効です。


1. 起動フロッピーディスクまたはCDからコンピュータを起動します。
2. `cd c:\Dell\Util`と入力し、<Enter>キーを押します。
3. `asset /o`と入力し、スペース1つを入れてから所有者タグを入力し、<Enter>キーを押します。
たとえば、次のようにコマンドラインを入力してから<Enter>キーを押します。

```
asset /o ABC Company
```

4. 所有者タグ番号の確認を求めるプロンプトが表示されたら、`y` を入力し、<Enter>キーを押します。
新しく割り当てた所有者タグが表示されます。

所有者タグの削除

1. 起動フロッピーディスクまたはCDからコンピュータを起動します。
2. `cd c:\Dell\Util`と入力し、<Enter>キーを押します。
3. `asset /o /d` と入力してから<Enter>キーを押します。

 **メモ:** セキュリティのため、電源投入時パスワードが設定されている場合には、所有者タグを設定、変更、および削除することはできません。

次のコマンドラインオプションを使用するには、MS-DOS[®]プロンプトを起動し、`asset`と入力した後、スペースを1つ入れてからオプションを入力し、<Enter>キーを押します。

管理タグユーティリティのコマンドラインオプション

管理タグオプション	説明
<code>/d</code>	管理タグ番号を削除します。
<code>/o <tag></code>	新しい所有者タグを設定します。
<code>/o /d</code>	所有者タグを削除します。
<code>/?</code>	管理タグユーティリティのヘルプ画面を表示します。


セキュリティケーブルスロットの使い方

コンピュータを無断で持ち出されないようにするために、セキュリティケーブルを使って、コンピュータを固定された物に取り付けることができます。コンピュータには2つのセキュリティケーブルスロットがあり、両側に設置されています。

1. 固定された物にケーブルを巻き付けます。
2. ロック装置をセキュリティケーブルスロットに挿入してキーでロックします。詳細は、盗難防止装置に付属の使用説明書を参照してください。



ノートブックコンピュータの盗難防止装置は、通常、金属製のケーブル、ロック器具と鍵が含まれています。

 **メモ:** 盗難防止装置をお買い求めの際には、ご使用のコンピュータのセキュリティケーブルスロットに装着できるかどうかを確認してください。


[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

セットアップユーティリティの使い方: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [セットアップユーティリティの起動および終了](#)
- [セットアップの画面](#)
- [起動順序の変更](#)
- [プリンタモードの変更](#)
- [COMポートの変更](#)
- [IRセンサーの有効化](#)

概要

 **メモ:** Microsoft® Windows® 2000またはWindows XPなどのACPIオペレーティングシステムでは、セットアップユーティリティで利用できるほとんどのセットアップオプションが自動的に設定され、セットアップユーティリティのオプションで入力した設定を無効にします。ただし[External Hot Key]オプションは例外で、セットアップユーティリティのみから有効または無効を設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細は、お使いのMicrosoft Windowsヘルプを参照してください。

次のような場合には、セットアップユーティリティを実行してください。


- 1 電力管理機能やパスワードなどの選択可能な機能を設定または変更する場合
- 1 システムのメモリ量など現在の設定情報を確認する場合

設定オプションによっては、変更した内容がすぐに有効になるものもあれば、内容を有効にするためにコンピュータを再起動しなければならないものもあります。再起動しなければならない場合は、画面の右上に補足説明が表示されます。

システムを設定したら、セットアップユーティリティを実行して、システム設定情報とオプション設定を確認してください。後で参照できるように、画面の情報を書き留めておくことをお勧めします。

セットアップユーティリティの起動および終了

操作	コンピュータあるいは外付けキーボード
セットアップユーティリティを起動する	起動ルーチン中に、メッセージが表示されたら<F2>キー メッセージが表示されている時、セットアップユーティリティが起動しない場合、起動ルーチンが終了するまで待ち、再起動してから再び始めます。
セットアップユーティリティを終了する	<Esc>キー 変更を有効にするための再起動が必要なオプションの設定の変更をおこなう場合、再起動の前にオペレーティングシステムを終了します。(コンピュータを再起動する必要がある場合、セットアップユーティリティ画面の右上隅にあるHelpテキストに表示されます。)

 **メモ:** スタンバイモードを起動中、セットアップユーティリティを実行している場合、セットアップユーティリティを終了してからスタンバイモードを有効にしてください。

セットアップの画面

セットアップユーティリティの画面には、現在の設定と設定情報およびオプション設定が表示されます。セットアップユーティリティ画面は、次の5つのボックスから構成されています。

- 1 Title
各画面の上端のボックスには、ページ番号、システム名およびBIOSのバージョン番号が表示されます。
- 1 Options
各画面の左半分には、コンピュータに取り付けられているハードウェア、省電力機能およびセキュリティ機能を定義するオプションが表示されます。

オプションの隣のフィールドには、設定または数値が表示されています。画面に明るい色で表示されている値は、変更できます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを押さえた色で表示されています。
- 1 Help
各画面の右側上半分には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されます。
- 1 Computer data

各画面の右側下半分には、コンピュータのシステム情報が表示されます。


1 Key functions

各画面の最下段には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されます。

起動順序の変更

コンピュータの起動順序を変更するには、**Boot First Device** (第一起動デバイス)、**Boot Second Device** (第二起動デバイス)、あるいは**Boot Third Device** (第三起動デバイス) オプションのデバイス設定を変更します。

起動順序オプション	説明
Boot First Device	オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアを最初に探す場所をコンピュータに指示します。
Boot Second Device	Boot First Device で指定されたドライブにオペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアが見つからない場合に、次に探す場所をコンピュータに指示します。
Boot Third Device	Boot First Device あるいは Boot Second Device で指定されたドライブにオペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアが見つからない場合に、次に探す場所をコンピュータに指示します。

 **メモ:** 固定オプティカルドライブとしてインストールされているCD、CD-RW、DVDドライブからのみ起動できます。モジュラーベイにインストールされてあるモジュールからは起動することはできません。

起動順序オプションの変更を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

ここで使われる起動という用語は、コンピュータが立ち上がる動作過程を指します。コンピュータの電源を入れると、コンピュータは自分でメモリに小さなプログラムをロードし、次に必要なオペレーティングシステムをロードして動作状態になります。起動順序は、オペレーティングシステムを実行するのに必要なソフトウェアを探す場所をコンピュータに指示します。

プリンタモードの変更

パラレルポートに接続されているプリンタやデバイスのタイプに応じて **Parallel Mode** オプションを設定してください。正しいモードを選ぶには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Parallel Mode を **Disabled** に設定するとパラレルポートと割り当てられている **LPT** アドレスが無効になり、他のデバイスがその割り込みを使えるようになります。

COMポートの変更

Serial Port オプションで、シリアルポートのアドレスをマップしたり、シリアルポートと割り当てられている **COM** アドレスを無効にできます。無効にすると、他のデバイスがその割り込みを使えるようになります。

赤外線 (IR) センサーの有効化

1. **Infrared Data Port** オプションを **COM** 設定にします (**COM3** をお勧めします)。
2. **Infrared Mode** オプションを **Fast IR** か **Slow IR** のどちらかに設定します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

解決策を見つけるには: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [応答のないプログラムから復帰するには](#)
- [応答のないコンピュータを再起動するには](#)
- [コンピュータが濡れた場合](#)
- [コンピュータを落としたり破損してしまった場合](#)
- [電源が入らない場合](#)
- [ACアダプタを使用していて電源が入らない場合](#)
- [バッテリーを使用していて電源が入らない場合](#)
- [部分的にのみ電源が入る場合](#)
- [フロッピードライブの問題](#)
- [CD、CD-RW、DVDドライブの問題](#)
- [ハードドライブの問題](#)
- [ハードウェアのコンフリクト](#)
- [コンピュータのメモリ容量が不適切な場合](#)
- [PCカードの問題](#)
- [モデム、ファックス、およびインターネット接続の問題](#)
- [画面に何も表示されない場合](#)
- [外付けモニタに何も表示されない場合](#)
- [TVに何も表示されない場合](#)
- [サウンドおよびスピーカーの問題](#)
- [DualPointデバイス、タッチパッド、またはマウス](#)
- [Fn、AltおよびFnインジケータが点灯しない場合](#)
- [外付けキーボードが動作しない場合](#)
- [シリアルポートまたはパラレルポートに接続されているデバイスが動作しない場合](#)
- [パラレルポートプリンタが動作しない場合](#)
- [ソフトウェアによる解決](#)


概要


テクニカルサポートについてDellにお問い合わせいただく前に、コンピュータの問題解決に役立つ以下の作業をおこなってください。

- 『システム情報ガイド』にある「安全にお使いいただくための注意」および「[はじめにお読みください](#)」をお読みください。
- [Dell診断プログラム](#)を実行すると、問題をすばやく発見することができます。



Microsoft® Windows® XPを実行している場合、Windowsの[ヘルプとサポートセンター](#)で入手できるツールも使用することができます。


- 動作不良を起こしているコンポーネントまたは装置に該当する手順をおこなってください。手順については、このページの最初にある[メニューのトピック](#)をクリックしてください。


 **メモ:** 問題の解決手順の中で、「問題は解決しましたか?」という質問が表示されたら、問題の発生した操作をおこなって問題が解決されたかどうかを確認してください。







 **警告:** 予想されるシステム基板への損傷を防止するため、コンピュータの電源を切った後、5秒たってからデバイスを切断するか、またはメモリモジュールを取り外してください。

注意: メモリモジュールを取り付けるとき以外は、コンピュータの内部へ手を入れないでください。

問題	手順
応答のないプログラムから復帰するには	<ol style="list-style-type: none"><Ctrl> + <Alt> + キーを押します。タスクマネージャウィンドウで応答のないプログラムをクリックします。応答のないプログラムを選択します。タスクの終了をクリックします。
応答のないコンピュータを再起動するには	<ol style="list-style-type: none">コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。コンピュータの電源を入れるには、電源ボタンを押します。 <p>起動中にチェックディスク(またはスキャンディスク)が実行されることがあります。このプログラムは、ハードドライブ上のエラーをチェックして修復するものです。スキャンが完了すると、Microsoft Windowsがロードされ実行されます。</p>
コンピュータが濡れた場合  液体をこぼしたり、湿気のある場所にコンピュータを置くことは、コンピュータの損傷の原因となります。	<p> 警告: 安全であることを確認してから、手順1をおこなってください。コンピュータが電源コンセントに接続されている場合、Dellでは、サーキットブレーカーのAC電源を切ってから電源ケーブルを電源コンセントから抜くようお勧めします。濡れたケーブルを通電中の電源から抜く場合、細心の注意を払ってください。</p> <ol style="list-style-type: none">コンピュータの電源を切り、ACアダプタから切断します。次に、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。接続されているすべての周辺機器の電源スイッチを切って電源コンセントから外し、次にコンピュータから

	<p>外します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. コンピュータ背面にある金属コネクタのいずれかに触れて体から静電気を逃します。 3. 取り付けられているバッテリーを取り外します。 <p>それぞれのバッテリーを拭き、安全な場所に置いて乾燥させます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. モジュラーベイが濡れている場合、ベイから デバイスを取り外してください。PCカードスロットが濡れている場合、すべてのPCカードを抜いてください。デバイスおよびカードを安全な場所に置いて乾燥させます。 5. ハードドライブを取り外します。 6. メモリモジュールを取り外します。 7. ディスプレイを開き、コンピュータを2冊の本または同じような支えになるもの間をまたぐようにして置き、全体に空気が循環するようにします。少なくとも24時間コンピュータを乾燥させます。 <p>コンピュータは室温で湿気のない場所に置いてください。乾燥を早める人工的な方法は用いないでください。</p> <p>⚠警告:この手順を進める前に、コンピュータが完全に乾燥したことを確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. I/Oパネルにある塗料の塗られていない金属部分のどこかに触れて体から静電気を逃します。 9. メモリモジュールを元に戻します。 10. メモリモジュールカバーを元に戻します。 11. ハードドライブを元に戻します。 12. 取り外したモジュラーベイおよびPCカードを再び取り付けます。 13. 取り外したすべてのバッテリーを元に戻します。 14. コンピュータおよび周辺機器を電源コンセントに差し込み、電源を入れます。 15. コンピュータは正常に動作しますか？ <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。コンピュータを起動できる場合、Dell診断プログラムを実行してコンピュータの損傷を特定します。コンピュータを起動できない場合、「電源が入らない場合」を参照してください。損傷したコンポーネントを特定できない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>コンピュータを落としたり破損してしまった場合</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべての開いているファイルを保存して閉じ、すべての実行中のアプリケーションプログラムを終了してコンピュータをシャットダウンします。 2. ACアダプタを電源コンセントから抜き、コンピュータから切断します。接続されているデバイスの電源を切って電源コンセントから抜き、次にコンピュータから切断します。 3. コンピュータ背面にある金属コネクタのどこかに触れて体から静電気を逃します。 4. 取り付けられているすべてのバッテリーまたはその他のデバイスをモジュラーベイから取り外します。 5. ハードドライブを取り外します。 6. メモリモジュールカバーおよびメモリモジュールを取り外します。 7. メモリモジュールを再び取り付けて、正しく取り付けられたことを確認してください。 8. メモリモジュールカバーを元に戻します。 9. ハードドライブを元に戻します。 10. すべてのPCカードがPCカードコネクタに正しく取り付けられていることを確認してください。 11. モジュラーベイから取り外したバッテリーまたはその他のデバイスを取り付けます。デバイスが正しく取り付けられていることを確認してください。 12. コンピュータおよび周辺機器を電源コンセントに差し込み、電源を入れます。 13. Dell診断プログラムを実行して、コンピュータが正常に動作していることを確認してください。 14. コンピュータが正常に動作しない場合、診断チェックリストを埋めてください。その後、テクニカルサポートについてDellにお問い合わせください。
<p>電源が入らない場合</p> <p> 電源がまったく入らない場合、キーボード上のライトは点灯しません。また、ドライブからは何も音がしません。「部分的にのみ電源が入る場合」も参照してください。</p>	<p>以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ACアダプタをコンピュータおよび電源コンセントに接続します。 2. フロッピードライブ、ハードドライブ、およびバッテリーなどの内蔵デバイスを含むすべてのデバイスを取り外します。 3. コンピュータの電源を入れます。 4. コンピュータの電源は正しく入りましたか？ <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順5へ進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. コンピュータの電源を切ります。⏻ライトは点灯しましたか？ <p>はい。手順6に進みます。</p> <p>いいえ。手順7に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. すべての取り付けられているバッテリーを取り外して、ACアダプタを切断します。次にバッテリーを再び取り付け、ACアダプタを接続してからコンピュータの電源を入れます。⏻ライトは点灯しましたか？ <p>はい。手順8に進みます。</p>

	<p>いいえ。手順7に進みます。</p> <p>7. コンピュータの電源を切り、数秒待ってからコンピュータの電源を再び入れます。🔌ライトは点灯しましたか？</p> <p>はい。コンピュータは通電しました。手順8に進みます。</p> <p>いいえ。コンピュータは通電していません。手順9に進みます。</p> <p>8. コンピュータは正常に起動しますか？</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順9へ進みます。</p> <p>9. すべてのバッテリーを取り外してから再び取り付け、ACアダプタの接続を確認します。🔌ライトは点灯しましたか？</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。ACアダプタでコンピュータに電力を供給している場合、「ACアダプタを使用して電源が入らない場合」を参照してください。バッテリー電源を使用している場合、「バッテリーを使用して電源が入らない場合」を参照してください。</p>
<p>ACアダプタを使用して電源が入らない場合</p>	<p>基本チェック:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 電源コンセントのテスト: ランプなど別の装置を使って電源コンセントが正常に利用できることを確認してください。 1 ACアダプタを直接電源コンセントに接続する: 電源保護装置、電源タップ、および延長コードなどを外して、コンピュータの電源が入ることを確認します。 1 干渉のチェック: 同じ回路上に高電圧の電化製品が接続されている場合、またはコンピュータのそばで動作している場合、干渉を引き起こします。延長コード、たくさんのデバイスがつながれた電源タップ、または複数の電源タップが電源コンセントに接続されている場合、問題の原因となることがあります。 <p>以下の手順に従って 診断チェックリスト を埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータおよびデバイスの電源を切り、電源コンセントから抜きます。サージプロテクタを使用している場合は取り外します。 2. ACアダプタがコンピュータに接続されていることを確認し、電源ケーブルがACアダプタおよび電源コンセントにしっかりと接続されていることを確認します。 3. ACアダプタの上部にあるライトは点灯しますか？ <p>はい。手順4に進みます。</p> <p>いいえ。ACアダプタの不良である可能性があります。手順5に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. コンピュータの電源を入れます。🔌ライトは点灯しましたか？ <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順5へ進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。
<p>バッテリーを使用して電源が入らない場合</p> <p> コンピュータにACアダプタが接続されていない場合、コンピュータはバッテリー電源で動作します。バッテリーが取り付けられていてコンピュータの電源が入らない場合、バッテリーが充電されていないことがあります。</p>	<p>以下の手順に従って 診断チェックリスト を埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータおよびデバイスの電源を切ります。デバイスを電源コンセントから抜きます。 2. 各ベイにある バッテリーを取り外してから再び取り付けます。 3. 電源ボタンを押します。コンピュータの電源は入りましたか？ <p>コンピュータがコンポーネントを初期化するまで1分間待ってから、電源が入ったことを確認します。</p> <p>はい。バッテリーが正しく取り付けられていませんでした。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。ACアダプタをコンピュータと電源コンセントに接続して使用します。ACアダプタを使用したときにコンピュータが正常に動作する場合は、手順4に進みます。ACアダプタを使用してもコンピュータが起動しない場合、「ACアダプタを使用して電源が入らない場合」を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. ACアダプタを使用して バッテリーを充電します。 5. バッテリーが充電されていることを示す🔌ライトは(点滅ではなく)常に点灯していますか？ <p>はい。手順6に進みます。</p> <p>いいえ。バッテリー不良の可能性があります。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてく</p>

	<p>ださい。</p> <p>6. 電源ボタンを押します。コンピュータの電源は入りましたか？</p> <p>はい。 バッテリーを充電する必要があります。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。 Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>部分的にのみ電源が入る場合</p> <p> ライトがコンピュータに電源が入っていることを示しているのに画面には何も表示されない場合、コンピュータの一部に電気の届いていないところがあります。「電源が入らない場合」も参照してください。</p>	<p>1. コンピュータおよびデバイスの電源を切り、電源コンセントから抜きます。すべての接続されているデバイスをコンピュータから切断します。</p> <p>2. ACアダプタがコンピュータおよび電源コンセントに接続されていること、またはフル充電されているバッテリーがモジュラーベイに正しく取り付けられていることを確認します。</p> <p>3. コンピュータの電源を入れます。画面の電源は入りましたか？</p> <p>コンピュータがコンポーネントを初期化するまで1分間待ってから、電源が入ったことを確認します。</p> <p>はい。 コンピュータ全体に通電しています。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。 画面の輝度を調整します。それでも画面に何も表示されない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>フロッピードライブの問題</p> <p> POST (power-on self-test) の実行中、コンピュータは、フロッピードライブをシステム構成情報にある特性と比較しながらチェックします。(コンピュータがフロッピードライブをチェックしている間、 ライトが点滅します。)</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> ドライブにアクセスしているときに聞きなれない摩擦音またはきしり音がする場合、その音が行っているアプリケーションプログラムにより発生しているものではないことを確認してください。その音は、ハードウェアの動作不良による場合があります。Dellのテクニカルサポートを受けるには、「ヘルプの概要」を参照してください。 コンピュータの電源を入ると、起動ルーチンの実行中にフロッピーまたはハードドライブの動作音がします。コンピュータが起動しない場合、テクニカルサポートについてDellにお問い合わせください。(手順については、「ヘルプの概要」を参照してください。)それ以外の場合は、「Dell診断プログラム」を参照してください。 フロッピーディスクをドライブに挿入し、MS-DOSプロンプトで「dir a:」と入力して<Enter>キーを押し、インジケータをテストします。 データをディスクにコピーする場合、フロッピーディスクがライトプロテクトされていないことを確認してください。 「Dell診断プログラム」で説明しているDisketteテストをおこないます。 別のフロッピーディスクでそのドライブで試してみます。新しいフロッピーディスクでうまくいく場合、元のフロッピーディスクが不良であることがあります。 セットアップユーティリティのサブメニューPage One の設定を確認します。 市販されているクリーニングキットを使用して、ドライブを清掃します。 <p>注意: ドライブヘッドを綿棒で掃除しないでください。誤ってヘッドの位置をずらしてしまうと、ドライブが動作しなくなることがあります。</p> <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って 診断チェックリスト を埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての開いているファイルを保存して閉じ、すべての実行中のアプリケーションプログラムを終了してコンピュータをシャットダウンします。 フロッピードライブを モジュラーベイ から取り外します。 フロッピードライブを再び取り付けます。 コンピュータを再起動します。起動中に、 ライトは点滅しましたか？ <p>はい。 手順6に進みます。</p> <p>いいえ。 手順5に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> フロッピードライブを取り外してから再び取り付けます。コンピュータを再起動します。起動中に  ライトは点灯しましたか？ <p>はい。 手順6に進みます。</p> <p>いいえ。 手順9に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータにドライブのエラーメッセージが表示されましたか？ <p>はい。 メッセージの説明について「エラーメッセージの理解」を参照し、次に手順7に進みます。</p> <p>いいえ。 手順9に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.44 MB (メガバイト) のフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入し、コンピュータを再起動します。 起動中に  ライトが点滅し、ドライブからオペレーティングシステムが起動しますか？ <p>はい。 フロッピードライブの問題は解決しました。問題が解決しない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。 手順9に進みます。</p>

9. Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。


CD、CD-RW、DVDドライブの問題

POSTの実行中、コンピュータは、ドライブをシステム構成情報にある特性と比較しながらチェックします。コンピュータがこのチェックを実行している間、ドライブの点滅が点滅しています。

CDメディアの製造上のばらつきにより、高速のCDドライブの中には他のドライブよりも振動が大きくなる場合があります。こうした振動やそれに伴う音は、ドライブまたはCDの不良を示しているわけではありません。

基本チェック:

- ドライブにアクセスしているときに聞きなれない摩擦音またはきしり音がする場合:
 - その音が実行中のアプリケーションプログラムにより発生しているものではないことを確認してください。その音は、ハードウェアの動作不良による可能性があります。Dellのテクニカルサポートを受けるには、「[ヘルプの概要](#)」を参照してください。
 - ディスクがドライブの奥に完全に納まっているかを確認します。
- コンピュータの電源を入ると、起動ルーチンの実行中にフロッピーまたはハードドライブの動作音がします。コンピュータが起動しない場合、テクニカルサポートについて [Dellにお問い合わせください](#)。それ以外の場合は、「[Dell診断プログラム](#)」を参照してください。
- MS-DOS@プロンプトで「dir x:」と入力し、ドライブインジケータをテストします。このxは、ドライブ文字です。次に<Enter>キーを押します。
- ドライブがコンピュータに認識されていることを確認します (Windows XPでは、**スタートボタン**をクリックしてから、**マイコンピュータ**をクリックします;Windows2000では、デスクトップの**マイコンピュータ**アイコンをダブルクリックします)。ほとんどの一般的なブートセクタウイルスは、ドライブが「見つからない」原因となります。ウイルススキャンソフトウェア(お使いのコンピュータのオペレーティングシステムがDellによってインストールされている場合、ウイルススキャンソフトウェアはすでにインストール済みです)を使用してウイルスをチェックし、除去します。
- 市販されているクリーニングキットを使用して、ディスクを清掃します。
- 市販されているクリーニングキットを使用して、ドライブを清掃します。
- 別のCDまたはDVDを使用してみます。


 **メモ: 業界では現在さまざまな規約が使用されているため、すべてのDVDタイトルがすべてのDVDドライブで動作するわけではありません。**

- 「[Dell診断プログラム](#)」の説明に従って、IDE Devicesのテストをおこないます。
- コンピュータの電源を切り、ドライブをモジュラーベイから取り外します。ドライブを元に戻し、コンピュータの電源を入れます。

CD、CD-RWまたはDVDドライブボタンを押しても、トレイが引き出されない場合、あるいは電源が入らない場合:


- コンピュータがシャットダウンされていることを確認します。
- ペーパークリップをまっすぐに伸ばし、ドライブの前にある穴に先端を挿入します。トレイが一部、引き出されるまで完全に押し込みます。
- トレイを完全に引き出します。

基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って [診断チェックリスト](#) を埋めてください。

- すべての開いているファイルを保存して閉じ、すべての実行中のアプリケーションプログラムを終了してコンピュータをシャットダウンします。
- ドライブがモジュラーベイにインストールされている場合、[ドライブを取り外します](#)。ドライブが、固定オプションドライブの場合、手順6に進みます。
- ドライブを再び取り付けます。
- コンピュータを再起動します。起動中に  ライトは点滅しましたか？

はい。 手順6に進みます。

いいえ。 手順5に進みます。

- ドライブを取り外してから再び取り付けます。コンピュータを再起動します。起動中に  ライトは点滅しましたか？

はい。 手順6に進みます。

いいえ。 手順10に進みます。

- [ハードドライブ](#) を取り外し、コンピュータを起動CDから起動します。  ライトは点滅しましたか？

はい。 手順7に進みます。

いいえ。 手順10に進みます。




- ハードドライブを元に戻します。次に **コントロールパネル** を開いてから、**システム** アイコンをダブルクリックします。 **ハードウェア** タブをクリックし、**デバイスマネージャ** ボタンをクリックします。適切なドライブが取り付けられていますか？



はい。 手順8に進みます。





いいえ。 ドライブをロードし、手順1に戻ってこの手順を始めからやり直します。(ドライブをロードするには、お使いのDellコンピュータに付属のDrivers and Utilities CDを使用します。)

- 起動フロッピーディスクをドライブAに挿入し、コンピュータを再起動します。
- 「x:」と入力し(xはドライブ文字です)、<Enter>キーを押します。「dir」と入力して<Enter>キーを押します。


	<p>MS-DOSでドライブのルートディレクトリの内容が表示されますか？</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順10に進みます。</p> <p>10. Drivers and Utilities CDをドライブに挿入し、コンピュータを再起動します。次に、IDE Devicesデバイスグループを実行します。ドライブはすべてのテストに合格しましたか？</p> <p>はい。手順11に戻り、このトラブルシューティングの手順をもう一度やり直してください。問題が解決されない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。手順11に進みます。</p> <p>11. Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
--	---

<p>ハードドライブの問題</p> <p> POSTの実行中、コンピュータは、ハードドライブをシステム構成情報にある特性と比較しながらチェックします。(コンピュータがチェックしている間、 ライトが点滅します。)</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> ドライブにアクセスしているときに聞きなれない摩擦音またはきしり音がする場合、その音が行中のアプリケーションプログラムにより発生しているものではないことを確認してください。その音は、ハードウェアの動作不良によることがあります。Dellのテクニカルサポートを受けるには、ヘルプの概要を参照してください。 コンピュータの電源を入ると、起動ルーチンの実行中にフロッピーまたはハードドライブの動作音がします。コンピュータが起動しない場合、テクニカルサポートについてDellにお問い合わせください。(手順については、ヘルプの概要を参照してください。)それ以外の場合は、Dell診断プログラムを参照してください。 MS-DOSプロンプトで「dir x:」と入力し、ドライブインジケータをテストします。このxは、ドライブ文字です。次に<Enter>キーを押します。 チェックディスク(またはスキャンディスク)ユーティリティを実行します。実行するには、マイコンピュータアイコン(または、スタート ボタンをクリックしてから、マイコンピュータ をクリックします)をダブルクリックし、ハードドライブを右クリックします。そして、プロパティ をクリックし、ツール タブ、チェックする をクリックしてから、スタート をクリックします。 <p>1. Dell診断プログラムに説明されているように、IDE Devicesデバイスグループを実行します。</p> <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータをシャットダウンします。 コンピュータを再起動します。起動中に ライトが点滅し、ドライブからオペレーティングシステムが起動しますか？ <p>はい。画面にメッセージが表示された場合、メッセージの説明および可能な対応策についてエラーメッセージの理解を参照してください。次に、手順7に進みます。</p> <p>いいえ。手順3に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 起動フロッピーディスクをドライブAに挿入し、コンピュータを再起動します。 「c:」と入力して<Enter>キーを押します。「dir」と入力して、<Enter>キーを押します。MS-DOSでドライブのルートディレクトリの内容が表示されますか？ <p>はい。手順6に進みます。</p> <p>いいえ。手順5に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ハードドライブに2つ以上の論理ドライブがある場合、「x:」と入力し(xはCD-ROMまたはDVDドライブです)、<Enter>キーを押します。「dir」と入力して<Enter>キーを押します。MS-DOSでCD-ROMおよびDVDドライブのルートディレクトリの内容が表示されますか？ <p>はい。ブートセクタまたはドライブCのFAT (file allocation table) が損傷している可能性があります。手順9に進みます。</p> <p>いいえ。手順8に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> autoexec.batおよびconfig.sysファイルの名前を付け直し、オペレーティングシステムのフロッピーディスクをドライブAから取り出して、コンピュータを再起動します。オペレーティングシステムがロードされていますか？ <p>はい。 autoexec.bat または config.sysファイルのエラーです。テキストエディタを使用して、これらのファイルの内容を調べてエラーの場所を確認します。これらのファイルの正しいコマンドの構文については、お使いのオペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。</p> <p>いいえ。手順7に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> Drivers and Utilities CDを挿入して、コンピュータを再起動します。次に、IDE Devicesデバイスグループを実行します。ドライブはすべてのテストに合格しましたか？ <p>はい。手順8に進みます。</p>
--	--






	<p>いいえ。手順9に進みます。</p> <p>8. Drivers and Utilities CDをオペレーティングシステムCDと入れ替え、コンピュータを再起動します。オペレーティングシステムがロードされていますか？</p> <p>はい。ハードドライブに損傷したオペレーティングシステムが含まれているか、または不良セクタがある可能性があります。オペレーティングシステムに付属のマニュアルで説明されているように、オペレーティングシステムを再インストールします。オペレーティングシステムを再インストールしても問題が解決しない場合、手順9に進みます。</p> <p>いいえ。手順9に進みます。</p> <p>9. Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>ハードウェアのコンフリクト</p> <p> オペレーティングシステムがデバイスを検出してもそれが正しく設定されていない場合、ハードウェアのコンフリクトが発生します。</p> <p>現象:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 特にデバイスの使用中に、システムがハングアップまたはロックする。 1 バリティが有効になっているシステムで、(メモリの)バリティエラーが発生する。 1 サウンドカードのノイズまたはその他の問題。 1 意味不明の内容がプリンタに印刷される。 1 マウスポインタがハングアップして動かなくなったり、スムーズに動かない。 1 コンピュータが最大のパフォーマンスで動作できないというWindowsのエラーメッセージが表示されるか、システムが「Safe Mode」または「MS-DOS Compatibility Mode」になってしまう。 1 はっきりとした理由のない、アプリケーションのエラーおよびクラッシュ。 	<p>オペレーティングシステムがデバイスを検出してもそれが正しく設定されていない場合、ハードウェアのコンフリクトが発生します。コンフリクトを調べるには、以下の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントロールパネル を開きます (Windows XPを実行している場合、スタート ボタンをクリックしてから、コントロールパネル をクリックします。Windows 2000を実行している場合、スタート ボタンをクリックして、設定をポイントしてからコントロールパネル をダブルクリックします)。 2. コントロールパネル のシステム をダブルクリックします。 3. ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。 4. コンフリクトは、デバイスマネージャ 一覧のコンフリクトしているデバイスの横に黄色い感嘆符(!)で示されています。デバイスの横の赤いXは、デバイスが現在のハードウェアプロファイルでは無効なことを示しています。 <p>デバイスの種類をダブルクリックして、プロパティ、一般タブをクリックすると、デバイスの状態が表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. ハードウェアのコンフリクトがある場合、プロパティ ウィンドウのデバイスの状態 エリアにコンフリクトしている拡張カードまたはデバイスが表示されています。 <p>コンフリクトを解決するには、お使いのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。</p>
<p>コンピュータのメモリ容量が不適切な場合</p> <p> POSTの実行中にコンピュータはメモリをチェックし、使用可能なバイト数で書き込みおよび読み込みをおこなって正常な動作を確保するようにします。</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 メモリ不足のメッセージが表示された場合、すべての開いているファイルを保存して閉じ、使用していないすべての実行中のプログラムを終了します。 1 システムメモリの追加を検討します。 1 「Dell診断プログラム」で説明されているようにしてシステムメモリのテストを実行します。 1 メモリモジュールを取り付け直します。 1 コンピュータを再起動します。 <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータを再起動します。表示されているRAM(random-access memory)のカウントが、コンピュータに取り付けられている実際のメモリ容量と正確に一致していますか？ <p>はい。メモリのアップデートが必要でしたが、現在、メモリチェックの段階では問題ありません。</p> <p>いいえ。手順2に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. すべての開いているファイルを保存して閉じ、すべての実行中のプログラムを終了して、すべての取り付けられているバッテリーを取り外します。 3. コンピュータの電源を切り、ACアダプタから切断します。次に、ACアダプタを電源コンセントから抜きます。接続されているすべてのデバイスの電源を切って電源コンセントから外し、次にコンピュータから外します。 4. コンピュータ背面にある金属コネクタのどこかに触れて体から静電気を逃します。 5. コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーおよびメモリモジュールを取り外します。 6. 新しいメモリモジュールを取り付けます。 7. メモリモジュールカバーを元に戻します。 8. コンピュータを再起動します。セットアップユーティリティを実行するようプロンプトが表示されたら、<F2>キーを押します。 9. Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。
<p>PCカードの問題</p>	<p>基本チェック:</p>

	<ol style="list-style-type: none"> 1. PCカードが正しくコネクタに接続されていることを確認します。 1. カードがWindowsオペレーティングシステムに認識されていることを確認します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. Windowsタスクバーのハードウェアの取り外しまたは取り出しアイコンをダブルクリックします。 2. カードが一覧表示されていることを確認します。 <p>Dell製のPCカードによる問題が解決しない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。Dell製以外のPCカードによる問題の場合、カードの製造業者にお問い合わせください。</p>
<p>モデム、ファックス、およびインターネット接続の問題</p> <p> お使いのISP (Internet service provider) に接続し、ファックスを送受信できる場合、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に動作しているのにISPへの接続に問題がある場合、ISPのテクニカルサポート部門にお問い合わせください。</p>	<p>注意: モデムはアナログ回線にのみ接続してください。デジタルまたはPBX(私設構内交換機)回線などのアナログ以外の回線で使用する、モデムを損傷します。</p> <p>注意: モデムおよびネットワークコネクタを混同しないでください。また、ネットワークコネクタに電話回線を差し込まないでください。</p> <p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プッシュホンサービスを受けていることを確認します。 1. キャッチホンサービスを受けている場合、キャッチホンを無効にします。キャッチホンを一時的に無効にする方法については、電話サービス業者にお問い合わせください。 1. ボイスメールサービスを受けている場合、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音がすることがあります。通常のダイヤル音に戻す方法については、電話サービス業者にお問い合わせください。 1. この回線に留守番電話、ファックス専用機、または回線の分配器などその他の電話機器を取り付けている場合、それらを經由せずにモデムケーブルを直接壁にある電話コネクタに差し込みます。 1. ケーブルを接続し直します。 1. 別のケーブルを使用してみます。約3メートル以上の長さのケーブルを使用している場合、それより短いものを使用します。 1. ケーブルをモデムから切断して、直接電話に差し込みます。ダイヤル音を聞きます。 1. 回線に雑音があると、接続速度が低下します。問題がなかなか解決しない場合、モデムを別の電話コネクタに接続してみます。電話会社に連絡を取って、問題を伝えることもできます。 <p>Dell製のモデムによる問題が解決しない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。Dell製以外のモデムによる問題の場合、モデムの製造業者にお問い合わせください。</p>
<p>画面に何も表示されない場合</p> <p> XGA (Extended graphics array) 画面では、1024 x 768ピクセルをサポートし、SXGA+ (super extended graphics array plus) 画面では、1400 x 1050ピクセルをサポートしています。お使いのアプリケーションプログラムで高解像度を使用している場合、外付けVGA (video graphics array) モニタをコンピュータに接続する必要があります。</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画面に何も表示されない場合、コンピュータはスタンバイモードになっていることがあります。通常の動作状態に戻すには、電源ボタンを押します。 1. 画面に何も表示されず、 ライトが点灯している場合、画面がタイムアウトしていることがあります。この場合、通常の動作状態に戻すには、キーボード上のいずれかのキーを押すかマウスを動かします。 1.  ライトが点滅している場合、ACアダプタをコンピュータに接続するかバッテリーを交換します。 1. 輝度を調整します。 1. コンピュータに外付けモニタが取り付けられている場合、<Fn> + <F8>キーを押して画像を画面に切り換えます。 <p>コンピュータが通電しているのに画面に何も(ライト、テキスト、またはグラフィック)表示されないか、または思うように画像が表示されない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータが動作している場合、内蔵キーボードの任意のキーを押してください。画面が完全に読み取れますか？ <p>はい。 コンピュータはスタンバイモードでした。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。 手順2に進みます。</p> 2. 外付けモニタをコンピュータに接続していますか？ <p>はい。 手順3に進みます。</p> <p>いいえ。 手順4に進みます。</p> 3. <Fn> + <F8>キーの組み合わせを押します。画面が完全に読み取れますか？ <p>はい。 問題は解決しました。</p> <p>いいえ。 手順8に進みます。</p> 4. コンピュータおよびすべての取り付けられているデバイスの電源を切ります。すべてのデバイスをコンピュータから切断します。 5. ACアダプタがしっかりとコンピュータおよび電源コンセントに接続されていること、およびフル充電されたバッテリーがベイに正しく取り付けられていることを確認します。 6. コンピュータの電源を入れます。画面の電源は入りましたか？ <p>コンピュータがコンポーネントを初期化するのに、1分かかります。</p> <p>はい。 手順7に進みます。</p> <p>いいえ。 手順9に進みます。</p>

	<p>7. 輝度を調整します。画面が完全に読み取れますか？</p> <p>はい。手順8に進みます。</p> <p>いいえ。手順9に進みます。</p> <p>8. エラーメッセージが表示されましたか？</p> <p>はい。メッセージとその説明を探すには、「エラーメッセージの理解」を参照してください。メッセージが見つからない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。画面の問題があるにもかかわらず画面の一部が表示される場合、Dell診断プログラムのVideoデバイスグループを実行します。その後、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>9. コンピュータの電源を切り、外付けモニタをコンピュータに接続します。</p> <p>10. コンピュータおよびモニタの電源を入れ、モニタの輝度およびコントラストのコントロールを調整します。モニタは読み取れますか？</p> <p>はい。コンピュータの画面の不良による可能性があります。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。システム基板上のコンピュータのビデオコントローラが不良の可能性があります。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
--	---

<p>外付けモニタに何も表示されない場合</p> <p> POSTの実行中、コンピュータは、外付けモニタがコンピュータに接続されているかどうかをチェックします。</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> <Fn> + <F8>キーを押し、画像を画面から外付けモニタに切り換えます。 <p>外付けモニタに何も表示されない場合、コンピュータはスタンバイまたは休止状態になっていることがあります。通常の動作状態に戻すには、電源ボタンを押します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ビデオケーブルがコンピュータ背面にあるビデオコネクタにしっかりと接続されていること、およびモニタの電源ケーブルが通電している電源コンセントに差し込まれていることを確認します。 損傷または擦り切れているケーブルおよびコネクタのピンで曲がっているものが無いことをチェックします。ビデオケーブルコネクタの中には、ピンが欠落しているように見える状態が正常なものもあります。モニタのマニュアルを参照してください。 セットアップユーティリティのVideo Display Deviceの設定をチェックします。外付けモニタを使用するには、このオプションをCRT ModeまたはSimul Modeに設定する必要があります。 輝度およびコントラストの設定を調整します。 「Dell診断プログラム」の説明に従って、VESA/VGA Interface テストをおこないます。 コンピュータを再起動します。 <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータの電源を切り、時間をおいてからコンピュータの電源を入れ直します。モニタの輝度およびコントラストのコントロールを調整します。モニタは読み取れますか？ <p>コンピュータがコンポーネントを初期化するのに、1分かかります。</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順2に進みます。 <ol style="list-style-type: none"> 画面の輝度を調整します。画面が完全に読み取れますか？ <p>はい。外付けモニタが原因である可能性があります。手順3に進みます。</p> <p>いいえ。システム基板上のコンピュータのビデオコントローラが不良である可能性があります。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。 <ol style="list-style-type: none"> コンピュータおよびすべての取り付けられているデバイスの電源を切ります。すべてのデバイスをコンピュータから切断します。別の外付けモニタをコンピュータに接続します。 <p>別の外付けモニタがない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。 <ol style="list-style-type: none"> コンピュータを再起動して、モニタの輝度およびコントラストを調整します。コンピュータがコンポーネントを初期化するのに、1分かかります。 <p>モニタは読み取れますか？</p> <p>はい。元のモニタの不良によるものです。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> </p></p></p>
---	--

<p>TVに何も表示されない場合</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 起こりうる干渉を解消します。近くのファン、蛍光灯、またはハロゲンランプのスイッチを切り、それらの機器からの干渉であるかどうかをチェックします。 TVがコンピュータのSビデオTV出力コネクタに接続されていて、TV画面に何も写らない場合、以下の接続および設定を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 適切なケーブルがTVのSビデオコネクタおよびコンピュータのTV出力コネクタに接続されていること。TVおよびデジタルオーディオを参照してください。 損傷または擦り切れているケーブルおよびコネクタのピンで曲がっているものが無いことをチェックします。 <p> メモ: TVにコンポジットビデオケーブルが付属していない場合は、お近くの電気店で購入できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> セットアップユーティリティのTelevision Type が、お住まいの国の正しいビデオ規格に設定されていること。 Television Portが、セットアップユーティリティでEnabled に設定されていること。 <p>TVタイプ設定のチェック</p> <p>Windows XPの場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 開いているすべてのファイルを保存して閉じ、開いているすべてのアプリケーションプログラムを終了させます。 コンピュータをシャットダウンします。 適切なビデオケーブルをコンピュータのSビデオTV出力コネクタに接続します。「TVおよびデジタルオーディオ」を参照してください。 TVの電源を入れます。 TV側のビデオ入力为正しく選択されていることを確認します。 コンピュータを再起動します。 スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックします。 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマをクリックします。 作業を選びます で、画面解像度を変更する をクリックします。 画面のプロパティウィンドウで、設定 タブをクリックし、画面の解像度 の設定を 800 × 600 ピクセルに調節します。 画面の色 のプルダウンメニューをクリックしてから、中 (16 bit) をクリックします。 OK をクリックします。 <p> メモ: TVをコンピュータに接続する方法についての詳細は、「TVおよびデジタルオーディオ」を参照してください。</p> <p>Windows 2000の場合</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての開いているファイルを保存して閉じ、すべての実行中のアプリケーションプログラムを終了します。 コンピュータをシャットダウンします。 適切なビデオケーブルをコンピュータのSビデオTV出力コネクタに接続します。「TVおよびデジタルオーディオ」を参照してください。 TVの電源を入れます。 TV側のビデオ入力为正しく選択されていることを確認します。 コンピュータを再起動します。 スタート ボタンをクリックして 設定 をポイントし、コントロールパネル をダブルクリックします。 画面 アイコンをダブルクリックします。 設定 タブをクリックします。 詳細 ボタンをクリックします。 テレビ ボタンをクリックします。 TVタイプをNTSC (アメリカ)またはPAL(ヨーロッパ)に設定します。 <p> メモ: TVをコンピュータに接続する方法についての詳細は、「TVおよびデジタルオーディオ」を参照してください。</p>
<p>サウンドおよびスピーカーの問題</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 外付けスピーカーを使用している場合: <ul style="list-style-type: none"> スピーカーケーブルの接続を確認します。 電源コンセントをテストします。スピーカーが通電している電源コンセントに接続されていることを確認します。スピーカーの電源が入っていることを確認します。 起こりうる干渉を解消します。近くのファン、蛍光灯、またはハロゲンランプのスイッチを切り、それらの機器からの干渉であるかどうかをチェックします。 ボリュームを調節します。 お使いのオペレーティングシステム用のオーディオドライバを再インストールします。 高性能のS/PDIFデバイスを使用する場合、適切なケーブルをコンピュータのSビデオ TV出力コネクタに接続することを確認してください。TVおよびデジタルオーディオを参照してください。 <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Drivers and Utilities CDをCDドライブに挿入し、コンピュータを再起動してDell診断プログラムのMisc.

	<p>PCI Devicesデバイスグループを実行します。Misc. PCI Devicesデバイスグループは、オーディオコントローラの機能をチェックします。</p> <p>2. テストは正常に完了しましたか？</p> <p>はい。 コントローラは正常に機能しています。問題が解決しない場合、テクニカルサポートについてDellにお問い合わせください。</p> <p>いいえ。 Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>DualPointデバイス、タッチパッド、またはマウスの問題</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> マウスを使用している場合、コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。マウスの延長ケーブルを使用すると、問題を引き起こすことがあります。 タッチパッドまたはマウスを使用している場合、「Dell診断プログラム」の説明に従ってPointing Devicesテストを実行します。 セットアップユーティリティのPointing Devicesオプションに正しいデバイスが一覧表示されていることを確認します。USBマウスの場合、設定を変更する必要はありません。コンピュータは、自動的にUSBマウスを認識します。 お使いのオペレーティングシステム用のタッチパッドドライバを再インストールします。 <p> メモ:お使いのオペレーティングシステムの項を必ず参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータを再起動します。 <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> Drivers and Utilities CDをCDドライブに挿入し、コンピュータを再起動してDell診断プログラムのPointing DevicesデバイスグループにあるMouseテストを実行します。Mouseテストは、マウスコントローラ(画面にあるポインタを動かす機能に影響する)の機能およびタッチパッドボタンの動作をチェックします。 テストは正常に完了しましたか？ <p>はい。 コントローラは正常に機能しています。問題が解決しない場合、Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。 Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>、およびライトが点灯しない場合</p>	<ol style="list-style-type: none"> <Num Lock>、<Caps Lock>、および<Scroll Lock>キーを押します。 ライトが点灯しない場合、Dell診断プログラムのPC-AT Compatible Keyboardsテストを実行します。
<p>外付けキーボードが動作しない</p> <p> 外付けキーボードを接続した場合、内蔵キーボードはそのまますべての機能を使用できます。POSTの実行中、コンピュータは、外付けキーボードが接続されているかどうかを確認します。接続されている場合、コンピュータは内蔵キーボードおよび外付けキーボードの両方を認識します。</p> <p>内蔵キーボードを使用する場合:</p> <ol style="list-style-type: none"> MS-DOSモードで動作している場合 Dell診断プログラムが実行されている場合 セットアップユーティリティを使用している場合 	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> キーボードケーブルをコンピュータから外し、ケーブルコネクタのピンが曲がっていたり破損していないかどうかチェックします。損傷または擦り切れているケーブルを確認します。 干渉をチェックします。キーボードの延長ケーブルを使用すると、問題を引き起こすことがあります。 「Dell診断プログラム」の説明に従って、PC-AT Compatible Keyboardsのテストをおこないます。 コンピュータを再起動します。 <p>基本チェックを終えても問題が解決しない場合、以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータの電源を切ってからキーボードケーブルを取り外し、曲がっていたり破損しているピンがないかどうかチェックします。 <p>はい。 曲がっているピンを元に戻すことができる場合、それらを直して手順2に進みます。元に戻らないか破損している場合は、新しいキーボードが必要です。</p> <p>いいえ。 手順2に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> キーボードをコンピュータに再び接続します。 外付けキーボードからのケーブルがコンピュータ背面のキーボード/マウスコネクタにしっかりと接続されていることを確認します。 コンピュータの電源を入れます。 さまざまなスイッチ設定を構成できるキーボードを使用している場合、スイッチは、PS/2、Enhanced XT/AT、またはPC/ATに設定されていることを確認します。 <p>通常、スイッチ設定は、キーボードの下部にあります。パネルタブの後ろにある場合もあります。詳細は、キーボードに付属のマニュアルを参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータの電源を切り、1分間待ってからコンピュータの電源を入れ直します。起動中、外付けキーボードのNum Lock、Caps Lock、およびScroll Lockのライトはすぐに点滅しましたか？ <p>はい。 手順7に進みます。</p> <p>いいえ。 キーボードの不良による可能性があります。手順10に進みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> コンピュータは外付けキーボードを認識していますか？ <p>外付けキーボードを使用して、任意の文字を入力します。画面に表示されますか？</p>

はい。問題は解決しました。

いいえ。手順8に進みます。

8. コンピュータの電源を切り、外付けキーボードをコンピュータから外します。
9. コンピュータの電源を入れます。コンピュータは内蔵キーボードを認識していますか？

コンピュータがコンポーネントを初期化するのに、1分間かかります。次にコンピュータの内蔵キーボードを使用して任意の文字を入力します。画面に文字が表示されますか？

はい。外付けキーボードが原因である可能性があります。「[Dell診断プログラム](#)」のPC-AT Compatible Keyboardsデバイスグループを実行します。診断プログラムの実行後も問題が解決されない場合、[Dellへお問い合わせ](#)の上、テクニカルサポートを受けてください。

いいえ。手順10に進みます。

10. [Dellへお問い合わせ](#)の上、テクニカルサポートを受けてください。

シリアルポートまたはパラレルポートに接続されているデバイスが動作しない場合



プリンタに問題がある場合、「[パラレルポートプリンタが動作しない場合](#)」を参照してください。

ポートに問題があるというシステムのエラーメッセージが表示される場合、またはポートに接続されている装置が正常に動作しないかまったく動作していないように見える場合、問題の原因には以下の場合が考えられます。

- 1 I/Oポートとデバイス間の接続不良
- 1 セットアップユーティリティの設定が正しくない
- 1 オペレーティングシステムの構成ファイルの設定が正しくない
- 1 I/Oポートとデバイス間のケーブルの不良
- 1 デバイスの不良
- 1 システム基板上のI/Oポートロジックの不良
- 1 Comポート設定のコンフリクト
- 1 ドライバの欠如

すべてのデバイスに共通する基本チェック:

- 1 デバイスのケーブルがコンピュータの各コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
- 1 電源コンセントをテストします。デバイスが通電している電源コンセントに接続されていることを確認します。デバイスの電源が入っていることを確認します。

シリアルデバイスの基本チェック:

- 1 すべての実行中のアプリケーションプログラムを終了し、コンピュータおよびシリアルデバイスの電源を切ります。
- 2 デバイスのケーブルを動作確認のとれているケーブルと交換します。
- 3 コンピュータおよびシリアルデバイスの電源を入れます。

問題は解決しましたか？

はい。新しいデバイスケーブルが必要です。[Dellへお問い合わせ](#)の上、テクニカルサポートを受けてください。

いいえ。手順4に進みます。

4. コンピュータおよびシリアルデバイスの電源を切り、デバイスをそれに相当する使用可能なデバイスと交換します。

たとえば、シリアルマウスに問題がある場合、それを動作確認のとれているシリアルマウスと交換します。

5. コンピュータおよびシリアルデバイスの電源を入れます。

問題は解決しましたか？

はい。新しいデバイスが必要です。[Dellへお問い合わせ](#)の上、テクニカルサポートを受けてください。

いいえ。[Dellへお問い合わせ](#)の上、テクニカルサポートを受けてください。

コンピュータのシリアルポートまたはパラレルポートのチェック:

以下の手順に従って[診断チェックリスト](#)を埋めてください。

1. [セットアップユーティリティ](#)のSerial PortおよびParallel Modeオプションの設定を確認します。

コンピュータに接続されているデバイスの通信ポートのオプションは、正しく設定されていますか？

はい。手順3に進みます。

いいえ。手順2に進みます。

2. Serial PortおよびParallel Modeオプションを適切な設定に変更して、システムを再起動します。


問題は解決しましたか？

はい。問題は解決しました。

いいえ。手順3に進みます。

3. 初期化およびスタートアップファイルの内容をチェックします。(「[ソフトウェアによる解決](#)」を参照してください)

ポート設定コマンドは正しいですか？

	<p>はい。手順5に進みます。</p> <p>いいえ。手順4に進みます。</p> <p>4. スタートアップファイルの必要な文を変更します。</p> <p>ポートの問題が特定のアプリケーションプログラムに限られている場合、特定のポート設定条件についてアプリケーションプログラムのマニュアルを参照してください。</p> <p>問題は解決しましたか？</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。手順5に進みます。</p> <p>5. Drivers and Utilities CDをCDドライブに挿入してコンピュータを再起動し、Dell診断プログラムのSerial PortsデバイスグループおよびParallel Portsデバイスグループ、またはそのいずれかを実行します。</p> <p>Serial PortsデバイスグループおよびParallel Portsデバイスグループは、システム基板のI/Oポートロジックの基本機能をチェックします。また、パラレルプリンタがパラレルポートに接続されている場合、Parallel Portsデバイスグループは、システム基板のI/Oポートロジックとプリンタ間の通信リンクをテストします。</p> <p>テストは正常に完了しましたか？</p> <p>はい。問題はシリアルデバイスによるものです。シリアルデバイスの基本チェックをおこなってください。基本チェックの終了後も問題が解決しない場合は、Dellにお問い合わせください。</p> <p>いいえ。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>パラレルポートプリンタが動作しない場合</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 プリンタケーブルの接続を確認します。プリンタケーブルがコンピュータに正しく接続されていることを確認します。 1 電源コンセントをテストします。プリンタが通電している電源コンセントに接続されていることを確認します。プリンタの電源が入っていることを確認します。 <p>以下の手順に従って診断チェックリストを埋めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタおよびコンピュータの電源を切ります。 2. プリンタのケーブルを動作確認のとれているケーブルと交換します。 3. プリンタおよびコンピュータの電源を入れます。 4. 印刷してみます。 <p>印刷は正常に完了しましたか？</p> <p>はい。新しいプリンタケーブルが必要です。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p> <p>いいえ。手順5に進みます。</p> <p>5. プリンタの自己診断を実行します。</p> <p>自己診断は正常に完了しましたか？</p> <p>はい。手順6に進みます。</p> <p>いいえ。プリンタの不良によるものです。Dellからプリンタを購入した場合、テクニカルサポートについてDellにお問い合わせください。プリンタをDell以外で購入した場合、修理については製造業者が認可しているサービスセンターのいずれかへお持ちください。</p> <p>6. もう一度、印刷してみます。</p> <p>印刷は正常に完了しましたか？</p> <p>はい。問題は解決しました。</p> <p>いいえ。Dellへお問い合わせの上、テクニカルサポートを受けてください。</p>
<p>ソフトウェアによる解決</p> <p> 通常、ソフトウェアには、付属のマニュアルにインストール手順が記され、ソフトウェアセットアッププログラム(通常setup.exeまたはinstall.exeと呼ばれる)の入ったフロッピーディスクまたはCD</p>	<p>基本チェック:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アプリケーションプログラムを正しくインストールおよび設定したことを確認します。必要な場合、プログラムを再インストールします。 1 プログラムのドライバがアプリケーションプログラムのいずれかとコンフリクトしていないことを確認します。 1 「Dell診断プログラム」の説明に従ってSystem Board Devicesテストを実行し、問題がソフトウェアに関連

が付いています。

アプリケーションプログラム、オペレーティングシステムまたはコンピュータによってエラーメッセージが表示されることがあります。「[エラーメッセージの理解](#)」では、コンピュータから出されるエラーメッセージについて説明しています。一覧にないエラーメッセージが表示された場合は、オペレーティングシステムまたはアプリケーションプログラムのマニュアルを調べてください。

することを確認します。デバイスグループのすべてのテストが正常に実行された場合、エラーの状態はソフトウェアに関連する問題であることがあります。

- 1 特定のアプリケーションプログラムのトラブルシューティングの詳細は、ソフトウェアのマニュアルを参照するか、ソフトウェア製造業者にお問い合わせください。

ソフトウェアをインストールする前に:

- 1 アプリケーションプログラムがコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性のあること、およびお使いのコンピュータがソフトウェアを実行するためのハードウェア要件を最小限に満たしていることを確認します。
- 1 ウイルススキャンアプリケーションプログラムを使用して、フロッピーディスクまたはCDのウイルスをチェックします。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

仕様: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [プロセッサ](#)
- [ACアダプタ](#)
- [PCカード](#)
- [サイズと重量](#)
- [メモリ](#)
- [環境\(コンピュータ\)](#)
- [コネクタ](#)
- [タッチパッド](#)
- [オーディオ](#)
- [トラックスティック](#)
- [ビデオ](#)
- [モデム](#)
- [ディスプレイ](#)
- [サポートされているCD/DVDのフォーマット](#)
- [キーボード](#)
- [固定オプティカルドライブ](#)
- [バッテリー](#)

プロセッサ

マイクロプロセッサ	Intel® Mobile Pentium® III マイクロプロセッサ
システムチップセット	Intel 815EP
L2 キャッシュ	512 KB
拡張バス	133 MHz Front Side Bus
マイクロプロセッサのデータバス幅	64 ビット
DRAMバス幅	64 ビット
アドレスバス幅	32 ビット
フラッシュEPROM	4 Mb
AGPバス	133 MHz
PCIバス	33 MHz

PCカード

CardBus コントローラ	Texas Instruments PCI 4450/4451 CardBusコントローラ
PCカードコネクタ	2(タイプIIのカードの場合) 1(タイプIIIのカードで下側のコネクタでのみ使用可能)
サポートされているカード	3.3 Vおよび5 Vで次のタイプのカード <ul style="list-style-type: none">1 タイプIIおよびタイプIIIのPCカード(メモリカードを含む)1 ATAカード(IDEハードドライブをエミュレートするもの)1 I/Oカード(モデムカード、LANカード、無線LANカード、SCSIカードなど)
PCカードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅(最大):	
PCMCIA	16 ビット
CardBus	32 ビット

メモリ

アーキテクチャ	PC133 SDRAM
メモリモジュールソケット	2(ユーザーがアクセス可能なSODIMMソケット)

メモリモジュールの容量およびタイプ	64、128および256 MB 3.3 V SDRAM SODIMMS
標準搭載RAM	64MB メモリモジュール
最大RAM	512 MB
メモリクロックスピード	133 MHz
メモリアクセスタイム	CL2 (メモ: CASの待ち時間が2クロックの場合はCL2)

コネクタ

シリアル(DTE)	16,550互換、16バイトバッファコネクタ
パラレル	片方向(標準AT)、双方向、またはECPコネクタ
ビデオ	VGAコネクタ
PS/2	ミニDIN コネクタ
赤外線ポート	IrDA Standard 1.1(Fast IR)およびIrDA Standard 1.0(Slow IR) 互換ポート
オーディオ	ステレオライン入力ミニジャック マイク入力ミニジャック ヘッドフォン/スピーカー(出力)ミニジャック
USB	2つのUSB準拠コネクタ
ドッキング	Dellドッキングデバイス用コネクタ
Sビデオ TV出力	Sビデオ用7ピンミニDIN コネクタ(アダプタケーブルは、コンポジットビデオおよびS/PDIFを提供しています。)
ミニPCI	タイプIIIミニPCIカードスロット
モデム	出荷時設定可能ミニPCIモデム用RJ11ポート(オプション)
モデム/Ethernet LAN	出荷時設定可能RJ11/RJ45ミニPCIモデム/NIC両用ポート(オプション)
IEEE 1394	4ピンシリアルコネクタ

オーディオ

オーディオタイプ	Sound Blaster (ソフトウェアエミュレーション可)
オーディオコントローラ	ESS Maesrto 3i
ステレオ変換	16ビット(アナログ \leftrightarrow デジタル)
インタフェース:	
内部	PCIバス/AC97
外部	ステレオライン入力ミニジャック マイク入力ミニジャック ヘッドフォン/スピーカー(ライン出力)ミニジャック
スピーカー	8 Ω スピーカー \times 2
内蔵スピーカーアンプ	1.5 W(最大)チャンネル(8 Ω ステレオ \times 2)
コントロール	ボリュームは、キーの組み合わせ、ソフトウェアアプリケーションのメニューによって調節可能。

ビデオ

ビデオタイプ	128ビットハードウェアアクセラレートビデオサポート
データバス	AGP \times 4
ビデオコントローラ	NVIDIA GeForce2 Go™
ビデオメモリ	16 MB(標準) 32 MB(最大)

ディスプレイの解像度、表示色数およびリフレッシュレート

		外付けモニタに有効なリフレッシュ	セカンドディスプレイとして使用するテ
--	--	------------------	--------------------

解像度	表示色数	ユレート	レピに有効なリフレッシュレート
640 x 480 (VGA)	256 (8ビット)	60, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
640 x 480 (VGA)	65 K (16ビット)	60, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
640 x 480 (VGA)	4.2 B (32ビット)	60, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
800 x 600 (SVGA)	256 (8ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
800 x 600 (SVGA)	65 K (16ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
800 x 600 (SVGA)	4.2 B (32ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1024 x 768 (XGA)	256 (8ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1024 x 768 (XGA)	65 K (16ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1024 x 768 (XGA)	4.2 B (32ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1280 x 1024 (SXGA)	256 (8ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1280 x 1024 (SXGA)	65 K (16ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1280 x 1024 (SXGA)	4.2 B (32ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1400 x 1050 (SXGA+)	256 (8ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1400 x 1050 (SXGA+)	65 K (16ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1400 x 1050 (SXGA+)	4.2 B (32ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1600 x 1200 (UXGA)	256 (8ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1600 x 1200 (UXGA)	65 K (16ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL
1600 x 1200 (UXGA)	4.2 B (32ビット)	60, 70, 72, 75, 85 Hz	60 Hz NTSC, 50 Hz PAL

メモ: ディスプレイの表示色数は、8ビットで256色、16ビットで65,536色、32ビットで4,294,967,296色です。

DVDと3Dが装備されていない場合のディスプレイの解像度と表示色数

プライマリ	表示色数のセカンダリ/最大値(ビット)					
	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 1024	1400 x 1050	1600 x 1200
640 x 480 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
800 x 600 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
1024 x 768 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
1280 x 1024 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
1400 x 1050 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
1600 x 1200 (8ビット)	32	32	32	32	32	32
640 x 480 (16ビット)	32	32	32	32	32	32
800 x 600 (16ビット)	32	32	32	32	32	32
1024 x 768 (16ビット)	32	32	32	32	32	32
1280 x 1024 (16ビット)	32	32	32	32	32	32
1400 x 1050 (16ビット)	32	32	32	32	32	32
1600 x 1200 (16ビット)	32	32	32	32	32	32

640 x 480 (32ビット)	32	32	32	32	32	32
800 x 600 (32ビット)	32	32	32	32	32	32
1024 x 768 (32ビット)	32	32	32	32	32	32
1280 x 1024 (32ビット)	32	32	32	32	32	32
1400 x 1050 (32ビット)	32	32	32	32	32	32
1600 x 1200 (32ビット)	32	32	32	32	32	16

ディスプレイ

タイプ	SXGA+ アクティブマトリクスカラー(TFT) UXGA アクティブマトリクスカラー(TFT)
サイズ(表示領域):15インチ	
高さ	228.1 mm
幅	304.1 mm
対角線	380.1 mm
サイズ(表示領域):14.1インチ	
高さ	214.3 mm
幅	285.7 mm
対角線	357.1 mm
最大解像度/表示色	1400 x 1050ピクセル、32ビットカラー(SXGA+) 1600 x 1200ピクセル、32ビットカラー(UXGA)
応答時間(基準)	50ミリ秒(立ち上がり);20ミリ秒、立ち下がり:30ミリ秒)
リフレッシュレート	60 Hz
作動角度	0度(閉じた状態) ~ 180度
作動角度:	
水平方向	±40度
垂直方向	+15度/−30度
ドットピッチ	0.19 mm (15インチ UXGA) 0.20 mm (14.1インチ SXGA+); 0.22 mm (15.0インチ SXGA+)
消費電力:	
パネル(標準)	1.3 W
バックライト	バッテリー使用時 3.4 W、ACアダプタ使用時 4.9 W
コントロール	輝度はキーの組み合わせによって調節可能

キーボード

キー数	87(アメリカ、カナダ、韓国、タイ、中国語キーボード) 88(欧文キーボード) 90(日本語キーボード)
-----	--

キーストローク	2.7 mm + 0.3 mm/ -0.4 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm

バッテリー

タイプ	8穴 リチウムイオン(モジュラーベイにバッテリーを取り付けることで、デュアルバッテリーの利用が可能)
寸法:	
高さ	21.5 mm
奥行き	88.5 mm
幅	139.0 mm
重量	8穴: 0.39 kg
電圧	14.8 VDC
容量	8穴: 59.0 WH
充電時間(概算) ¹ :	
コンピュータ電源オン	2.5時間
コンピュータ電源オフ	1時間
耐久期間(概算)	8穴標準バッテリーでは2~4時間
寿命(概算) ¹	400サイクル(充電/放電)
温度範囲:	
充電	0°C~45°C
保管時	-20°C~60°C

¹ 充電時間、耐久期間などのバッテリー性能は、コンピュータとバッテリーが使用される条件によって異なります。

ACアダプタ

入力電圧	90~135 VACおよび164~264 VAC
入力電流(最大)	1.5 A
入力周波数	47~63 Hz
出力電流	4.5 A(4秒パルスのとき最大); 3.5A(継続)
定格出力電圧	20.0 VDC
高さ	27.94 mm
幅	58.42 mm
奥行き	133.35 mm
重量(ケーブル含む)	0.4 kg
温度範囲:	
動作時	0°C~40°C
保管時	-40°C~65°C

サイズと重量

15.1 インチディスプレイのコンピュータ:

高さ	44.5 mm
幅	331.0 mm
奥行き	276.0 mm
重量 ²	3.28 kg (モジュラーベイにトラベルモジュールを取り付けた場合) 3.48 kg (モジュラーベイに標準フロッピードライブを取り付けた場合)

14.1 インチディスプレイのコンピュータ:

高さ	44.0 mm
幅	326.1 mm
奥行き	276.0 mm
重量 ²	2.98 kg (モジュラーベイにトラベルモジュールを取り付けた場合) 3.18 kg (モジュラーベイに標準フロッピードライブを取り付けた場合)

² 重量はコンピュータの構成により異なります。

環境 (コンピュータ)

耐久温度範囲:

動作時	0°C~35°C
保管時	-40°C~65°C

耐久湿度 (最大):

動作時	10%~90% (結露なきこと)
保管時	5%~95% (結露なきこと); 65°Cで20%

最大耐久振動:

動作時	ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使った場合は0.9 GRMS
保管時	航空・トラック輸送をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使った場合は1.3 GRMS

最大耐久衝撃³:

動作時	152.4 cm/秒 (パルス幅 2 ms以下)
保管時	203.2 cm/秒 (パルス幅 2 ms以下)

耐久高度 (最大):

動作時	-15.2~3048 m
保管時	-15.2~10,668 m

³ ハードディスクドライブをヘッド停止位置で測定した数値です。

タッチパッド

インターフェース	PS/2互換
X/Y位置解像度 (グラフィックステーブルモード)	240cpi

サイズ:

厚さ	2mm(最大突起部)
幅(センサー感知領域)	64.88mm
高さ	48.88 mmの長方形
重量	6.5g

電源:

入力電圧	5 V ± .5VDC
出力電流	25 mA(トラックスティックとタッチパッドの最大稼働時)

ESD IEC-801-2(前部表面)

トラックスティック

インタフェース	PS/2互換
X/Y位置解像度	250 カウント/sec.@100gf
サイズ:	キーボードより0.5 mm 高い

電源:

入力電圧	5 V ±.5 VDC
出力電流	25 mA (トラックスティックとタッチパッドの最大稼働時)

ESD IEC-801-2(前部表面)

モデム

データ/ファックスモデム 3Com[®]56K、V.90ミニPCIモデム556B(オプション)詳細は、モデムの[オンラインマニュアル](#)を参照してください。

データ/ファックスおよびNIC両用モデム 3Com 10/100 LAN + 56K、V.90ミニPCIモデム(オプション)詳細は、モデムの[オンラインマニュアル](#)を参照してください。

サポートされているCD/DVDのフォーマット

- 1 CD-ROM redブックオーディオディスク(CD-DA)
 - 1 CD-ROM yellowブックモード1およびモード2データディスク
 - 1 CD-ROM XA (モード2フォーム1およびフォーム2、ADPCMなし)
 - 1 CD-I (モード2フォーム1およびフォーム2)
 - 1 CD-I Ready
 - 1 CDブリッジ
 - 1 フォトCD、CD-R(シングルおよびマルチセッション)
 - 1 ビデオCD
 - 1 CD-RW(このタイプのディスクに書き込みができるのはCD-RWドライブのみです。CD-ROM や DVDドライブはCD-RWの読み込みはできますが、書き込みはできません。)
 - 1 DVD-5 (DVDドライブはDVD-5フォーマットをサポートしています)
-

固定光学ドライブ

サポートされているドライブ

12.5 mm ドライブ:

- | CD
- | CD-RW
- | DVD

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

ノートブックコンピュータを携帯するときは：Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [コンピュータの所有者の証明](#)
- [航空機の利用](#)
- [コンピュータの梱包](#)
- [コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合](#)
- [携帯中のヒントとアドバイス](#)

コンピュータの所有者の証明

- 1 名札または名刺をコンピュータに付けるか、または油性マジックやステンシルなどの消えない筆記具で免許証番号など所有者であることを識別できる固有の印をコンピュータに記入します。紛失または盗難に遭ったコンピュータが見つかった場合、こうした印でコンピュータの所有者であることが証明できます。
- 1 サービスタグ番号をメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合は、警察等の公的機関およびDellに報告する際に、このサービスタグ番号を知らせてください。
- 1 Microsoft® Windows® メモ帳などのテキストエディタを使用して、WindowsデスクトップにPCの所有者というファイルを作成します。名前、住所および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- 1 クレジットカード会社に問い合わせ、IDタグコードを発行しているかどうかを確認します。IDタグコードがあれば、名前、住所または電話番号を公にすることなく見つかったコンピュータを返してもらうことができます。

コンピュータの梱包

- 1 コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。PCカードに接続されているすべてのケーブルを外します(PCカード自体を取り外す必要はありません)。
- 1 コンピュータをできるだけ軽くするには、すべてのドライブモジュールをモジュラーベイから取り外してトラベルモジュールを取り付けます。
- 1 バッテリーの駆動時間を最大にするには、メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- 1 コンピュータの電源を切るか[休止状態モード](#)にします。
- 1 ACアダプタを取り外します。

注意：ディスプレイを閉じる際に、キーボード上に物が残っているとディスプレイを傷つけることがあります。

- 1 ペーパークリップ、ペンおよび紙などの物をキーボード上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- 1 オプションのDell製キャリングケースをご利用ください。
- 1 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロソ、香水、食べ物などといっしょにしないでください。
- 1 コンピュータ、バッテリーおよびハードドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- 1 コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

注意：コンピュータを荷物として預けないでください。

携帯中のヒントとアドバイス

注意：コンピュータが振動している状態では、CD、DVD、またはCD-RWDドライブを使用しないでください。コンピュータが振動している状態で使用すると、CD、DVD、またはCD-RWDドライブとハードドライブやフロッピードライブ間でデータの流が中断されることがあります。

- 1 コンピュータの使用可能時間を最大にするために[電源管理機能](#)の設定を変更します。
- 1 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用权を証明する書類(会社所有のコンピュータの場合)が必要な場合があります。コンピュータが勤務先から提供された物の場合は、使用权を証明する書類を持参します。多数の外国に渡航する場合は、訪問予定国の通関規則を調べた上で自国政府から国際通行許可証を取得するようお勧めします。
- 1 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。
- 1 クレジットカードをお持ちの場合は、ノートブックコンピュータ携帯中におこった緊急時のサポートなどについてクレジットカード会社にお問い合わせください。クレジットカード会社の多くは、連絡先所在地の入った3.5インチディスクやモデム接続用の直通ダイヤル電話回線など、困ったときに便利なサービスを提供しています。

航空機の利用


- 1 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、ACアダプタと電源ケーブルを携帯してください。

注意：コンピュータを金属探知機に絶対に通さないでください。

- 1 空港でコンピュータのチェックを受ける場合には、担当者に必ず手で扱うように伝えてください。コンピュータを金属探知器に通すと、データが失われることがあります。どうしても金属探知機に通さなくてはならない場合は、その前にハードドライブを取り外します。
- 1 機内でコンピュータを使う場合は、使用が許可されているかどうかを機内雑誌などで事前にチェックするか、乗務員にお尋ねください。航空会社によっては飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

コンピュータを紛失したり、盗難に遭った場合

- 1 警察等の公的機関に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータについて説明する際に、サービスタグ番号を知らせてください。届け出番号を確認し、メモしておきます。また、その機関の名称、住所、電話番号も書き記しておいてください。できれば、対応した担当者のお名前も尋ねておきます。

 **メモ：コンピュータを紛失または盗難した場所を覚えている場合、その場所の公的機関に届け出ます。覚えていない場合は、現在お住まいの地域の機関に届け出てください。**

- 1 企業が所有するコンピュータの場合は社内の警備室にお知らせください。
- 1 Dellのテクニカルサポートに連絡して、紛失または盗難を知らせてください。コンピュータのサービスタグ番号と届け出番号、届け出た機関の名称、所在地、および電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もご連絡ください。

Dellのサポートスタッフがコンピュータのサービスタグ番号と連絡内容を記録し、紛失または盗難コンピュータとして登録します。別の人物が、登録サービスタグ番号のコンピュータに関してDellのテクニカルサポートに問い合わせをすれば、そのコンピュータは紛失または盗難品として認識されます。サポートスタッフがその人物の電話番号と住所を入手し、お客様が紛失または盗難の届け出をされた公的機関に連絡します。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

コンピュータの使い方: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [モジュラーベイ](#)
- [フロップドライブ](#)
- [CD、CD-RWまたはDVDドライブ](#)
- [内蔵ディスプレイ](#)
- [キーボードおよび内蔵テンキーパッドコントロール](#)
- [Dell AccessDirect™ キー](#)
- [スピーカーのコントロール](#)
- [カーソルのコントロール](#)
- [PCカード](#)

⚠ 警告: コンピュータを底面が体に直接触れる状態で長時間使用しないでください。長時間使用すると、底に熱が蓄積される可能性があります。肌に直接触れる状態で使用すると、不快に感じたりやけどをする恐れがあります。

モジュラーベイ

システムのモジュラーベイには[フロップドライブ](#)が取り付けられています。モジュラーベイに他のデバイスを使用するには、初めにフロップドライブを取り外します([コンピュータの電源が切れている状態でのデバイスの交換](#)あるいは[Microsoft® Windows®オペレーティングシステムが実行している状態でのデバイスの交換](#)を参照してください)。

注意: ドライブは壊れやすいため、コンピュータから取り出した後、傷つけないように注意して取り扱ってください。ドライブの上部を押したり重い物を置かないでください。ほこりや液体からドライブを守るため、トラベルケースに入れ安全な場所に保管してください。

モジュラーベイには次のモジュールをインストールできます。

- 1 [セカンドバッテリー](#)
- 1 フロップドライブ
- 1 CDドライブ
- 1 DVDドライブ
- 1 CD-RWドライブ
- 1 SuperDiskドライブ
- 1 Zipドライブ
- 1 セカンドハードドライブ

コンピュータをできるだけ軽量にするには、モジュラーベイにドライブの代わりにトラベルモジュールを取り付けます。

コンピュータの電源が切れている状態でのデバイスの交換

1. 開いているファイルをすべて保存して閉じ、開いているプログラムも終了して、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがアドバンスポートリプリケータ(APR)またはドッキングステーションにドッキングされている場合、ドッキングを解除します。
3. ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
4. ラッチリリースをスライドしたまま、デバイスをベイから取り出します。

注意: デバイスへの損傷を避けるため、コンピュータに挿入されていない間はトラベルケースにしまって置いてください。デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から押し付けたり重いものを載せたりしないでください。




注意:ドッキングする前にデバイスを挿入し、コンピュータの電源を入れます。

5. 新しいデバイスをベイに取り付けて、カチッと音がするまでデバイスを押し込みます。
6. コンピュータを裏返し、ディスプレイを開きます。
7. コンピュータの電源を入れます。

Microsoft Windows オペレーティングシステムが実行している状態でのデバイスの交換

注意:ドッキングコネクタへの損傷を避けるため、コンピュータにAPRまたはドッキングステーションが接続されている場合、デバイスを取り外したり取り付けたりしないでください。

Windows XPの場合


1. Windows タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。
2. 取り出したいデバイスをクリックします。
3. ディスプレイを開いたままコンピュータを後方へ傾けると、コンピュータの底面にアクセスできます。
4. ラッチリリースをスライドしたまま、デバイスをベイから引き出します。

注意:デバイスへの損傷を避けるため、コンピュータに挿入されていない間はトラベルケースにしまって置いてください。デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から押し付けたり重いものを載せたりしないでください。



6. 新しいデバイスをベイに取り付けて、カチッと音が聞こえるまでデバイスを押し込みます。
7. 必要があれば、パスワードを入力しコンピュータのロックを解除します。

Windows 2000の場合

1. Windowsタスクバーの  アイコンをダブルクリックします。
2. 取り外したいデバイスをクリックして、**停止**をクリックします。
3. OK をクリックし、**ハードウェアの取り外しまたは取り出し** ウィンドウのデバイスの一覧から取り出したいデバイスが消えるまで待ちます。
4. ディスプレイを開いたままコンピュータを後方へ傾けると、コンピュータの底面にアクセスできます。

5. ラッチリリースをスライドしたまま、デバイスをベイから引き出します。

注意: デバイスへの損傷を避けるため、コンピュータに挿入されていない間はトラベルケースにしまって置いてください。デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から押し付けたり重いものを載せたりしないでください。



6. 新しいデバイスをベイに取り付けて、カチッと音がするまでデバイスを押し込みます。
7. コンピュータを正常な位置にもどし、ディスプレイを開きます。
8. 電源ボタンを押して、スタンバイモードから復帰します。
9. 必要な場合、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。
10. Windowsが再開して新しいデバイスを検出したら、**閉じる**をクリックします。

フロッピードライブ

フロッピードライブを使用するには:

1. ドライブに3.5インチフロッピーディスクを挿入します(ラベルの付いた面を上にして金属タブのある側から挿入します)。
2. ドライブケースの外にイジェクトボタンが突出するまで、ドライブにフロッピーディスクを押し込みます。

注意: フロッピードライブにフロッピーディスクを入れたまま、持ち歩かないでください。イジェクトボタンやドライブが破損する場合があります。

フロッピーディスクをドライブから取り外すには:

1. イジェクトボタンを押して、フロッピーディスクから外します。
2. フロッピーディスクをドライブから引き出してください。

ドライブを取り外すあるいはモジュラーベイに他のデバイスを使用するには、[コンピュータの電源が切れている状態でのデバイスの交換](#)あるいは[コンピュータの電源が入っている状態でのデバイスの交換](#)を参照してください。

注意: ドライブは壊れやすいため、コンピュータから取り出した後、傷つけないように注意して取り扱ってください。ドライブの上部を押ししたり重い物を置かないでください。ほこりや液体からドライブを守るため、トラベルケースに入れ安全な場所に保管してください。

フロッピーディスクに関する注意

- 1. 破損しているフロッピーディスクは絶対に使用しないでください。
- 1. フロッピーディスクは磁気の近くに保管しないでください。

CD、CD-RWまたはDVDドライブ



お使いのコンピュータには、CD、CD-RW、またはDVDドライブが固定光学ドライブとして搭載されています。サポートされているCD、CD-RW、およびDVDのフォーマットについては、「仕様」を参照してください。

注意:ドライブを使用しているときは、コンピュータを動かさないでください。

注意:ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用してください。レンズには、絶対に触れないでください。

ディスクの再生

1. イジェクトボタンを押します。
2. トレイを引き出します。
3. ディスクをラベルのある面を上にしてトレイの中央に置きます。

注意: 正しくはまっていないと、ドライブまたはメディアが破損することがあります。

4. カチッと音がするまでディスクをスピンドルにしっかりとめ込みます。
5. トレイをドライブの元の位置まで押し込みます。

自動再生機能は、コンピュータの電源管理機能の妨げになります。Dellによりオペレーティングシステムがインストールされている場合、自動再生機能は無効になっています。オペレーティングシステムを再インストールした場合、またはご自分でインストールした場合は、ドライブを使用するときに自動再生機能が無効になっていることを確認してください。「省電力について」を参照してください。

挿入の自動通知オプションの変更手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。


ディスクに関する注意

- 1 破損したり反っているディスクは、絶対に使用しないでください。
- 1 ディスクは常に端を持ってください。ディスクの表面に触らないでください。
- 1 乾いているきれいな布を使用して、ほこり、汚れ、または指紋をディスクの表面から取り除きます。手入れをするときは、ディスクの中央から端に向かってふきます。
- 1 ディスクの手入れには、ベンゼン、レコードクリーナー、または静電気防止スプレーなどを絶対に使用しないでください。
- 1 ディスクの表面には何も書かないでください。
- 1 ディスクはケースに入れて保管し、涼しい湿気のない場所に置いてください。極端な高温や低温では、ディスクが破損することがあります。
- 1 ディスクを曲げたり、落としたりしないでください。
- 1 ディスクの上に物を置かないでください。

内蔵ディスプレイ

コンピュータをバッテリー電源で動作させている場合は、目が疲れにくい範囲で最も低い輝度に設定します。これを設定することによって、バッテリー電源を節電することができます。

輝度の調整

 **メモ:** [セットアップユーティリティ](#)の[External Hot Key]オプションを有効にした場合は、外付けキーボードで、次の表にある<Scroll Lock>と適切なキーの組み合わせを使用します。

キー	機能	キーの組み合わせ
----	----	----------



画面モードの操作

ビデオ画像を次の順番でディスプレイに切り換えるには、**Fn** **F8** を押します：コンピュータのディスプレイ、同時にディスプレイおよび外付けモニタ、外付けモニタ。

画面の解像度のカスタマイズ

Windows XPの場合

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3. **作業を選びます** で**画面解像度を変更する**をクリックするか、**コントロール パネルを選んで実行します** で **画面** をクリックします。
4. **画面の色** と**画面の解像度** の様々な設定を試みます。

Windows 2000の場合


1. **スタート**ボタンをクリックして**設定**をポイントし、**コントロールパネル**をダブルクリックします。
2. **画面**アイコンをダブルクリックし、次に**設定**タブをクリックします。
3. **色** と**画面の領域**の様々な設定を試みます。

詳細は、お使いのオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調整されます。

ビデオドライバと解像度


プリインストールされているビデオドライバをオペレーティングシステムで使用することによって、ディスプレイの解像度、表示色数をカスタマイズできます。ビデオ解像度に関する詳細については、「[仕様](#)」を参照してください。

 **メモ:**プリインストールされているビデオドライバは、ご使用のコンピュータの性能を最大限に活用するよう設計されています。プリインストールされたオペレーティングシステムには、これらのドライバを使うことをお勧めします。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータ画面は**パンモード**に入ります。パンモードは、画面が完全に表示されないことがあります。たとえば、通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。画面の見えない部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用して、上下左右に動かします。

注意:リフレッシュレートをサポートしていないモニタを使用すると、モニタに損傷を与える場合があります。外付けモニタのリフレッシュレートを調整する前に、モニタのマニュアルを参照してください。


コンピュータがサポートしていない解像度と色の組み合わせを選択した場合は、サポートしている中から近い値の組み合わせが自動的に選択されます。

 **メモ:**ディスプレイの表示色数は、8ビットで256色、16ビットで65,536色、32ビットで4,294,967,296色です。


キーボードおよび内蔵テンキーパッドコントロール

キーの組み合わせにより、次のことが可能となります。

1. [テンキーパッド](#)を使用する
1. [電源管理](#)モードを使用する
1. [ディスプレイ](#)の設定を調整する
1. [Dell AccessDirect](#)キーを調整する
1. [スピーカー](#)音量を調整する










 **メモ:** [セットアップユーティリティ](#)の[External Hot Key]オプションを有効にした場合は、外付けキーボードで、<Scroll Lock>と適切なキーを使用します。

テンキーパッド



テンキーパッドは、内蔵キーボードのいくつかのキーを共有しています。数字と記号文字はこれらのキーの右側に記されています。テンキーパッドを有効にすると、インジケータが点灯します。



テンキーパッドのキーの組み合わせ

機能	テンキーパッドがオフの場合
キーパッドをオンにします。	
一時的にテンキーパッドのカーソルコントロールキーを有効にします。	 <カーソルキー>
一時的にハイライト表示されたテキストを有効にします。	  <数字キー>
機能	テンキーパッドがオンの場合
キーパッドをオフにします。	
一時的にキーボードの小文字や小文字を使った機能を有効にします。	 <キー>
一時的にキーボードの大文字や大文字を使った機能を有効にします。	 
一時的にテンキーパッドのカーソルコントロールキーを有効にします。	 <カーソルキー>


省電力関連のキーの組み合わせ

電源オプションのプロパティを設定した場合、省電力のプロパティを有効にするには、 を押します。「[省電力について](#)」を参照してください。

Dell AccessDirect™ キー



Dell AccessDirectキーにより、Microsoft Internet Explorerなどの頻繁に使用するプログラムに素早くアクセスできます。

 **メモ:** お使いのコンピュータで外付けキーボードを使用すると、AccessDirectキーは無効になります。

AccessDirectキーの使い方、およびキーの割り当ての表示や変更についての詳細は、AccessDirectヘルプを参照してください。

1. 以下のいずれかの方法でDell AccessDirectプログラムを起動します。

- WindowsタスクバーのシステムトレイにあるAccessDirectアイコンをダブルクリックします(通常、画面の右下の端にあります)。
- Windows XPでは、**スタートボタン**をクリックし、次に**コントロールパネル**をクリックします。**作業する分野を選びます**で、**プリンタとその他のハードウェア**をクリックし、**キーボード**をクリックし、次にAccessDirect タブをクリックします。

Windows 2000では、**スタート ボタン**をクリックして **設定**をポイントし、**コントロールパネル** をダブルクリックします。**コントロールパネル** ウィンドウの**キーボード** アイコンをダブルクリックし、次にAccessDirect タブをクリックします。

- ヘルプ**をクリックします。

スピーカーのコントロール



メモ: [セットアップユーティリティ](#)の[External Hot Key]オプションを有効にした場合は、外付けキーボードで、<Scroll Lock> と適切なキーを使用します。

機能	キーの組み合わせ
ボリュームを1段階ずつ上げます。	Fn Page Up
ボリュームを1段階ずつ下げます。	Fn Page Dn
スピーカーの有効/無効を切り替えます。	Fn End

カーソルのコントロール

お使いのコンピュータには、Dell 独自のDell DualPoint内蔵ポインティングデバイスが装備されています。DualPoint内蔵ポインティングデバイスは、今までのマウスと同様の機能をする、タッチパッドとトラックスティックの2種類のカーソルポインティングデバイスをサポートしています。[タッチパッド](#)のみを使用することもできますし、[トラックスティック](#)のみを使用することもできます。また、同時に両方を使用することもできます。

DualPointデバイスソフトウェアを使って、タッチパッドとトラックスティックのどちらについても感度、動作、ドラッグアンドドロップ機能などを設定できます。

メモ: [セットアップユーティリティ](#)の[Pointing Device]オプションが[Touch Pad-PS/2 Mouse] (デフォルト)に設定されてある場合、デュアルポイントデバイスも[外付けマウス](#)も使用できます。

タッチパッドの使い方



タッチパッドのすぐ下にある2つのボタンが、標準マウスの左右のボタンにあたります。

- カーソルを動かすには、センサーエリア内で指を軽くすべらします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く叩くか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。

1. オブジェクトを選択して移動(あるいはドラッグ)するには、カーソルをオブジェクト上に動かし、タッチパッドを指で軽く一度叩き、二度目は指をタッチパッド上に留めます。そして、タッチパッドの表面でその指をすべらして、選択したオブジェクトを動かします。
1. オブジェクトをダブルクリックするには、カーソルをオブジェクト上に動かし、タッチパッドを2回軽く叩くか、左タッチパッドボタンを2回押します。

トラックスティックの使い方



キーボード上のタッチパッドとスペースバーの間にある2つのボタンは、標準マウスの左右のボタンにあたります。

1. カーソルを動かすには、人差し指で、トラックスティックを倒します。上下に倒すとカーソルが画面上で上下に動きます。左右に倒すと、カーソルが画面上で左右に動きます。
1. オブジェクトを選択するには、トラックスティックを軽く1回叩くか、親指で左のトラックスティックボタンを押します。
1. オブジェクトを選択して移動(あるいはドラッグ)するには、まず、カーソルをオブジェクト上に動かし、次に左トラックスティックボタンを押し、ボタンを押したまま、選択したオブジェクトを移動したい方向に、トラックスティックを倒します。
1. オブジェクトをダブルクリックするには、カーソルをオブジェクト上に動かし、左トラックスティックボタンあるいはトラックスティック自体を2回軽く叩きます。トラックスティックは、タッチパッドと機能が似ていて、ボタンがマウスボタンと同じ機能を持ち、トラックスティック自体がポインティングデバイスとして機能します。

DualPoint内蔵ポインティングデバイスのカスタマイズ

Windows XPの場合

1. **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **作業する分野を選びます** で、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3. **マウス** アイコンをクリックし、次に**マウスのプロパティ** ウィンドウの**タッチ** タブをクリックします。
4. ドロップダウンメニューで、タッチパッドまたはポインティングデバイス(トラックスティック)を選び、**適用** をクリックします。
5. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

タスクバーのタッチパッドアイコンを右クリックし、Touchpadの**プロパティ** をクリックして、**マウスのプロパティ** ウィンドウを開くことができます。

選択したタッチパッドまたはトラックスティックの設定を無効にするには、**このデバイスを無効にする** ボックスをクリックします。コンピュータにマウスがドッキングされている場合、タッチパッドおよびトラックスティックの設定は自動的に無効になります。

Windows 2000の場合

1. **スタート** ボタンをクリックし、**設定** を選び、**コントロールパネル** をダブルクリックします。
2. **マウス** アイコンをダブルクリックして、**マウスのプロパティ** ウィンドウの**タッチ** タブをクリックします。
3. ドロップダウンメニューで、タッチパッドまたはポインティングデバイス(トラックスティック)を選び、**適用** をクリックします。
4. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

タスクバーのタッチパッドアイコンを右クリックし、Touchpadの**プロパティ** をクリックして、**マウスのプロパティ** ウィンドウを開くことができます。

選択したタッチパッドまたはトラックスティックの設定を無効にするには、**このデバイスを無効にする** ボックスをクリックします。コンピュータにマウスがドッキングされている場合、タッチパッドおよびトラックスティックの設定は自動的に無効になります。

トラックスティックキャップの取り替え

お使いのコンピュータには、予備のトラックスティックキャップが付いています。トラックスティックキャップは長期の使用で磨耗した場合、取り替える必要があります。

1. トラックスティックからキャップを取り外します。



2. 新しいキャップを四角いトラックスティック軸に合わせ、ゆっくりと軸にかぶせます。
3. トラックスティックを動かして、キャップが完全に納まったか確認します。

PCカード

サポートしているPCカードに関する詳細は、「[仕様](#)」を参照してください。



メモ: PCカードは起動デバイスではありません。PCカードの「タイプ」とは厚さによる分類で、機能とは関係ありません。

コンピュータはほとんどのI/Oカードを認識し、自動的にカードに必要なデバイスドライバをロードします。

注意: 拡張PCカードは標準のPCカードを長くしたもので、コンピュータに取り付けて問題なく使用できます。拡張PCカードを使用する場合は、次の注意事項に従ってください。

- 1 取り付けた拡張カードのはみ出した部分に何もぶつからないよう確認します。もし、ぶつかるようなことがあるとシステム基板が破損する恐れがあります。
- 1 コンピュータをキャリーケースに入れる場合は、必ず拡張PCカードを取り外してください。
- 1 拡張カードは、2枚目のPCカードが入れられるように、上段のPCカードスロットに取り付けるようにしてください。

PCカードおよびダミーカードの取り外し

注意: タスクバーにあるPCカード構成ユーティリティを使用して、PCカードを選択して無効にした後、カードを取り外します。構成ユーティリティを使用してカードを無効にしないと、開いているプログラムのデータが失われることがあります。

1. タスクバーのPCカード構成ユーティリティを使用してPCカードを無効にします。
2. イジェクトボタンを押します。



メモ: 各イジェクトボタンに付いている小さな突起は、そのボタンがPCカードスロットの上下どちらのボタンかを示しています。



3. カードまたはダミーカードを静かに取り外します。

ダミーカードは、PCカードを取り付けない時に使用するために保管しておきます。ダミーカードは、PCカードスロットをほこりやその他の異物から保護します。

PCカードの取り付け

PCカードを取り付ける前に、コンピュータの電源を切ったり、サスペンドモードまたはスタンバイモードから復帰する必要はありません。

1. 必要であれば、PCカードスロットから[ダミーカードを取り外します](#)。
2. カードをスロットに挿入し、カードが完全に接続されるまでしっかりと押し込みます。
カードの向きがわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。



3. カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードが傾いていないかを確認して再度試してみてください。

PCカードの設定

PCカード設定ユーティリティには、次の機能があります。

- 1 PCカードが挿入されると、それを認識したことを知らせ、カードの設定を示します。
- 1 ハードドライブに使用可能なデバイスドライバを自動的にロードします。
- 1 ハードドライブに使用可能なドライバがない場合、ドライバをインストールするように促す指示が表示されます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

保証に関するご案内: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

● [製品の修理のために返送する場合\(引き取り対応機種のみ\)](#)

● [製品を修理以外の理由で返送する場合](#)

製品の修理のために返送する場合(引き取り対応機種のみ)

Dellのテクニカルサポート担当者は、ご使用のコンピュータに関する問題の解決にあたりますが、修理が必要と判断された場合は修理のためにシステムやその備品を返送していただくことがあります。

テクニカルサポートにお電話ください。システムを引き取りに伺う日程、システム梱包用の箱の有無、引き取る場所、連絡先を確認させていただきます。システムに同梱するべきものがある場合は、その際にご案内いたします。

指定の日、指定の場所に提携宅配業者がシステムを引き取りにお伺いします。梱包用の箱をお持ちの場合は、それまでにシステムの梱包を終えておいてください。また、サービスタグナンバー(Service Tag #・5桁もしくは7桁の英数字で、通常バーコードが記載された細長いシール上に書かれています。このシールは、ノートパソコンの場合はシステムの底面、デスクトップパソコンの場合は本体の背面あるいは側面に貼られています。)をお手元に控えておかれるようお願いいたします。このサービスタグナンバーはシステムに関するお問い合わせの際に必要です。

テクニカルサポートにお電話ください。システムを引き取りに伺う日程、システム梱包用の箱の有無、引き取る場所、連絡先を確認させていただきます。システムに同梱するべきものがある場合は、その際にご案内いたします。

製品を修理以外の理由で返送する場合

はじめに弊社の営業(担当営業)にご連絡ください。弊社から製品返送用のRMAナンバー(返却番号)をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。

製品返却手続きのご案内用紙をファックス(または郵送)でお送りします。返却する製品を、購入時に入っていた箱に梱包し、上記のご案内用紙から返却シートを切り離して箱に貼付します。コンピュータ本体の返品の場合は、返却手続きのご案内に記載されているサービスタグナンバーと、製品に貼付されているサービスタグナンバーが一致しているか、必ずご確認ください。(サービスタグナンバーに関しては「修理のための返送」を参照してください。)電源コード、ソフトウェアディスク、マニュアルなどの付属品も全て製品に同梱してください。

集荷依頼窓口に電話し、集荷希望の日時・場所を伝えます。

運送中に破損、紛失、盗難などに遭った場合、弊社では一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

以上の条件が満たされていない場合は、そのまま返送させていただきます。

[目次ページに戻る](#)

[目次ページに戻る](#)

Microsoft® Windows® XPの特徴: Dell™ Latitude™ C810 ユーザーズガイド

- [概要](#)
- [新しいユーザーインターフェース](#)
- [ファイルと設定の転送ウィザード](#)
- [アプリケーションとデバイスの互換性](#)
- [システムの復元](#)
- [ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え](#)
- [家庭用および小企業用ネットワーク](#)
- [インターネット接続ファイアウォール](#)

概要

Windows® 2000オペレーティングシステムがより強化されたWindows XPには、一般ユーザー用のWindows XP Home Editionおよびビジネス用のWindows XP Professionalがあります。本書で述べる特徴は両方のEditionで利用可能ですが、Professionalバージョンはビジネス環境に対応して、ビジネスに重要な生産性、セキュリティ、ネットワーク、および管理機能がより充実しています。

一般ユーザーの方には、Windows XPはWindows 2000/Windows NT®オペレーティングシステムで固有に備わっていた安定性とセキュリティを一層高めて提供します。ノートブックコンピュータへのサポートも向上しています。Windows XPの主な新しい機能には以下のものがあります。

- 1 改良されたデスクトップとユーザーインターフェース
- 1 ファイルと設定の転送ウィザード
- 1 アプリケーションプログラム互換性の強化
- 1 システムの復元
- 1 ユーザーの簡易切り替え *
- 1 拡張された家庭用および小企業用ネットワーク機能*
- 1 インターネット常時接続用パーソナルファイアウォール*

*家庭用および小企業用の機能

ヘルプとサポートセンター

ヘルプとサポートセンターは、Microsoft Windows Millennium Edition (Me)で導入された、以前のオペレーティングシステムのWindowsヘルプに代わるものです。ヘルプとサポートセンターでは、コンピュータおよび搭載されているハードウェアデバイスとインストールされたソフトウェアの使用、設定、およびトラブルシューティングの情報提供と支援をする統合リソースセンターを提供しています。Windows XPでは、ヘルプとサポートセンターはフルテキスト検索を含む充実した検索機能、およびハードドライブ上のファイルに加えて複数のリモートサイトでの検索機能を備えています。プリントコマンドを1回使用するだけで、章全体のヘルプの内容をプリントできます。

ヘルプとサポートセンターを開くには、**スタートボタン**をクリックしてから**ヘルプとサポート**をクリックします。ホームページから検索したり、情報のカテゴリを選んで、コンピュータの使用についての作業や情報トピックに進むことができます。インストールされているハードウェアデバイスとソフトウェアを含む、お使いのDell™コンピュータの使用法についての情報は**ユーザーガイド**および**システムガイド**をクリックしてください。

新しいユーザーインターフェース

Windows XPでは、ユーザーインターフェースは新しいスタイルになり、すっきりしたデスクトップと組み込みのデスクトップクリーンアップ機能が提供されています。Windows XPではコントロールパネルなどでウィンドウレイアウトも変更され、タスクがわかりやすくなっています。**スタートメニュー**も新しくなりました。新しい**スタートメニュー**の左側には、よく使われるアイコンが含まれています。コンピュータを使っていると、この領域のアイコンが変わり、ご使用パターンに基づいて配置されます。アイコンをここに常に置きたい場合、そのアイコンを右クリックして、**[スタート]メニューにアイコンを追加**をクリックします。

コンピュータにインストールされたすべてのプログラムにアクセスするには、**スタートメニュー**の下にある**すべてのプログラム**をクリックします。新しい**スタートメニュー**の右側にはファイルへのアクセス、コンピュータの設定、および情報の検索に便利なアイコンが含まれています。**Dell Solution Center**アイコンは、お使いのDellコンピュータにインストールされたサービスやアプリケーションプログラムへの入り口です。

クラシック表示への切り替え

スタートメニュー、**デスクトップ**、および**ウィンドウの外観**、または**コントロールパネル**のレイアウトを以前のWindowsオペレーティングシステムと同じに変更することができます。これらのクラシックビューオプションはお互いに独立しています。

コントロールパネルウィンドウの左上の部分で**クラシック表示に切り替える**または**カテゴリの表示に切り替える**をクリックして、新しいコントロールパネルのカテゴリの表示とクラシックアイコンの表示を簡単に切り替えることができます。新しい表示は、Windows XPコントロールパネルの新しいタスク重視機能を十分に利用するのに便利ですが、ユーザーには今までのアイコンを使ってコントロールパネルで特定のタスクを実行する方が慣れているのでよいかもしれません。

スタートメニューを以前と同じように表示するには、以下の手順を実行してください。

1. タスクバーの空の部分をクリックします。
2. **プロパティ**をクリックします。
3. **[スタート]メニュー**タブをクリックします。
4. **クラシック[スタート]メニュー**を選んで**OK**をクリックします。

ウィンドウとボタンを以前と同じように表示するには、以下の手順を実行してください。

1. メインデスクトップ画面上で右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **デザイン**タブをクリックします。
3. **ウィンドウとボタン**ドロップダウンボックスから、**Windowsクラシックスタイル**を選びます。
4. 色、フォント、および他のデスクトップオプションをカスタマイズするには、**詳細設定**をクリックします。
5. 外観の選択が終了したら、**OK**をクリックします。

デスクトップクリーンアップウィザード

Windows XPの他の特徴にデスクトップクリーンアップウィザードがあります。このウィザードは、コンピュータを最初に起動してから7日間と、その後は60日おきに実行されます。デスクトップクリーンアップウィザードは最初にダイアログボックスを開いて、デスクトップに使用されていないアイコンがあることを知らせ、ウィザードを実行するかどうか聞いてきます。ウィザードを実行するよう選んだ場合、未使用のアイコンがC:\Desktop Iconsフォルダに入れます。

デフォルトでデスクトップクリーンアップウィザードはオンになっています。ウィザードをオフにするには、以下の手順を実行してください。

1. メインデスクトップ画面上で右クリックし、**プロパティ**をクリックします。
2. **デスクトップ**タブを選び、**デスクトップのカスタマイズ**をクリックします。
3. **デスクトップのクリーンアップ**オプションで、**60日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する**ボックスにチェックマークが付いていないことを確認します。

以下の手順を実行して、いつでもデスクトップクリーンアップウィザードを実行することができます。

1. メインデスクトップ画面上で右クリックし、**プロパティ**を選びます。
2. **デスクトップ**タブをクリックし、**デスクトップのカスタマイズ**をクリックします。
3. **デスクトップをクリーンアップする**をクリックします。
4. **デスクトップクリーンアップウィザード**の画面が表示されたら、**次へ**をクリックします。
5. **ショートカット**の一覧で、デスクトップに残しておくショートカットの選択を解除してから、**次へ**をクリックします。
6. **完了**をクリックしてショートカットを削除し、ウィザードを閉じます。

ショートカットはC:\Desktop Iconsフォルダに移動されます。

Windows XPが削除したデスクトップアイコンにアクセスするには、**スタート**ボタンをクリックしてから、**Dell Solution Center**をクリックします。

タスクバーのグループ化

Windowsタスクバーは通常は画面の下部に位置し、ボタンが一行に並んでいます。タスクバーには**スタート**ボタンや各アプリケーションを開くボタンがあります。(タスクバーにはクイック起動アイコンと通知用の領域もあります。) Windows XPは、タスクバーの同じアプリケーションの複数のインスタンスをグループ化します。たとえば、Internet Explorerのインスタンスが6つ開いていて、それぞれがタスクバーにボタンを表示している場合、Windows XPは、タスクバーのボタンをグループにします。タスクバーのスペースが無くなってきたら、Windows XPはすべてのInternet Explorerボタンを1つのボタンにまとめます。ボタンをクリックすると、Internet Explorerの6つのアクティブなセッションのメニューに広がります。

通知領域のクリーンアップ

コンピュータを使っていると、Windowsデスクトップの右下角の通知領域にソフトウェアのアイコンが増えてきます。Windows XPは、通知領域にあるアクセスされていないアイコンを検出し非表示にします。キャレット(^)ボタンは、そのボタンを選ぶと表示できる非表示のアイコンがあることを示しています。タスクバーを右クリックし、**プロパティ**を選び、**タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ**ウィンドウで**カスタマイズ**をクリックして、手動で通知領域を設定することもできます。たとえば、アクセス回数が少ないウイルス検出ソフトアイコンを選んで非表示にし、よく使用するオーディオの音量アイコンを表示することができます。通知領域のクリーンアップ機能は、オペレーティングシステムがインストールされた時に自動的に有効になっていますが、**タスクバーと[スタート]メニューのプロパティ**ウィンドウの**アクティブでないインジケータを隠す**のチェックマークを外すと無効になります。

ファイルと設定の転送ウィザード

ファイルと設定の転送ウィザードは、個人的なファイルと設定をコンピュータ間で移動するのに使われます(たとえば新しいコンピュータに買い換えた場合など)。個人ファイルには、コンピュータ上の文書、イメージ、表計算、プレゼンテーション、メールメッセージなどが含まれます。ユーザー設定には、コン


コンピュータのディスプレイのプロパティ、ウィンドウのサイズ、ツールバーの設定、ダイアルアップ接続、インターネットのブックマークなどが含まれます。ファイルと設定の転送ウィザードは、元の(古い)コンピュータ上で実行してデータを集め、移行先(新しい)コンピュータでもう一度実行してデータをインポートします。古いコンピュータが以前のオペレーティングシステムを使用している場合、ウィザードはWindows XPのCD、または新しいWindows XPコンピュータで作成したディスクから起動できます。新しいコンピュータにネットワークまたは直接シリアル接続を介してデータを移行するか、フロッピーディスク、Zipディスク、または書き込み可能CDなどのリムーバブルメディアに保存します。

ファイルと設定の転送ウィザードを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. 新しいWindows XPコンピュータで、**スタート**ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール**とポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード**をクリックします。
2. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始**の画面で、**次へ**をクリックします。
3. **これはどちらのコンピュータですか?**の画面で、**転送先の新しいコンピュータ**を選んでから**次へ**をクリックします。

Windows XP CDが**あります**か? 画面が表示されます。


ファイルと設定の転送ウィザードは、ユーザー設定、個人ファイル、またはその両方を新しいコンピュータに移行するのに必要な手順を案内します。CDドライブが利用できない場合、ウィザードを使って、古いコンピュータ上で実行するウィザードディスクを作成することができます。

 **メモ:** データの収集と移行にかかる時間は、収集するデータ量によって異なります。これには数分間から数時間かかることがあります。

アプリケーションとデバイスの互換性

Windows XPは広範囲なアプリケーションプログラムやハードウェアデバイスに対応するよう設計されていますが、古いプログラムやデバイスのなかには使用できないものもあります。www.microsoft.com/japanのMicrosoftウェブサイト、アプリケーションプログラムとハードウェアデバイスについての互換性情報をお読みください。新しいソフトウェアやデバイスを御購入になる際は、Windows XP対応のラベルがあるか確認してください。以前のWindowsオペレーティングシステム用に設計されているアプリケーションプログラムを使用して問題が発生した場合、Windows XPが互換性モード機能を提供します(「[プログラム互換性ウィザード](#)」を参照してください)。以前のWindowsオペレーティングシステムで動作するよう設計されているアプリケーションプログラムやハードウェアデバイスのインストールがうまく行かなかった場合、Windows XPについての情報やWindows XPへのアップデートについては、製品の製造元にお問い合わせください。

Windows XPには、Windows用アプリケーションプログラムを使うと以前のオペレーティングシステムで発生することのあった問題を解決する新しいテクノロジーも含まれています。これらのアプリケーションプログラムはインストール時に、特定のWindowsファイルの特定のバージョンを古いバージョンに置き換えます。この状態が原因で、置き換えられたファイルに依存する新しいアプリケーションプログラムに不具合が発生することがあります。オペレーティングシステムの安定性の問題を解消し、改善するために、Windows XPは複数のバージョンのファイルを管理して、プログラムに必要な正しいバージョンを使用します。

 **メモ:** インストール後にオペレーティングシステムや他のアプリケーションに問題が発生する場合、**システムの復元**を使って以前の安定した状態にコンピュータを戻すことができます。

プログラム互換性ウィザード

Windows XPでは、古いアプリケーションプログラムを実行しようとするときに発生する可能性のある問題のうちのいくつかを解決するプログラム互換性機能が提供されています。プログラム互換性ウィザードを使って、Windows 95、Windows 98/Me、Windows NT 4.0 サービスパック 5、またはWindows 2000に近い環境でプログラムを実行するよう設定することができます。

プログラム互換性ウィザードを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. **スタート**ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** とポイントして、**プログラム互換性ウィザード**をクリックします。
2. **プログラム互換性ウィザード**が表示されたら、**次へ**をクリックします。
3. 互換性設定を実行するプログラムの場所の指定方法を、リストから、CDを利用、または手動で指定の中から選びます。**次へ**をクリックします。
4. プログラムが対応している、または正常に実行したオペレーティングシステムのタイプを選んでから、**次へ**をクリックします。
5. 必要な場合、ゲームについてはプログラムの画面設定を選びます。
6. **次へ**をクリックします。
7. プログラムの設定の互換性をテストするには、**次へ**をクリックします。

プログラムが正常に実行することを確認したら、**プログラム互換性ウィザード**ウィンドウに戻ります。

8. プログラムが正常に実行されたら**はい**を選び、そうでない場合**いいえ**、別の**互換性の設定を試します**または**いいえ**、**互換性の設定を完了します**を選んで**次へ**をクリックします。
9. **はい**を選んで使用した設定についての情報、および問題が解決したかどうかの情報を送信するか、**いいえ**を選んでから、**次へ**をクリックします。
10. **完了** をクリックしてウィザードを閉じます。

システムの復元

Windows XPのシステムの復元機能は、不具合が起きた場合に個人データファイル(ワード文書、画像、電子メールなど)を失わずにオペレーティングシステムを復元する機能を提供します。

システムの復元はシステムファイルの変更やアプリケーションファイルの変更を監視して、変更が起こる前の以前のバージョンを記録または保存します。システムの復元は、復元ポイントの記録を回転させながら維持します。つまり、使用容量を抑えるために古い復元ポイントを削除して新しいポイント用のスペースを作ります。

オペレーティングシステムに重大な問題が起こった場合、システムの復元はセーフモードまたは通常モードから使用でき、最適なシステム機能を復元して以前のシステム状態に戻すことができます。



メモ: システムの復元は、ユーザーデータまたは文書ファイルを変更しませんので、復元によってファイル、メール、履歴やお気に入り that なくなることはありません。

Dellは、データファイルを定期的にバックアップすることをお勧めしています。システムの復元は変更を監視したり、データファイルを復元しません。ハードドライブの元のデータが誤って削除されたり、上書きされた場合、またはハードドライブの不具合でアクセス不能になった場合、無くなったデータや損傷したデータを復元するにはバックアップファイルが必要です。

システムの復元の使い方

システムの復元は、システムおよびアプリケーションプログラムのファイルの主要なセットを監視し、変更される前のこれらのファイルの状態を記録したりコピーします。システムの復元は復元ポイントを自動的に作成しますので、ユーザーが介入する必要はありません。また、ご希望の場合、復元ポイントを手動で作成できます。

以前のシステム状態を選ぶことができるように、復元ポイントが作成されます。各復元ポイントは特定の時点のシステム状態に復元するのに必要な情報を集めます。復元ポイントには3種類あります。

- 1 システム(自動的に作成)復元ポイント(コンピュータでスケジュールされています)
- 1 インストール(イベントが起動)復元ポイント(プログラムがインストールされた時)
- 1 手動復元ポイント(ユーザーが必要に応じて作成します)

スケジュールされた自動復元ポイント

デフォルトで、システムの復元はコンピュータを実行する日すべてに復元ポイントを作成します。コンピュータの電源が1日以上切られている場合、次にコンピュータの電源を入れた時に新しい復元ポイントが作成されます。

イベントが起動する復元ポイント

イベントが起動する復元ポイントは、システムに重要な変更が加えられる前に作成されます。システムの復元は、以下のイベントの前に復元ポイントを作成します。

- 1 アプリケーションのインストール — システムの復元が、Windows XP対応のアプリケーションプログラムをインストールする前に復元ポイントを作成します。古いプログラムをインストールする場合、インストール前に手動で復元ポイントを作成するとよいでしょう。
- 1 自動更新のインストール — アップデートをインストールする場合、システムの復元はアップデートの実際のインストールが開始する前に復元ポイントを作成します。
- 1 復元の操作 — 元に戻せるよう復元操作自体も復元ポイントを作成します。
- 1 Microsoftバックアップユーティリティの復元 — Microsoftバックアップユーティリティ(Windows XP Professionalでのみ利用可能)がバックアップの復元をおこなう前に、システムの復元は復元ポイントを作成します。
- 1 未署名ドライバのインストール — WindowsのINFインストーラは署名のないデバイスドライバのインストールを検出します。署名のあるドライバ(デバイスの製造元が電子的に認定した)は、復元ポイントを生成しません。

手動復元ポイント

コンピュータ管理者、または管理者権限を持つユーザーとしてコンピュータにログオンする場合、オンデマンドの復元ポイントを作成したり、名前を付けることができます。(ユーザーアカウントのタイプについての情報は、「[ユーザーの追加](#)」を参照してください。)これは、特にリスクの大きい変更を加える前、共有システムを別のユーザーに任せる前、または最適だと思われる特定の状態に戻るためのチェックポイントを作成するために役立ちます。

復元ポイントを作成するには、以下の手順を実行してください。

1. **スタートボタンをクリックし、すべてのプログラム → アクセサリ → システムツールとポイントしてから、システムの復元**をクリックします。
2. **復元ポイントの作成**を選んで、**次へ**をクリックします。
3. 復元ポイントの説明を入力して、**作成**をクリックします。

日付と時刻が新しい復元ポイントの説明に自動的に追加されます。

復元処理

コンピュータを使用していくと、管理や介入をしなくても復元ポイントが集められます。オペレーティングシステムに不具合が発生した場合、システムの復元

元機能を使ってシステムの復元ウィザードが示す復元ポイントのいずれかを選ぶことができます。

デバイスドライバのインストール後に問題が発生した場合、まず [ドライバのロールバック](#) を使ってみます。それでも問題が解決しない場合、システムの復元を使用します。

コンピュータを以前の安定した状態に戻すには、以下の手順を実行してください。

1. **スタートボタンをクリックし、すべてのプログラム → アクセサリ → システムツールとポイントしてから、システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** を選んで、**次へ** をクリックします。

復元ポイントの選択 画面が表示されます。左側のカレンダーに、復元ポイントが作成された日付が太文字で示されています。

3. 日付をクリックし、その日付の復元ポイントをクリックして、**次へ** をクリックします。
4. **次へ** をクリックして復元ポイントの選択を確認し、復元処理を完了します。

システムの復元がデータの収集を完了したら、コンピュータが自動的に再起動し、**復元は完了しました** 画面が表示されます。

5. **OK** をクリックします。

復元の結果に満足がいけない場合、別の復元ポイントを使って前の手順を繰り返したり、復元を元に戻すことができます。

復元を元に戻すには、以下の手順を実行してください。

1. **スタートボタンをクリックし、すべてのプログラム → アクセサリ → システムツールとポイントしてから、システムの復元** をクリックします。
2. **以前の復元を取り消す** を選んで、**次へ** をクリックします。
3. **次へ** をクリックして復元を元に戻すことを確認します。

システムの復元がデータの収集を完了したら、コンピュータが自動的に再起動し、**取り消し完了** 画面が表示されます。

4. **OK** をクリックします。

ドライバのロールバック

Windows XP デバイスのドライバのロールバック は、デバイスドライバを以前にインストールされたバージョンと置き換えることができます。新しいデバイスドライバをインストールしたらシステムが不安定になった場合、ドライバのロールバックを使って以前のドライバを再インストールします。ドライバのロールバックが以前のドライバを再インストールできない場合、システムの復元を使って新しいデバイスドライバのインストール前の状態にオペレーティングシステムを戻します。

ドライバのロールバックを使用するには、以下の手順を実行してください。

1. **スタートボタンをクリックしてから、マイコンピュータ** を右クリックします。
2. **プロパティ** をクリックします。
3. **ハードウェアタブ** をクリックしてから、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4. **デバイスマネージャ** ウィンドウで、新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
5. **ドライバタブ** をクリックしてから、**ドライバのロールバック** をクリックします。

ユーザーアカウントおよびユーザーの簡易切り替え



メモ: ユーザーの簡易切り替えは、Home および Professional Edition の両方のデフォルトユーザー画面ですが、Windows XP Professional ではコンピュータがコンピュータドメインのメンバである場合は無効になっています。

Microsoft Windows XPには、1台のコンピュータに複数のユーザーがアクセスできる新しい機能が含まれています。Home および Professional Edition の両方で利用可能なユーザーの簡易切り替え を使って、以前のユーザーがログオフしなくても、ユーザーはデスクトップや各種アプリケーションを含む自分の設定でそのコンピュータにアクセスすることができます。新しいユーザーはログオンしてから元のユーザーのセッションを自分のものに切り替えます。新しいユーザーは、デスクトップとアプリケーションを元のユーザーのじやまにならずに実行できます。元のユーザーに戻ったとき、そのユーザーはデスクトップとアプリケーションを元の設定に戻すことができます。個々のユーザーがコンピュータからログオフしなくても、以上のことが実行できます。

セットアップ中に、コンピュータ管理者はコンピュータで使われるすべてのアカウントを作成します。(アカウントのタイプと新しいアカウントの追加方法についての情報は、[「ユーザーの追加」](#)を参照してください。) コンピュータが起動したら、メインユーザーの画面にすべてのユーザー名が表示されます。この画面から、アカウントを選んでセッションにログインします。

ユーザーの簡易切り替えの使い方

ユーザーの簡易切り替えにアクセスするには、以下の手順を実行してください。

1. **スタートボタンをクリックし、ログオフ** をクリックします。

2. Windowsのログオフの画面が表示されたら、ユーザーの切り替えまたはログオフをクリックします。

ユーザーの切り替えを選んだ場合、メインユーザーの画面が表示されます。次に、アカウント名を選んでログインします。個人のデスクトップが表示されます。

ユーザーの簡易切り替えで起こること

ユーザーの簡易切り替えが実行されるとき、元のユーザーは以前のMicrosoftオペレーティングシステムでおこなわれていたのと異なり、コンピュータからログオフされません。Windows XPでは、ユーザーのログオンはアクティブのまま残りますが、新しいユーザーと置き換わります。ユーザーはログインID間を自由に切り替えることができます。

ただし、アクティブなユーザーアプリケーションはユーザー切り替え中はアクティブのまま残り、新しいユーザーが作業中はバックグラウンドで実行されません。このことにより処理が終了するまでコンピュータが遅くなる場合があります。たとえば、1人のユーザーが大きなファイルをインターネットからダウンロード中に別のユーザーがコンピュータにログオンした場合、ファイルのダウンロードは完了するまでバックグラウンドで継続されます。

ほとんどのアプリケーションは、ユーザーの管理切り替え中にバックグラウンドで実行を続けますが、マルチメディアアプリケーションは実行しません。マルチメディアアプリケーションは1台のシステムで異なるユーザー間で簡単に共有できないリソースを使用しますので、これらのアプリケーションは、ユーザー切り替えの間終了して新しいユーザーがマルチメディアを最大限に利用できるようにします。

ユーザーの簡易切り替えに対する考慮

ユーザーの簡易切り替えを使用する場合は、以下のことを考慮に入れてください。

1. 古いWindowsゲームによっては、ユーザーの簡易切り替えで動作しないものがあります。
1. マルチメディアゲームは、ユーザーの簡易切り替えでは終了することがあります。
1. DVDソフトウェアは終了し、ユーザーが戻ったときに再起動する必要があります。
1. メモリ構成が低いコンピュータでは問題が発生することがあります。コンピュータはメモリを使って、2番目のユーザーがログオンしている間に最初のユーザーのプログラムをバックグラウンドで実行続けます。メモリが限られているコンピュータでは、このことにより全体的なコンピュータの速度が遅くなる場合があります。RAMが128MB以下のコンピュータでは、ユーザーの簡易切り替えはデフォルトではオフになっています。

コンピュータにWindows XP Professional がインストールされていてコンピュータドメインのメンバである場合、ユーザーの簡易切り替えは利用できません。

ユーザーの簡易切り替えをオフにする

ユーザーの簡易切り替えをオフにするには、コンピュータ管理者のアカウントが必要です。(アカウントのタイプについては、「[ユーザーの追加](#)」を参照してください。

ユーザーの簡易切り替えを無効にするには、以下の手順を実行してください。

1. スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックします。
2. コントロールパネルウィンドウで、ユーザーアカウントをクリックします。
3. 作業を選びますで、ユーザーのログオンやログオフの方法を変更するをクリックして、以下のうちの1つを実行します。
 - 1. ユーザーの簡易切り替えを使用するチェックボックスを選んで、ユーザーの簡易切り替えを有効にします。
 - 1. ユーザーの簡易切り替えを使用するチェックボックスの選択を解除して、ユーザーの簡易切り替えを無効にします。
4. オプションの適用をクリックします。

ユーザーの追加

コンピュータ管理者または管理者権限を持つユーザーのみが複数のユーザーアカウントを作成することができます。初期オペレーティングシステムセットアップを実行するユーザーがコンピュータ管理者アカウントを作成し、初期セットアップ中に任意の数のユーザーを追加することができます。セットアップ中に作成されたすべてのユーザーアカウントは、管理者権限があります。

初期オペレーティングシステムセットアップ後に、コンピュータ管理者または管理者権限のあるユーザーはユーザーアカウントを追加して作成することができます。

 **メモ:** Windows XP Professional コンピュータがドメインに接続されている場合、異なるアカウントのオプションが利用可能です。

ユーザーを追加するには、以下の手順を実行してください。

1. スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックします。
2. コントロールパネルウィンドウで、ユーザーアカウントをクリックします。
3. 作業を選びますのユーザーアカウントウィンドウで、新しいアカウントを作成するをクリックします。
4. 新しいアカウントに名前を付けますのボックスで、新しいユーザーの名前を入力します。次へをクリックします。

5. **アカウントの種類を選びます**で、**コンピュータの管理者**または**制限**のうちの作成するアカウントのタイプの横の丸をクリックします。
 - 1 コンピュータ管理者はすべてのコンピュータ設定を変更することができます。
 - 1 制限アカウントユーザーは、自分のパスワードなどの設定のみを変更できます。
6. **アカウントの作成**をクリックします。

アカウントを作成したら、すべてのアカウントがユーザーの簡易切り替えのメインユーザーの画面に表示されます。

家庭用および小企業用ネットワーク

ネットワークセットアップウィザードには、家庭または小企業のコンピュータ間でファイル、プリンタ、またはインターネット接続などのリソースの共有処理を説明するチェックリストと手順が含まれています。Windows XPでは、Microsoftは家庭用または小企業用ネットワークのセットアップ用オンラインマニュアルとオペレーティングシステムツールの使い勝手を向上させています。オペレーティングシステムの新しい機能には、PPPoE (Point-to-Point Protocol over Ethernet) とビルトインファイアウォールのサポートが含まれています。

ネットワークセットアップウィザード

ホームネットワークウィザードはWindows Meで最初に導入されました。家庭用または小企業用ネットワークを簡単にセットアップできるよう、MicrosoftはWindows XP用により強化されたネットワークセットアップウィザードを開発しました。このバージョンでは、家庭用または小企業用ネットワークのセットアップにより完全なオンラインマニュアルとサポートを提供しています。新しいウィザードが本項で後述するパーソナルファイアウォールを自動的に有効にします(「[インターネット接続ファイアウォール](#)」参照)。

ウィザードを利用するには、以下の手順を実行してください。


1. **スタートボタン**をクリックし、**すべてのプログラム**→**アクセサリ**→**通信**とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード**をクリックします。
2. **ネットワークセットアップウィザード**が表示されたら、**次へ**をクリックします。
3. **ネットワーク作成のチェックリスト**をクリックします。

チェックリストが家庭用または小企業用ネットワークのセットアップに必要な手順を紹介し、各手順でさまざまな情報を提供します。必要な接続と準備が完了したら、**ネットワークセットアップウィザード**に戻ります。

4. インターネット接続方法を選んで、**次へ**をクリックします。
5. 必要であれば、希望するインターネット接続を選んで、**次へ**をクリックします。
6. コンピュータの説明とコンピュータ名を入力してから、**次へ**をクリックします。
7. ネットワーク設定を確認し、**次へ**をクリックしてセットアップを完了します。
8. セットアップ処理が終わったら、**完了**をクリックしてウィザードを閉じます。

インターネット接続ファイアウォール

今日の常時接続モデムやDSLインターネット接続は、今までにはなかったバンド幅を家庭用に提供しますが、接続されているコンピュータや家庭内ネットワークがハッカーの攻撃目標になる可能性がでてきました。これらの攻撃にはいろいろありますが、目的はインターネットに接続されているコンピュータにアクセスすることです。ハッカーはコンピュータにアクセスすると、ハードドライブを参照してファイルを追加したり削除でき、パスワードやクレジットカード番号を取り出したり、他のシステムやウェブサイトを攻撃するようシステムを設定できます。そのため、これらの攻撃からコンピュータを保護するファイアウォールがますます必要になってきています。この必要性に対応するため、MicrosoftはWindows XPに組み込みのファイアウォールを提供し、外部からのアクセスへの即時保護を提供しています。インターネット接続ファイアウォールを有効にすると、ほとんどの一般ユーザーと小企業のユーザーに適切な基本的な保護が提供されます。インターネット接続ファイアウォールは、コンピュータがドメインに接続されている場合には無効になります。

 **メモ: インターネット接続ファイアウォールを有効にしても、ウイルス検出ソフトは必要です。**

ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。ネットワーク接続にファイアウォールが有効になると、コントロールパネルの**ネットワーク接続部**に赤い背景のあるアイコンが表示されます。インターネット接続ファイアウォールはコンピュータの各インターネット接続に適用できます。ファイアウォールは基本ログイン機能も提供します。ログに示されるイベントすべてがハッカーの攻撃というわけではありません。インターネット接続業者がお客様のコンピュータの有無を確認(Ping)するための定期的なチェックなどの害のない様々なタイプのイベントがログに表示されることがあります。

コントロールパネルの各インターネット接続に関連する**プロパティ**ダイアログボックスを使って、ファイアウォールを設定します。ファイアウォールは、有効または無効にできます。上級ユーザーには、追加の設定オプションが利用できます。詳細オプションには、特定のTCP (Transmission Control Protocol) やUDP (User Datagram Protocol) ポートを開いたり閉じたりする機能や、ポートのリダイレクションを有効にする機能などが含まれます。ポートのリダイレクションを使うと、ファイアウォールの特定のポート(ウェブサーバポートのポート80など)へのアクセス要求を、ローカルネットワークの別のコンピュータに自動的に転送することができます。この機能で、家庭用ネットワークのウェブサーバがエッジファイアウォールで保護できるようになります。

[目次ページに戻る](#)

